

公共交通に関するアンケート調査 調査結果

1. 市民アンケート調査
2. にいバス(コミュニティバス)に関する利用者アンケート調査
3. 路線バスに関する利用者アンケート調査
4. 市外からの来訪者アンケート調査

令和3年3月
新座市

目 次

1. 市民アンケート調査	1
1.1 調査概要	1
1.2 調査結果	2
1.2.1 回答者の属性	2
1.2.2 日頃の外出について	7
1.2.3 日頃の移動で困っていること(複数回答)	11
1.2.4 にいバス（コミュニティバス）について	13
1.2.5 デマンド型交通（乗合タクシー）について	18
1.2.6 コミュニティサイクル（シェアサイクル）について	25
1.2.7 新型コロナウイルスの影響について	29
1.2.8 公共交通に対する市の財政負担のあり方について	33
2. にいバス(コミュニティバス)に関する利用者アンケート調査	37
2.1 調査概要	37
2.2 調査結果	38
2.2.1 回答者の属性	38
2.2.2 にいバスの利用状況	42
2.2.3 にいバスの満足度	49
2.2.4 デマンド型交通（乗合タクシー）について	52
2.2.5 コミュニティサイクル（シェアサイクル）について	58
2.2.6 新型コロナウイルスの影響について	62
2.2.7 公共交通に対する市の財政負担のあり方について	66
3. 路線バスに関する利用者アンケート調査	68
3.1 調査概要	68
3.2 調査結果	69
3.2.1 回答者の属性	69
3.2.2 路線バスの利用状況	74
3.2.3 路線バスの満足度	81
3.2.4 デマンド型交通（乗合タクシー）について	84
3.2.5 コミュニティサイクル（シェアサイクル）について	93
3.2.6 新型コロナウイルスの影響について	97
4. 市外からの来訪者アンケート調査	101
4.1 調査概要	101
4.2 調査結果	101
4.2.1 回答者の属性	101
4.2.2 新座市への来訪状況	103

1. 市民アンケート調査

1.1 調査概要

(1) 調査方法

- ・調査対象 新座市に在住する満 15 歳以上の男女（令和 2 年 10 月 1 日現在）
- ・対象者数 3,150 人
- ・抽出方法 住民基本台帳から市内 7 地域ごとに 450 人、計 3,150 人（予備票を含む）を無作為抽出¹



図 1-1 地域区分

表 1-1 地域区分

地域	町丁目
北東地域	東北1～2丁目、北野1～3丁目、東1～3丁目、野火止5～8丁目、畑中3丁目
北西地域	新座1～3丁目、中野1～2丁目、大和田1～5丁目
東部地域	新塚1丁目、新塚、栄1～5丁目、池田1～5丁目
中央地域	畑中1～2丁目、馬場1～4丁目、野火止1～2丁目
西部地域	野火止3～4丁目、菅沢1～2丁目、あたご1～3丁目
南部地域	堀ノ内1～3丁目、道場1～2丁目、片山1～3丁目、石神1～5丁目、野寺1～5丁目、栗原1～6丁目
南西地域	本多1～2丁目、西堀1～3丁目、新堀1～3丁目

- ・調査方法 郵送配布・郵送回収
- ・調査期間 令和 2 年 12 月 3 日（木）～12 月 21 日（月）

(2) 回収状況

表 1-2 市民アンケート回収状況

配布数	回収数	回収率
3,150 票	1,368 票	43.4%

¹ 無作為抽出とは、調査対象となる集団から無作為（ランダム）に対象者を抽出すること

1.2 調査結果

1.2.1 回答者の属性

(1) 性別・年代

- ・女性の回答者が多く、年代別では「40 歳代」が最も高く 17.7%、次いで「50 歳代」が 17.3%、「75 歳以上」が 17.2%などとなっている。
- ・男性は「75 歳以上」が最も高く 17.9%、次いで「50 歳代」が 17.7%、「40 歳代」が 17.5%などとなっている。

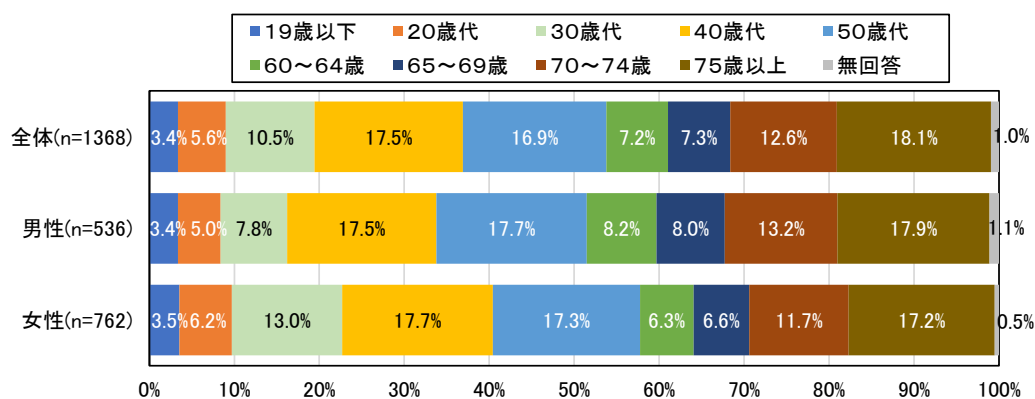


図 1-2 回答者の性別・年代

(2) 職業

- ・「会社員・公務員」が最も高く 31.6%、次いで「無職、年金受給者」が 25.7%、「専業主婦・夫、家事手伝い」が 14.8%などとなっている。

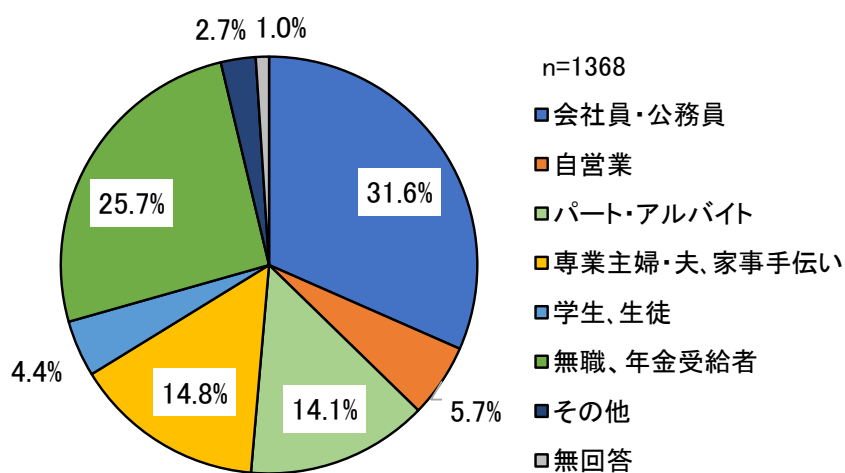


図 1-3 回答者の職業

(3) 居住地

- ・アンケート対象者は市内7地域各同数を抽出したが、回答者の居住地の構成比はおおむね同程度の割合となっている。

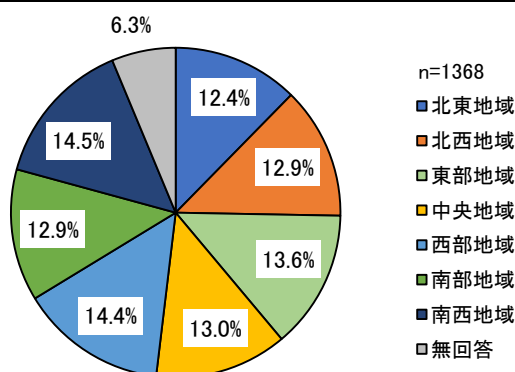


図 1-4 回答者の居住地

(4) 自宅からの最寄り駅と普段利用する駅

1) 市全体

- ・自宅の最寄り駅は、「新座駅」が最も高く 29.2%、次いで「志木駅」が 14.5%、「大泉学園駅」が 11.6%などとなっている。
- ・普段利用する駅は、「最寄り駅と同じ」が最も高く 76.8%となっている。

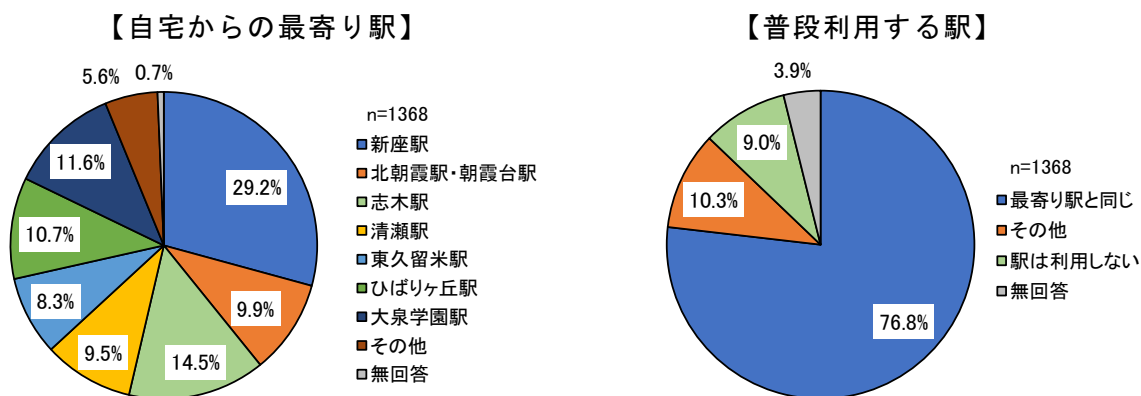


図 1-5 自宅からの最寄り駅・普段利用する駅

表 1-3 自宅からの最寄り駅
(その他の内訳)

その他の最寄り駅	人
保谷駅	28
朝霞駅	26
柳瀬川駅	20
みずほ台駅	1

表 1-4 普段利用する駅
(その他の内訳)

その他の普段利用する駅	人
志木駅	50
朝霞駅	18
清瀬駅	17
保谷駅	8
朝霞台駅	8
ひばりヶ丘駅	7
大泉学園駅	7
東久留米駅	6
柳瀬川駅	6
和光市駅	5
北朝霞駅	4
新座駅	3
立川駅	1

2) 地域別

- ・北東地域、北西地域は「志木駅」(54.4%、44.6%)、東部地域は「大泉学園駅」(75.3%)、中央地域は「北朝霞駅・朝霞台駅」(53.4%)、西部地域は「新座駅」(90.4%)、南部地域は「ひばりヶ丘駅」(65.0%)、南西地域は「清瀬駅」(56.1%)の利用がそれぞれ最も多い。

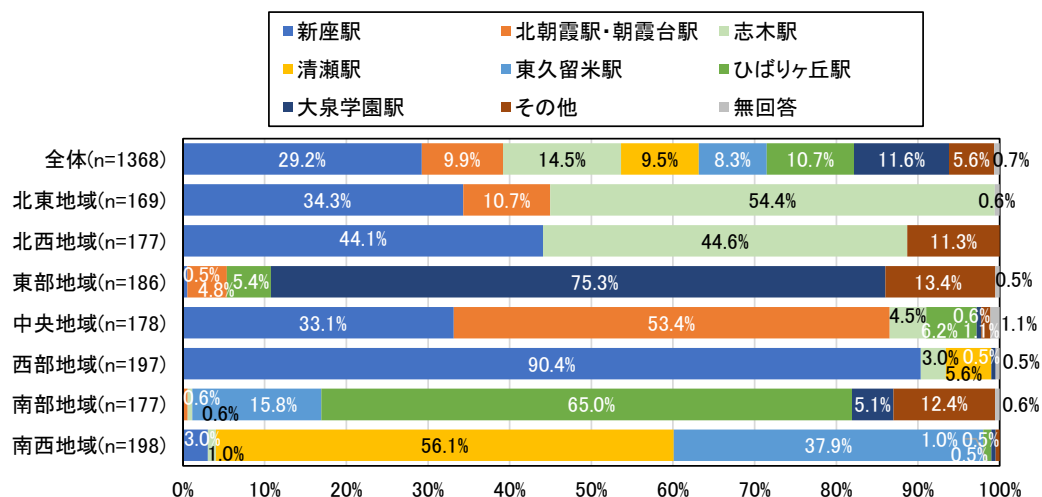


図 1-6 地域別・自宅からの最寄り駅

(5) 自宅からバス停まで許容できる距離

- ・全ての年代で「300m(徒歩 5～6 分)」が最も高くなっている。また 300m 以内が 70% 台、500m 以内が 90% になっており、300～500m が許容距離の限度となっている。

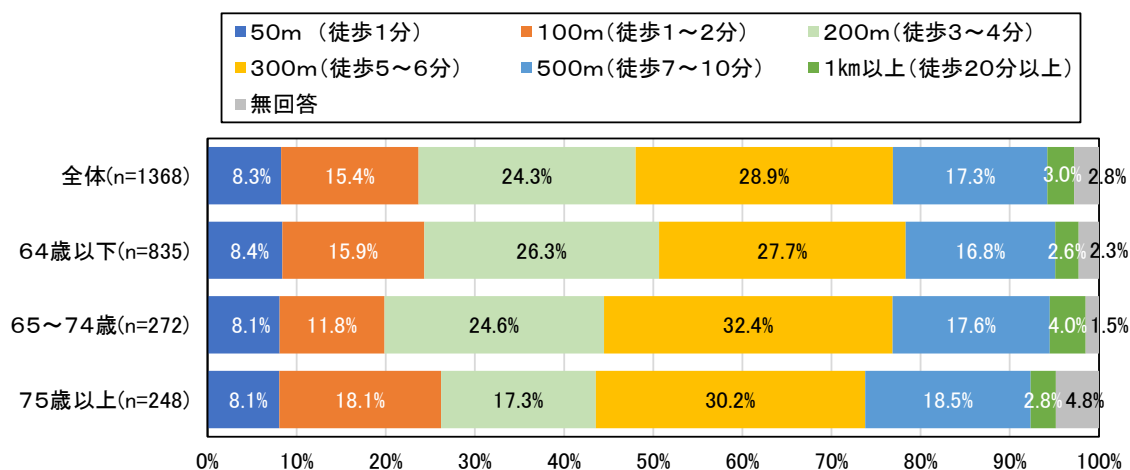


図 1-7 年代別・自宅からバス停まで許容できる距離

(6) 運転免許証保有の有無・運転免許証の返納予定

【運転免許証保有の有無】

- ・運転免許証保有回答割合は、64歳以下が81.1%、65～74歳が70.2%となっている。
（「運転免許保有(普段から運転する)」、「運転免許保有(あまり運転しない)」の合計）
- ・一方、75歳以上では、31.9%となっており、他の年代に比べ低くなっている。

【運転免許証の返納予定】

- ・年代が高くなるにつれて、運転免許証の返納予定の割合が高くなっており、64歳以下が28.4%、65～74歳が64.9%、75歳以上が76.7%となっている。（「返納予定あり(10年以内)」と「返納予定あり(将来)」の合計）

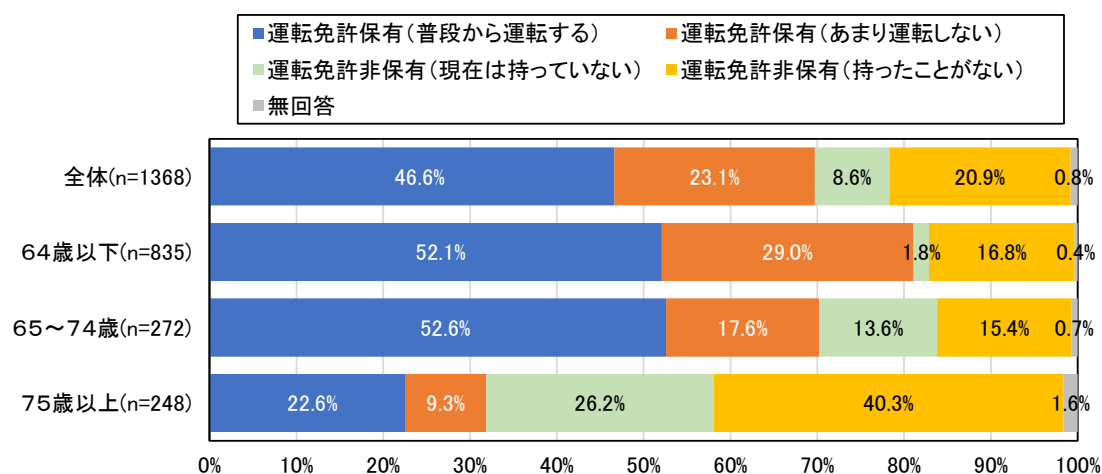


図 1-8 年代別運転免許証保有の有無

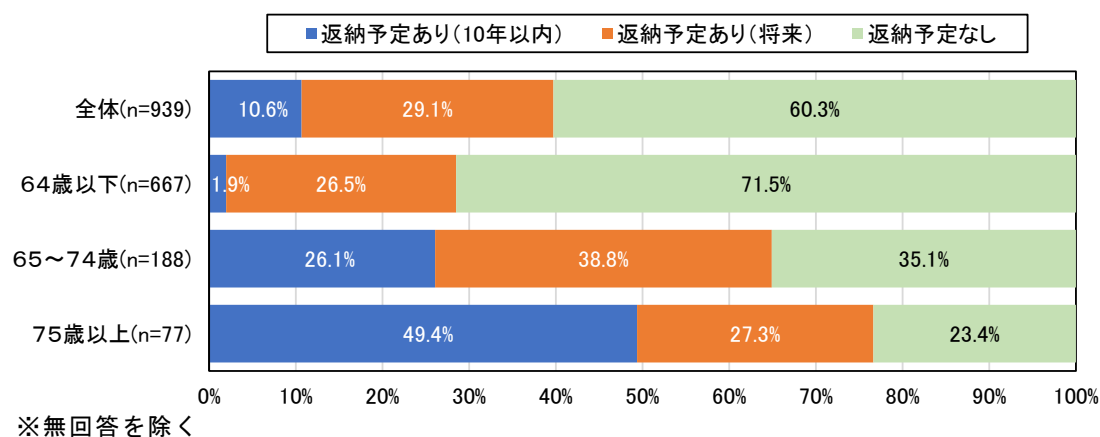


図 1-9 年代別運転免許証の返納予定

(7) 自動車等の保有状況

- ・ 自動車保有割合（「自動車保有（自分専用）」と「自動車保有（家族と共用）」の合計）は、64 歳以下が 69.5%、65～74 歳が 64.0%となっている。一方、75 歳以上では、31.9%となっており、他の年代に比べ低くなっている。
- ・ また、75 歳以上は、「自動車非保有（送迎環境なし）」が他の年代に比べ高くなっている。

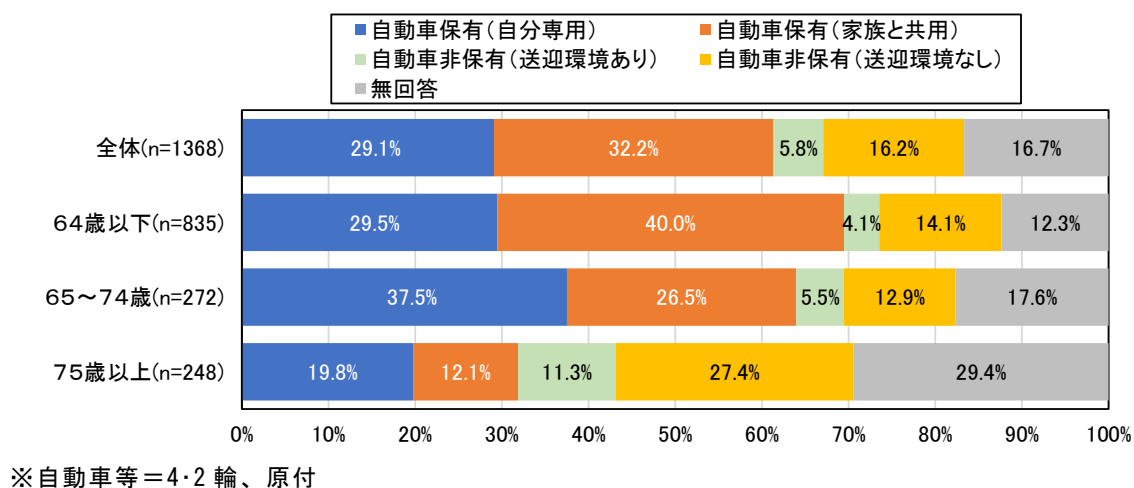


図 1-10 年代別自動車等保有状況

1.2.2 日頃の外出について

(1) 目的

1) 外出が多い目的

- ・平日は、「通勤・通学」が最も高く 47.5%、次いで「買い物」が 29.8%、「通院」が 9.1% などとなっている。
- ・土日祝は、「買い物」が最も高く 57.2%、次いで「趣味・娯楽・食事・習い事」が 19.2%、「通勤・通学」が 9.4% などとなっている。

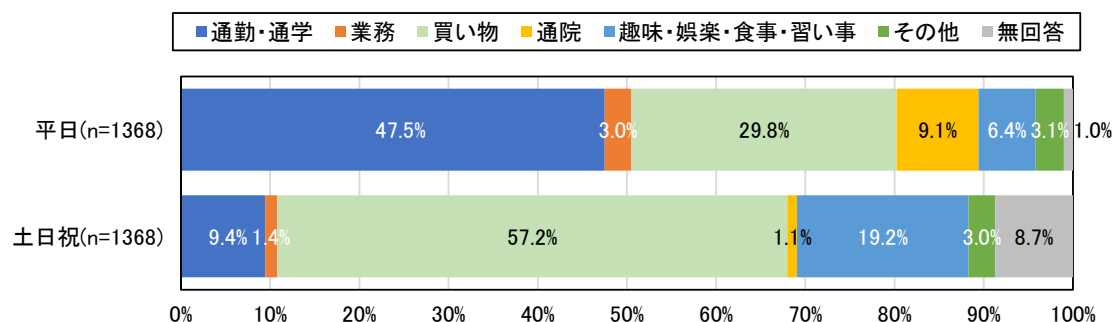


図 1-11 外出が多い目的

2) 外出の時間帯

(「業務」、「買い物」、「通院」、「趣味・娯楽・食事・習い事」を回答した方のみ)

- ・平日は、「午前」が最も高く 53.5%となっている。
- ・土日祝は、「午後(昼間)」が最も高く 51.5%となっている。

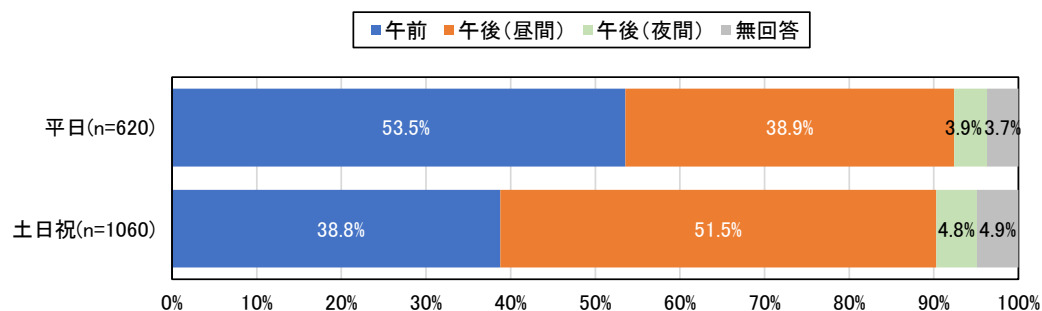


図 1-12 外出の時間帯

(2) 外出頻度

- ・平日は、「週に4日以上」が最も高く 51.8%、次いで「週に2,3日」が 25.8%、「月に数回」が 8.7%などとなっている。
- ・土日祝は、「週に1日」が最も高く 36.3%、次いで「週に2日以上」が 33.7%、「月に数回」が 15.1%となっている。

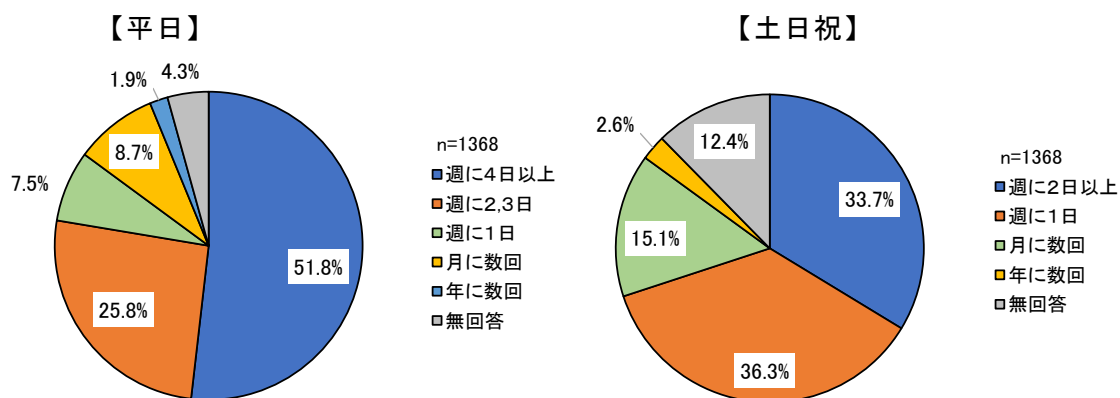


図 1-13 外出頻度

(3) 外出の目的地

- ・平日、土日祝とも「新座市外」の割合が高くなっている。
- ・「市内・自宅以外」は、平日、土日祝とも「商業施設」が最も多く、それぞれ 69 人、76 人となっている。
- ・「市外・自宅以外」は、平日は「東京都練馬区」が最も多く 76 人、土日祝は「東京都東久留米市」、「東京都、以下不明」が最も多く 63 人となっている。

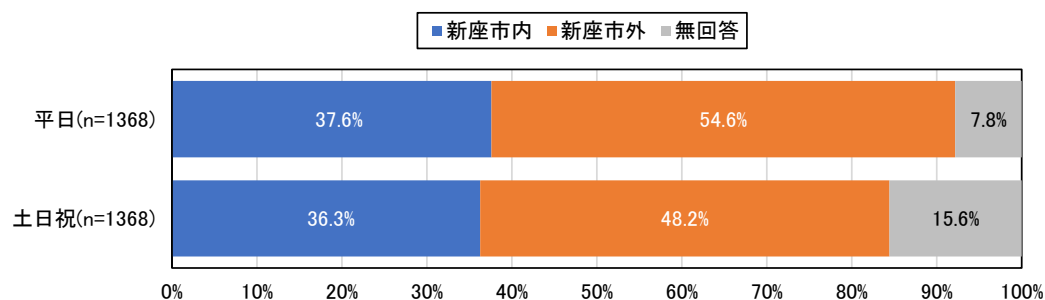


図 1-14 外出の目的地

表 1-5 目的地(市内・自宅以外)
(平日)

目的地(市内・自宅以外)	人
商業施設	69
野火止	25
ロヂャース新座店	8
東北	6
馬場	5
畑中	5
栄	5
野火止1丁目	5
大和田	5
新座志木中央総合病院	5
西友新座店	5
サミットストア新座片山店	5

表 1-6 目的地(市内・自宅以外)
(土日祝)

目的地(市内・自宅以外)	人
商業施設	76
野火止	29
ロヂャース新座店	19
西友新座店	11
ベシシア新座店	10
大和田	9
カインズ新座店	8
栄	7
東北	6
栗原	6
志木駅	6
イオン新座店	6

表 1-7 目的地(市外・自宅以外)
(平日)

目的地(市外・自宅以外)	人
東京都練馬区	76
東京都、以下不明	52
東京都東久留米市	47
東京都清瀬市	45
埼玉県朝霞市	43
埼玉県志木市	41
東京都豊島区	27
東京都西東京市	24
東京都千代田区	24
東京都新宿区	23
埼玉県所沢市	23

表 1-8 目的地(市外・自宅以外)
(土日祝)

目的地(市外・自宅以外)	人
東京都東久留米市	63
東京都、以下不明	63
東京都練馬区	58
埼玉県志木市	44
東京都豊島区	41
東京都清瀬市	39
埼玉県朝霞市	30
東京都西東京市	30
埼玉県所沢市	17
埼玉県さいたま市	16

(4) 外出時によく利用する交通手段 (複数回答)

1) 市全体

- ・平日は、「鉄道」が最も高く 30.7%、次いで「自転車」が 30.4%、「自動車(自ら運転)」が 27.9%などとなっている。
- ・土日祝は、「自動車(自ら運転)」が最も高く 38.1%、次いで「自転車」が 26.8%、「自動車(家族などの送迎)」が 21.9%などとなっている。

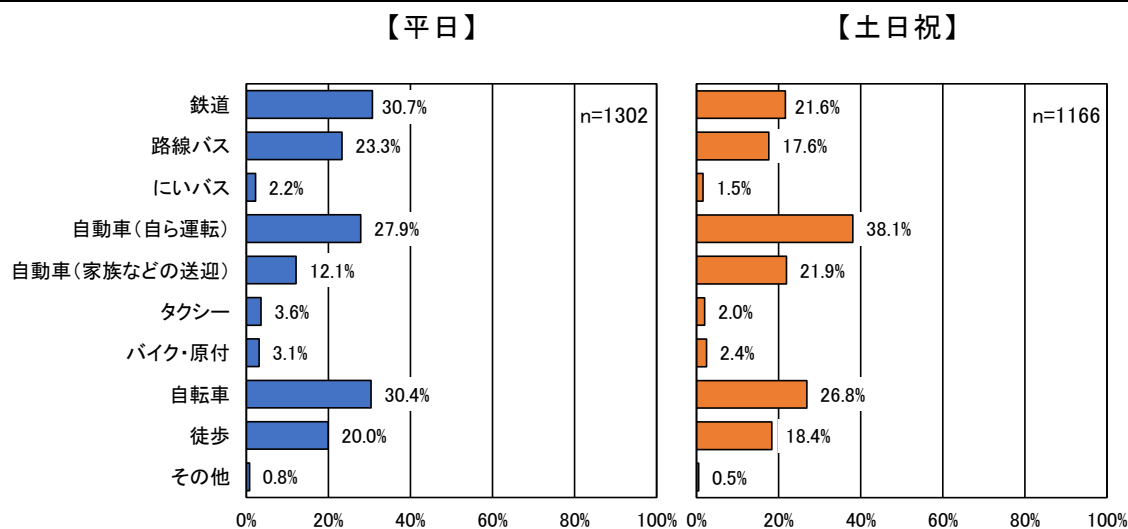


図 1-15 外出でよく利用する交通手段

2) 地域別

【平日】

- ・「鉄道」の利用手段が高い地域は、北東地域 35.9%、西部地域 32.3%、南部地域 38.7%、南西地域 36.7%となっている。
- ・「路線バス」の利用手段が高い地域は、東部地域 34.6%、中央地域 30.8%となっている。
- ・「にいバス」の利用割合は、2%から3%程度となっている。

【土日祝】

- ・土日祝は、全ての地域で「自動車(自ら運転)」が最も高くなっている。

表 1-9 外出でよく利用する交通手段【平日】

地域	1位	2位	3位	4位	5位	6位
全体 (n=1302)	鉄道 30.7%	自転車 30.4%	自動車 (自ら運転) 27.9%	路線バス 23.3%	徒歩 20.0%	自動車 (家族などの送迎) 12.1%
北東地域 (n=156)	鉄道 35.9%	自転車 32.7%	自動車 (自ら運転) 27.6%	徒歩 23.7%	路線バス 14.1%	自動車 (家族などの送迎) 7.7%
北西地域 (n=171)	自転車 32.2%	自動車 (自ら運転) 28.1%	鉄道 27.5%	路線バス 23.4%	徒歩 20.5%	自動車 (家族などの送迎) 15.2%
東部地域 (n=179)	自転車 35.2%	路線バス 34.6%	鉄道 25.7%	自動車 (自ら運転) 22.9%	徒歩 20.1%	自動車 (家族などの送迎) 15.6%
中央地域 (n=169)	自動車 (自ら運転) 40.8%	路線バス 30.8%	自転車 20.7%	鉄道 20.7%	徒歩 13.6%	自動車 (家族などの送迎) 12.4%
西部地域 (n=192)	鉄道 32.3%	自動車 (自ら運転) 30.2%	自転車 27.1%	路線バス 25.0%	徒歩 21.4%	自動車 (家族などの送迎) 10.4%
南部地域 (n=168)	鉄道 38.7%	自転車 31.0%	路線バス 22.6%	自動車 (自ら運転) 20.8%	徒歩 19.0%	自動車 (家族などの送迎) 12.5%
南西地域 (n=188)	鉄道 36.7%	自転車 31.9%	自動車 (自ら運転) 23.4%	徒歩 23.4%	路線バス 11.7%	自動車 (家族などの送迎) 10.6%

表 1-10 外出でよく利用する交通手段【土日祝】

地域	1位	2位	3位	4位	5位	6位
全体 (n=1166)	自動車 (自ら運転) 38.1%	自転車 26.8%	自動車 (家族などの送迎) 21.9%	鉄道 21.6%	徒歩 18.4%	路線バス 17.6%
北東地域 (n=151)	自動車 (自ら運転) 35.1%	自転車 27.8%	鉄道 23.8%	自動車 (家族などの送迎) 22.5%	徒歩 20.5%	路線バス 9.9%
北西地域 (n=145)	自動車 (自ら運転) 40.0%	自転車 33.8%	自動車 (家族などの送迎) 20.7%	徒歩 20.7%	鉄道 17.2%	路線バス 17.2%
東部地域 (n=167)	自動車 (自ら運転) 30.5%	自動車 (家族などの送迎) 27.5%	路線バス 26.3%	自転車 25.7%	鉄道 20.4%	徒歩 19.8%
中央地域 (n=153)	自動車 (自ら運転) 48.4%	自動車 (家族などの送迎) 20.9%	路線バス 20.9%	自転車 18.3%	鉄道 13.7%	徒歩 10.5%
西部地域 (n=172)	自動車 (自ら運転) 41.3%	自転車 25.6%	鉄道 25.6%	路線バス 22.7%	自動車 (家族などの送迎) 19.2%	徒歩 17.4%
南部地域 (n=144)	自動車 (自ら運転) 36.8%	自転車 30.6%	鉄道 25.0%	自動車 (家族などの送迎) 20.8%	徒歩 20.8%	路線バス 13.9%
南西地域 (n=172)	自動車 (自ら運転) 34.9%	自転車 27.3%	鉄道 23.8%	徒歩 23.3%	自動車 (家族などの送迎) 20.3%	路線バス 7.6%

凡例		
鉄道	路線バス	自動車 (自ら運転)
自動車 (家族などの送迎)	自転車	徒歩

1.2.3 日頃の移動で困っていること(複数回答)

1) 市全体

- ・「鉄道駅やバス停まで遠い」が最も高く 21.1%、次いで「バスの本数が少なくて不便」が 16.4%、「駅周辺に駐輪場・駐車場がない」が 9.7%などとなっている。
- ・なお、「日頃の移動で困っていることはない」と回答した方が、52.0%と最も高くなっている。

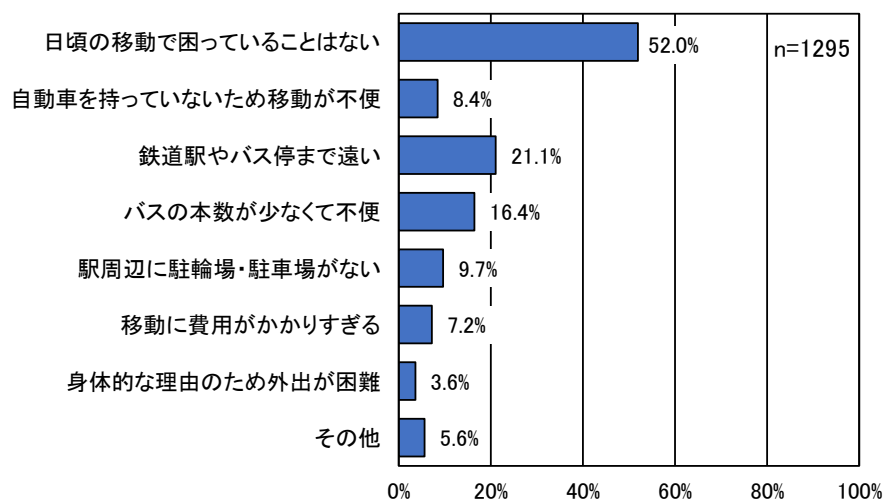


図 1-16 日頃の移動で困っていること

2) 地域別

- 全体として「鉄道駅やバス停まで遠い」が高く、中でも東部地域が 33.1%、南西地域が 32.5%、中央地域 22.6%となっている。
- このうち回答者の居住地をみると、東部地域は「栄町」が 29 人、「池田町」25 人、南西地域は「石神町」が 22 人、中央地域は「畑中町」14 人となっている。
- 西部地域、南西地域は「バスの本数が少なくて不便」が最も高くそれぞれ 23.3%、22.8%となっている。

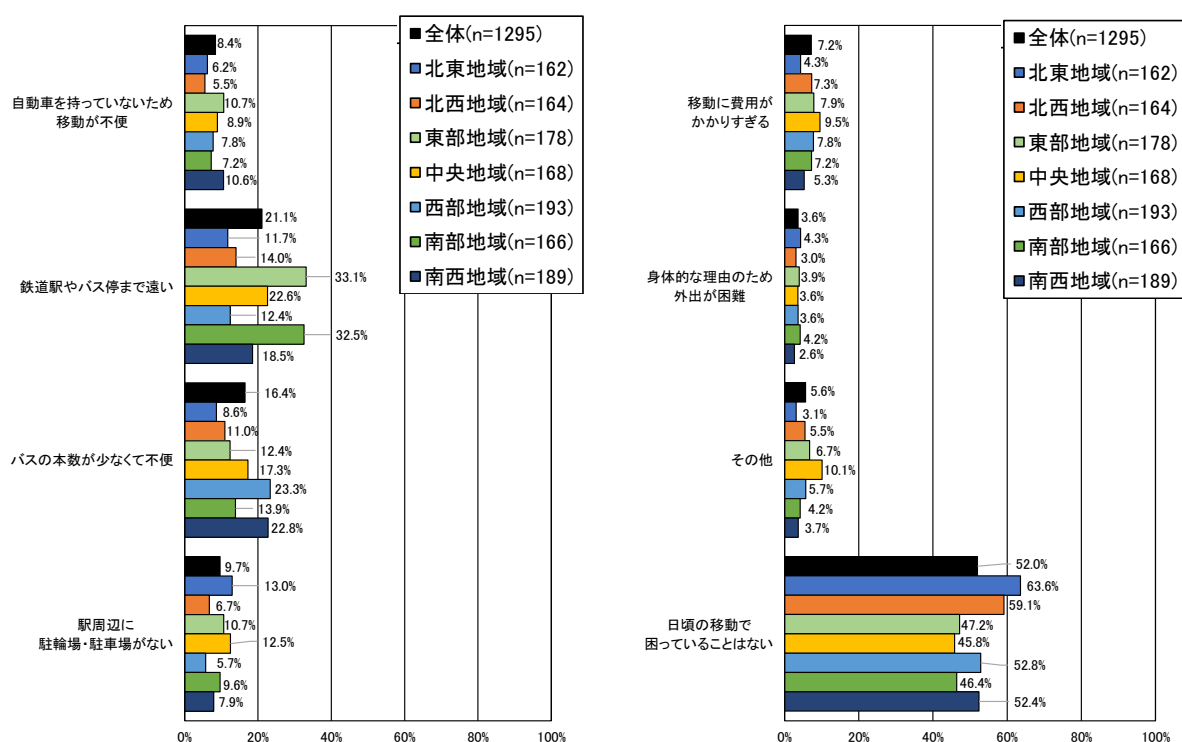


図 1-17 地域別・日頃の移動で困っていること

表 1-11 「鉄道やバス停まで遠い」回答者の居住地

地域	1位	2位	3位
東部地域 (n=59)	栄町 29人	池田町 25人	新塚町 5人
南部地域 (n=54)	石神町 22人	野寺町 11人	栗原町 11人
中央地域 (n=37)	畑中町 14人	馬場町 12人	野火止町 11人

表 1-12 「バスの本数が少なくて不便」回答者の居住地

地域	1位	2位	3位
西部地域 (n=45)	野火止町 25人	あたご町 14人	菅沢町 6人
南西地域 (n=43)	新堀町 30人	西堀町 11人	本多町 2人

1.2.4 にいバス（コミュニティバス）について

(1) にいバスの認知度

・にいバスの認知度は 92.0% と高いが、運行内容まで知っている方は 30.4% に留まっている。

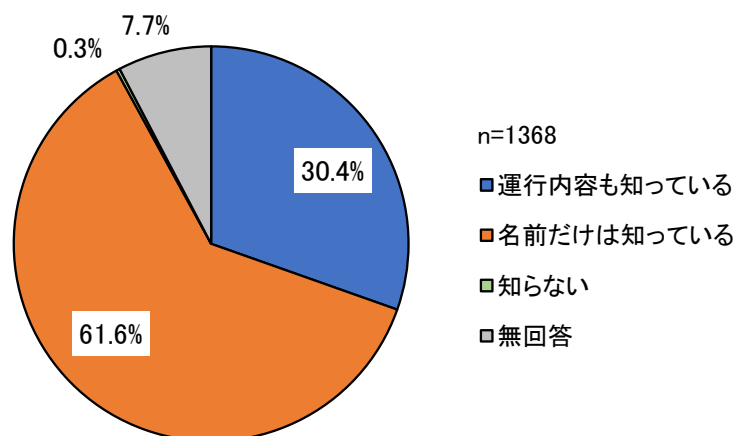


図 1-18 にいバスの認知度

(2) にいバスの利用頻度

・にいバス利用者は 4.7%、にいバス非利用者は 93.1% となっている。

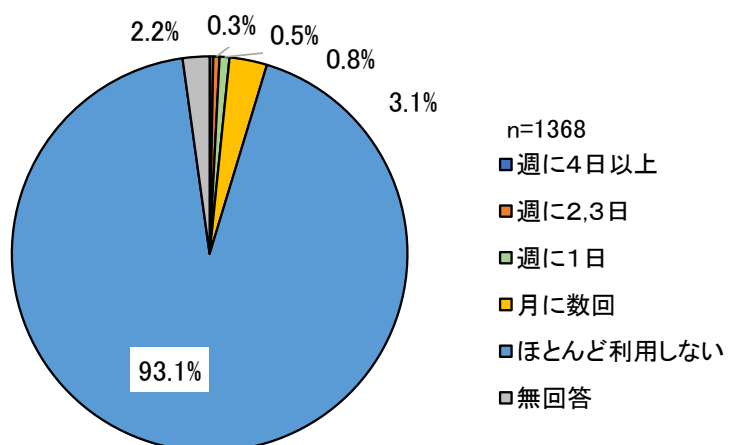
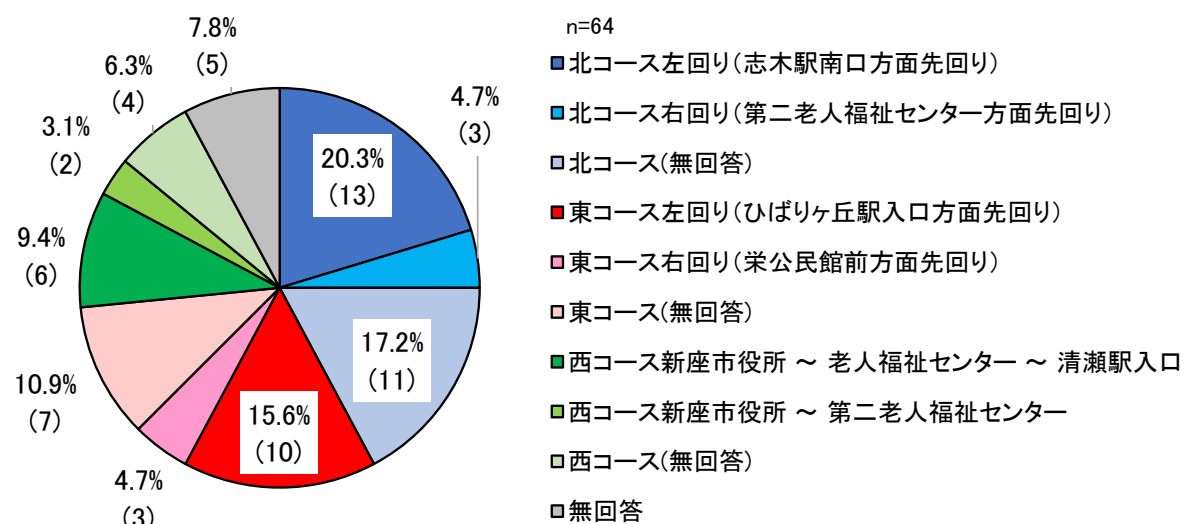


図 1-19 にいバスの利用頻度

(3) にいバスの利用路線

・北コース計 42.2%、東コース計 31.2%、西コース計 18.8%の順で、このうち「北コース左回り(志木駅南口方面先回り)」が最も高く 20.3%となっており、次いで「東コース左回り(ひばりヶ丘駅入口方面先回り)」が 15.6%、「西コース新座市役所～老人福祉センター～清瀬駅入口」が 9.4%などとなっている。



※()内の数字は、サンプル数

※サンプル数が少ないことに注意

図 1-20 にいバスの利用路線

(4) にいバスの満足度

【行き先、運行経路】

・不満の割合が高く、「不満」、「やや不満」を合わせると 39.0%となっている。

【運行本数（運行間隔）】

・不満の割合が高く、「不満」、「やや不満」を合わせると 81.1%となっている。

【始発時刻・終発時刻】

・不満の割合が高く、「不満」、「やや不満」を合わせると 52.8%となっている。

【鉄道や他のバスへの乗りつぎ】

・「どちらでもない」の割合は 46.0%で、「不満」、「満足」よりも高い。

【運賃】

・満足の割合が高く、「満足」、「やや満足」を合わせると 55.5%となっている。

【総合的な満足度】

・不満の割合が高く、「不満」、「やや不満」を合わせると 42.6%となっている。

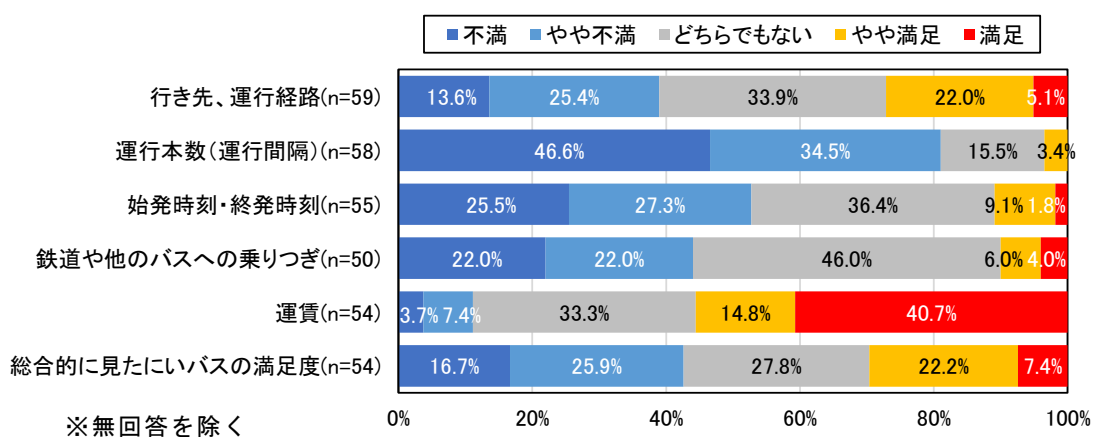


図 1-21 にいバスの満足度

(5) にいバスを利用しない人の意識

1) にいバスを利用しない理由（複数回答）

- ・「他の交通手段が便利」が最も高く 52.0%、次いで「運行本数が少ない」が 37.3%、「利用したい時間帯に便がない」が 23.4%などとなっている。

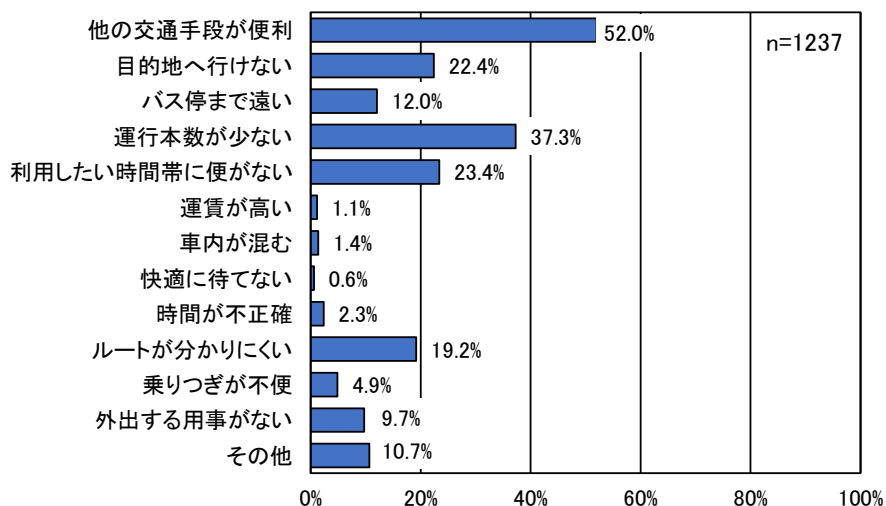


図 1-22 にいバスを利用しない理由

2) にいバスを利用するための条件（複数回答）

- ・「運行本数が多ければ利用する」が最も高く 41.7%、次いで「自宅や目的地近くを経由するルートがあれば利用する」が 34.1%、「利用したい時間帯に便があれば利用する」が 22.6%などとなっている。
- ・「条件がどう変わってもにいバスは利用しない」は、25.4%となっている。

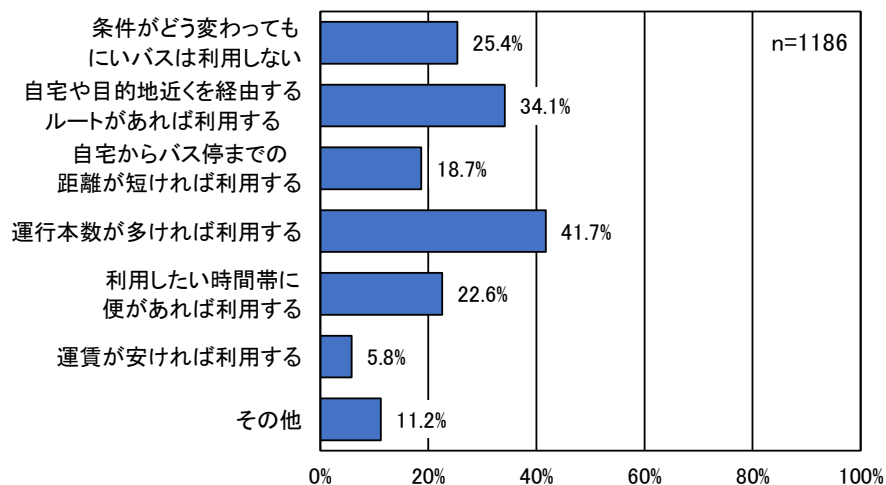


図 1-23 にいバスを利用するための条件

【にバスを利用するための具体的な条件】

表 1-13 希望の目的地

目的地	人
志木駅	31
新座駅	27
市役所	21
駅	15
東久留米駅	13
病院	11
朝霞台駅	9
商業施設	9
朝霞駅	9
大泉学園駅	8

表 1-14 希望のバス停までの所要時間

バス停までの所要時間	人
5分	104
3分	42
10分	18
2分	12
1分	8
20分	3
7分	3
6分	3

表 1-15 希望の運転間隔

運転間隔	人
30分	106
15分	96
20分	72
10分	60
60分	38
5分	10
40分	4
90分	2

表 1-16 希望の時間帯

時間帯	人
10時台	51
7時台	49
9時台	41
8時台	25
14時台	19
6時台	16
17時台	15
18時台	15
19時台	13
11時台	12

表 1-17 希望の運賃

運賃	人
100円	26
200円	11
150円	7
0円	2

表 1-18 その他の意見

その他の意見	人
今は利用する予定がない	18
自家用車の運転ができなくなった時	10
運転免許を返納した時	8
運行本数が増えた時	8
自力で移動できない時	6
内容を理解できた時	6
所要時間が短くなった時	5
今は自家用車がある	3
必要になった時	3
車椅子での乗車ができる時	3
自宅付近にバス停ができた時	2
これから考えたい	2
家族に送迎を頼めない時	2
利用する機会が少ない	2
アプリでルートや時間が分かるようになった時	2
今までよく知らなかった	2
雨天時	2
よく分からない	2
高齢になった時	2
自転車に乗れなくなった時	2

1.2.5 デマンド型交通²（乗合タクシー）について

(1) デマンド型交通の利用意向

1) 市全体

・年代が上がるにつれ「利用すると思う」の割合が高くなる傾向になっている。特に 75 歳以上では 40.3% と高くなっている。

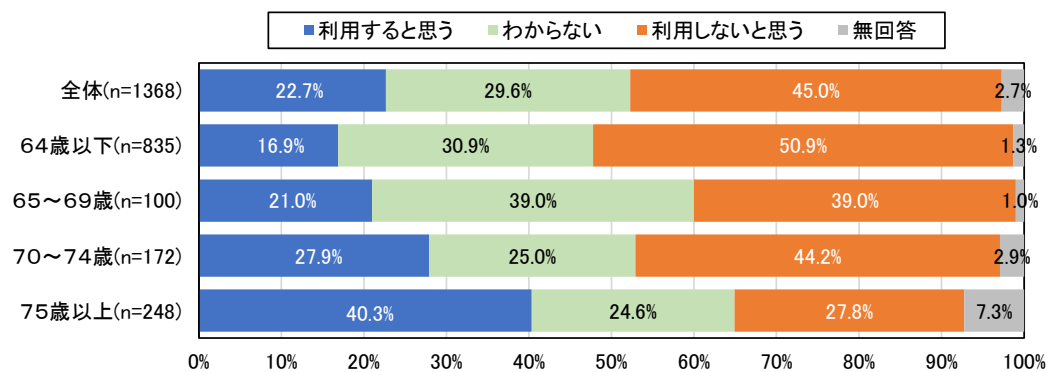


図 1-24 デマンド型交通の利用意向

2) 地域別

・65 歳以上で「利用すると思う」は南西地域が最も高く 38.5%、次いで西部地域が 37.5%、東部地域が 33.8% などとなっている。

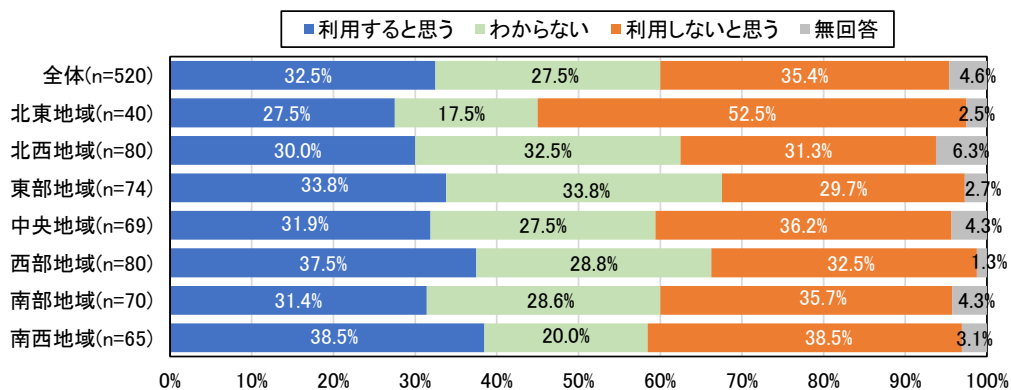


図 1-25 地域別・デマンド型交通の利用意向(65 歳以上)

² デマンド型交通とは、電話予約などによって運行を行う公共交通機関のこと。

(2) デマンド型交通を「利用すると思う」とした回答者の利用意向(65 歳以上)

1) デマンド型交通を利用する理由 (複数回答)

・「目的地出入口まで乗り入れるから」が最も高く 74.1%、次いで「タクシーより安そうだから」が 52.5%、「家族や知人に送迎を頼む必要がなくなるから」が 48.8%などとなっている。

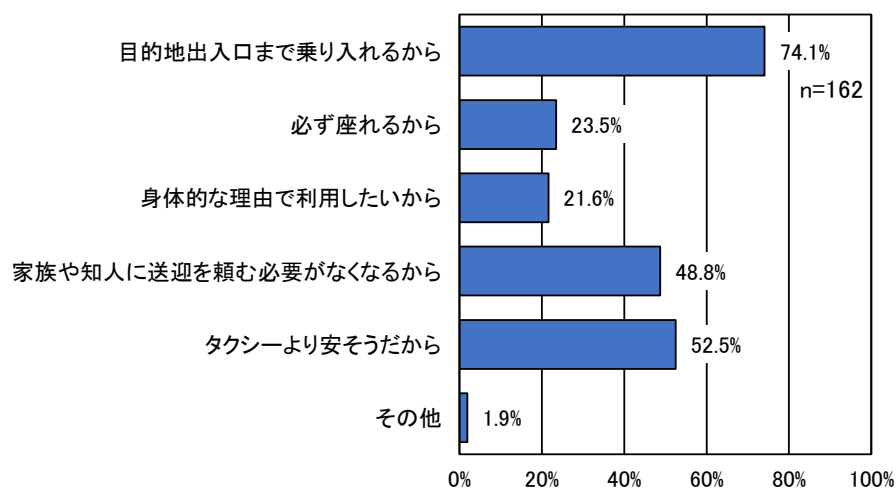


図 1-26 デマンド型交通を利用する理由 (65 歳以上)

2) デマンド型交通の利用目的 (複数回答)

①市全体

・「通院」が最も高く 78.8%、次いで「買い物」が 53.3%、「公共施設への移動」が 47.9%などとなっている。

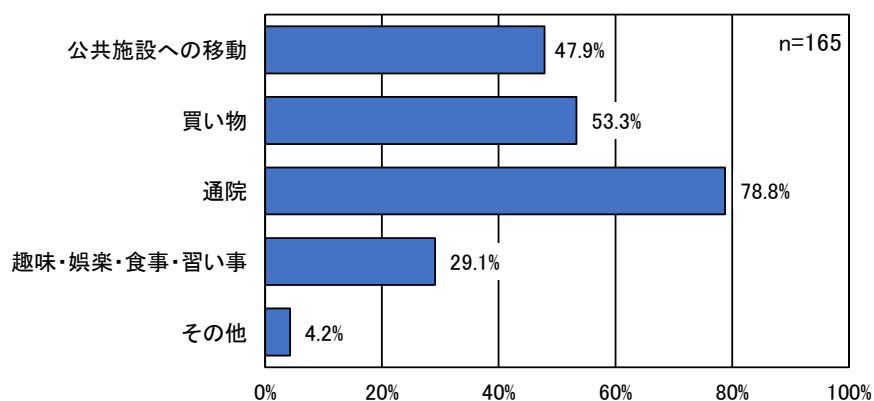


図 1-27 デマンド型交通の利用目的 (65 歳以上)

②地域別

- ・全ての地域で「通院」が最も高く、その他「買い物」、「公共施設への移動」も高い。

表 1-19 地域別・デマンド型交通の利用目的(65歳以上)

地域	1位	2位	3位
全体 (n=165)	通院 78.8%	買い物 53.3%	公共施設 への移動 47.9%
北東地域 (n=9)	通院 77.8%	趣味・娯楽・ 食事・習い事 55.6%	・買い物 ・公共施設 への移動 44.4%
北西地域 (n=24)	通院 75.0%	公共施設 への移動 50.0%	買い物 33.3%
東部地域 (n=25)	通院 84.0%	公共施設 への移動 56.0%	買い物 52.0%
中央地域 (n=21)	通院 81.0%	買い物 47.6%	公共施設 への移動 28.6%
西部地域 (n=30)	通院 76.7%	買い物 70.0%	公共施設 への移動 53.3%
南部地域 (n=22)	通院 81.8%	買い物 54.5%	公共施設 への移動 54.5%
南西地域 (n=24)	通院 75.0%	買い物 58.3%	公共施設 への移動 45.8%

凡例				
公共施設 への移動	買い物	通院	趣味・娯楽・ 食事・習い事	・買い物 ・公共施設 への移動

3) デマンド型交通で行きたい施設 (複数回答)

①市全体

- ・「病院・診療所」が最も高く 69.4%、次いで「市役所・出張所」が 55.6%、「商業施設(スーパー・デパート等)」が 39.4%などとなっている。
- ・「病院・診療所」は、「堀ノ内病院」が最も多く 22 人となっている。
- ・「市役所・出張所」は、「新座市役所」が最も多く 41 人となっている。
- ・「商業施設(スーパー・デパート等)」は「ヤオコー新座店」が最も多く 7 人となっている。

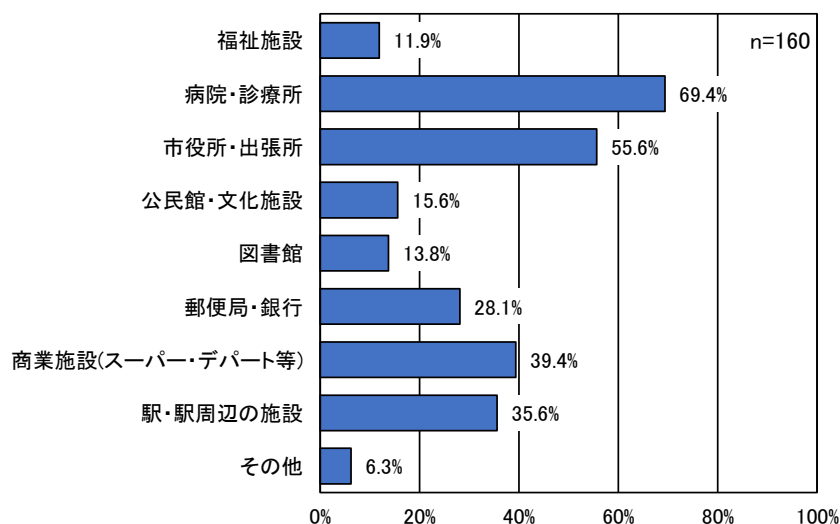


図 1-28 デマンド型交通で行きたい施設(65歳以上)

表 1-20 デマンド型交通で行きたい施設・駅(65歳以上)

福祉施設	人
老人福祉センター(えがおの里)	3
亀寿苑南部高齢者相談センター (殿山亀寿苑指定介護予防支援事業)	1
福祉の里図書館	1
第二老人福祉センター(元気の里)	1
福祉の里老人福祉センター	1

市役所・出張所	人
新座市役所	41
新座市役所・栗原出張所	1
新座市役所・栄出張所	1

図書館	人
中央図書館	10

商業施設(スーパー・デパート等)	人
ヤオコー新座店	7
ロヂャース新座店	7
いなげや大泉学園店	5
イオン新座店	5
マルイファミリー志木	4
西友新座店	4
ベイシア新座店	4

病院・診療所	人
堀ノ内病院	22
新座志木中央総合病院	19
新座病院	6
埼玉病院	5
清風荘病院	4

公民館・文化施設	人
ふるさと新座館	4
栗原公民館	3
新座市民会館	2
中央公民館	2
栄公民館	2

郵便局・銀行	人
新座郵便局	7
埼玉りそな銀行新座支店	6
栄郵便局	2
みずほ銀行東久留米支店	2
三菱UFJ銀行志木駅前支店	2

駅・駅周辺の施設	人
志木駅	17
新座駅	8
ひばりヶ丘駅	7
朝霞台駅	6
東久留米駅	6
清瀬駅	6

②地域別

- ・「利用すると思う」が高かった東部地域、西部地域、南西地域では「病院・診療所」が高い。

表 1-21 地域別・デマンド型交通で行きたい施設・駅(65歳以上)

地域	1位	2位	3位	4位
全体 (n=160)	病院・診療所 69.4%	市役所・出張所 55.6%	商業施設(スーパー・デパート等) 39.4%	駅・駅周辺の施設 35.6%
北東地域 (n=11)	商業施設(スーパー・デパート等) 54.5%	病院・診療所 45.5%	市役所・出張所 45.5%	駅・駅周辺の施設 36.4%
北西地域 (n=23)	病院・診療所 87.0%	市役所・出張所 60.9%	駅・駅周辺の施設 47.8%	・商業施設(スーパー・デパート等) ・郵便局・銀行 26.1%
東部地域 (n=21)	病院・診療所 71.4%	市役所・出張所 61.9%	商業施設(スーパー・デパート等) 33.3%	・駅・駅周辺の施設 ・郵便局・銀行 23.8%
中央地域 (n=21)	病院・診療所 76.2%	商業施設(スーパー・デパート等) 38.1%	郵便局・銀行 38.1%	駅・駅周辺の施設 33.3%
西部地域 (n=29)	病院・診療所 62.1%	商業施設(スーパー・デパート等) 48.3%	市役所・出張所 44.8%	駅・駅周辺の施設 37.9%
南部地域 (n=21)	市役所・出張所 81.0%	病院・診療所 71.4%	駅・駅周辺の施設 61.9%	商業施設(スーパー・デパート等) 52.4%
南西地域 (n=25)	病院・診療所 68.0%	市役所・出張所 64.0%	商業施設(スーパー・デパート等) 40.0%	郵便局・銀行 28.0%

凡例				
病院・診療所	市役所・出張所	郵便局・銀行	商業施設(スーパー・デパート等)	駅・駅周辺の施設
・商業施設(スーパー・デパート等) ・郵便局・銀行	・駅・駅周辺の施設 ・郵便局・銀行			

4) デマンド型交通の運賃支払可能額(65歳以上)

- ・支払ってもよいと思う運賃は、「500円以下」が最も高く 61.5%となっている。
- ・1000円まででは 95.2%であり、1000円以下が限度となっている。

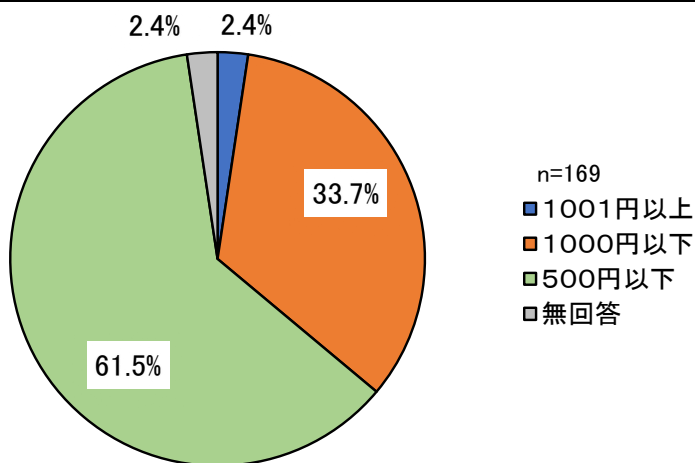


図 1-29 運賃支払可能額(65歳以上)

5) デマンド型交通の利用頻度

- ・「月数回」が最も高く 57.4%となっている。
- ・「週 1 日以上」を利用すると回答した方において、利用する曜日について尋ねたところ、「月曜日」が最も高く 51.5%、次いで「水曜日」が 42.4%、「金曜日」が 39.4%となっている。

【「週 1 日以上」を利用すると回答した方の利用する曜日】
(複数回答)

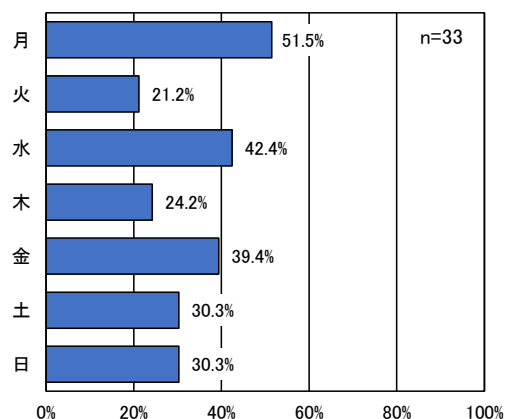
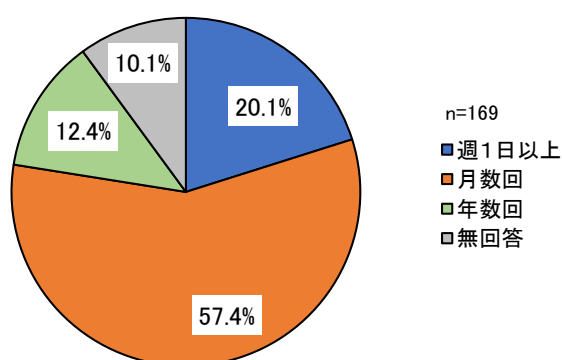


図 1-30 利用頻度 (65 歳以上)

図 1-31 利用曜日 (65 歳以上)

6) デマンド型交通を利用する時間帯

- ・行きが「午前」(71.6%)、帰りが「午後」(73.4%)の割合が高くなっている。
- ・時間帯別にみると、行きは、10 時台が 58 人と最も多く、次いで 9 時台が 39 人などとなっている。
- ・帰りは、15 時台が 26 人と最も多く、次いで 16 時台が 23 人などとなっている。

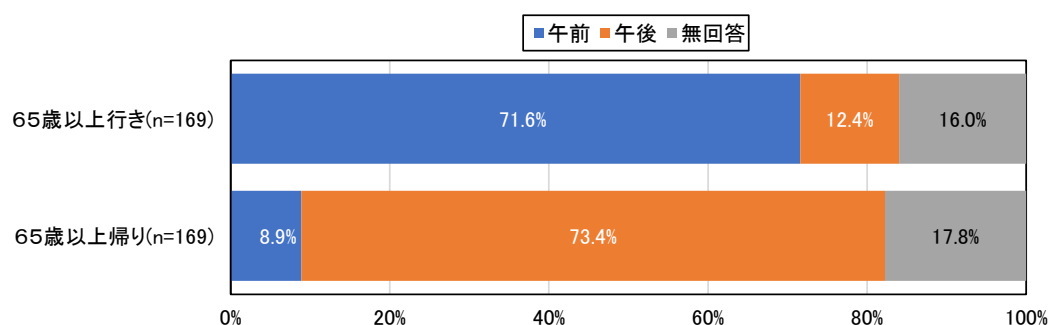


図 1-32 利用する時間帯 (65 歳以上)

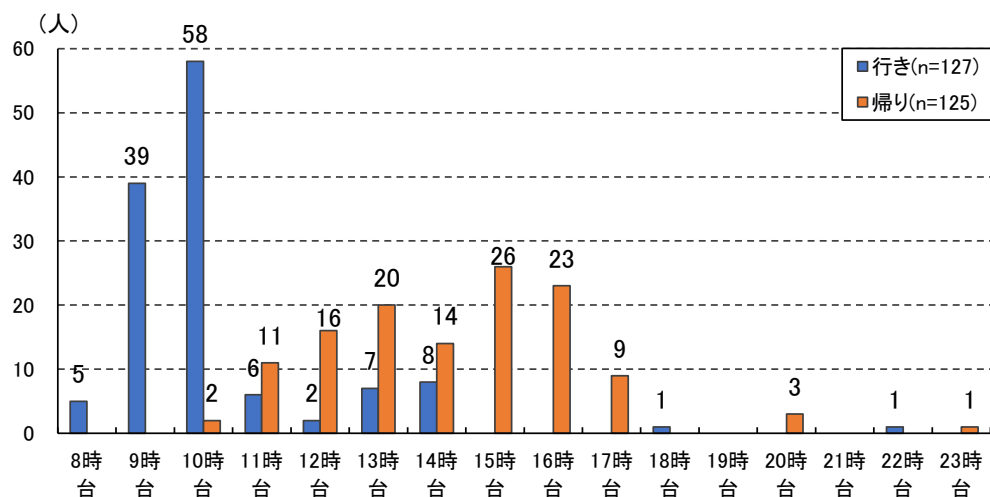


図 1-33 利用する具体的な時間帯(65 歳以上)

(3) デマンド型交通を「利用しないと思う」理由(65 歳以上) (複数回答)

・「他の交通手段が便利そうだから」が最も高く 55.9%、次いで「事前の登録や電話で予約するのがめんどろと思うから」が 37.9%、「知らない人と相乗りするのがいやだから」が 28.8%などとなっている。

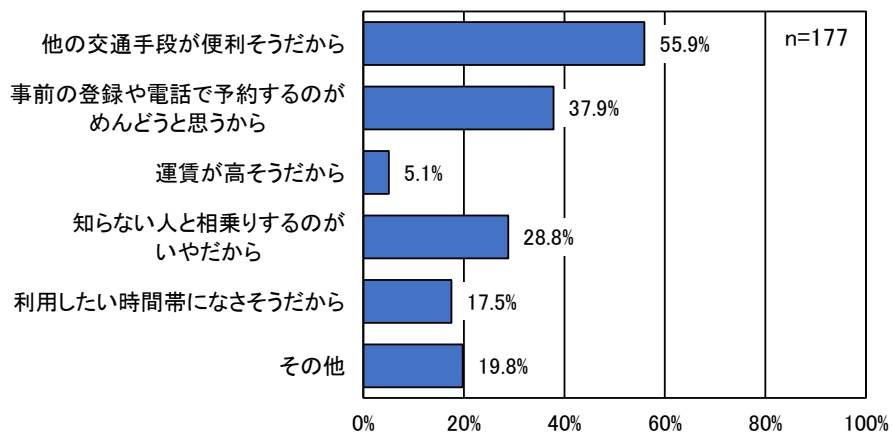


図 1-34 利用しない理由(65 歳以上)

1.2.6 コミュニティサイクル³（シェアサイクル）について

(1) コミュニティサイクルの認知度

- ・「知っている」は、全体で 43.1% となっており、50 歳代が最も高く 55.0% になっている。
- ・一方、19 歳以下、60 歳代以上は他の年代より低く、それぞれ 37.0%、33.0% となっている。

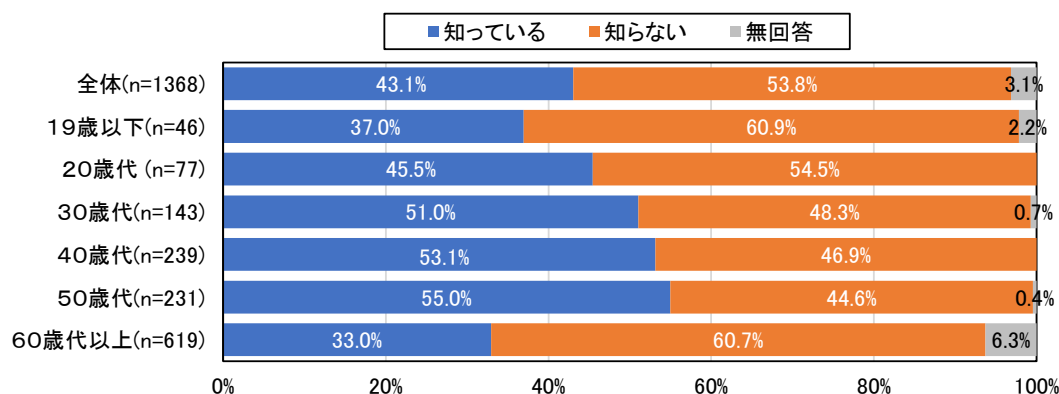


図 1-35 年代別・コミュニティサイクルの認知度

(2) コミュニティサイクルの利用意向

- ・「利用すると思う」は、全体で 16.5% となっており、20 歳代、40 歳代、50 歳代が 20% 以上となっている。

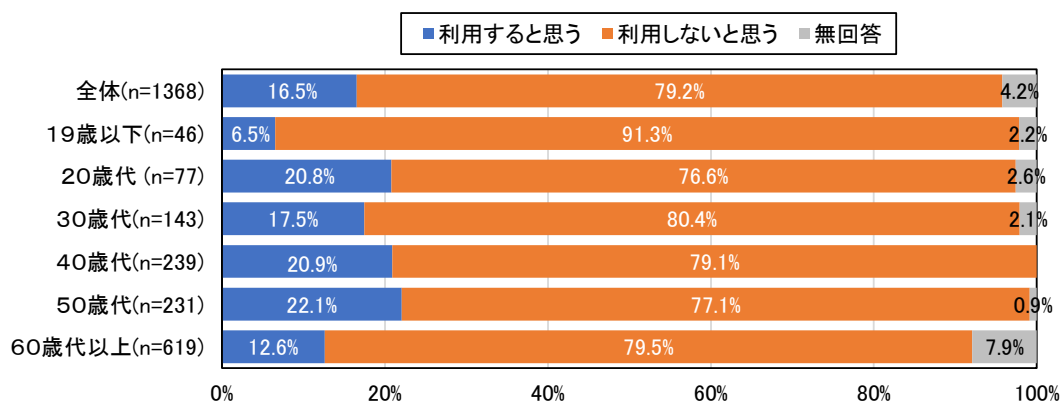


図 1-36 年代別・コミュニティサイクルの利用意向

³ コミュニティサイクル（シェアサイクル）は、自転車を共同利用する交通システムで、自転車を専用駐輪場（サイクルポート）で借り出して、必要な分だけ利用し、どのサイクルポートでも返却できる交通手段のこと。

(3) コミュニティサイクルを「利用すると思う」とした回答者の利用意向

1) コミュニティサイクルの利用目的（複数回答）

・「買い物」が最も高く 68.2%、次いで「趣味・娯楽・食事・習い事」が 47.5%、「通勤・通学」が 21.1%となっている。

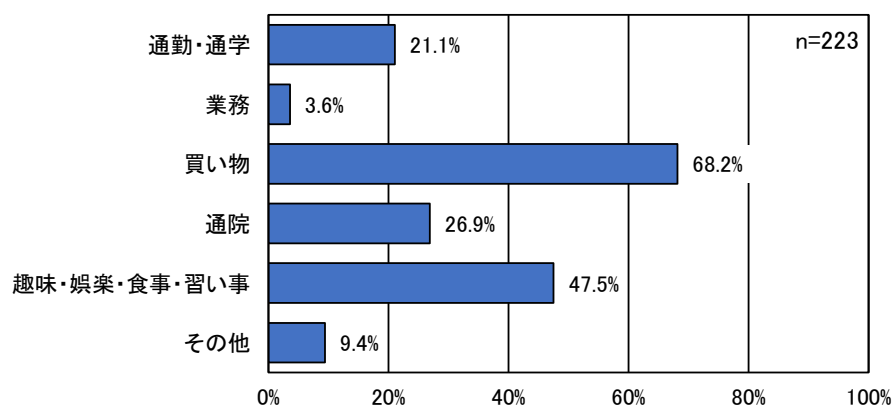


図 1-37 コミュニティサイクルの利用目的

2) コミュニサイクルを利用したい場所(出発地)

・「最寄りのコンビニ」が最も高く 51.8%、次いで「駅周辺」が 27.4%、「公共施設・公園」が 14.6%などとなっている。

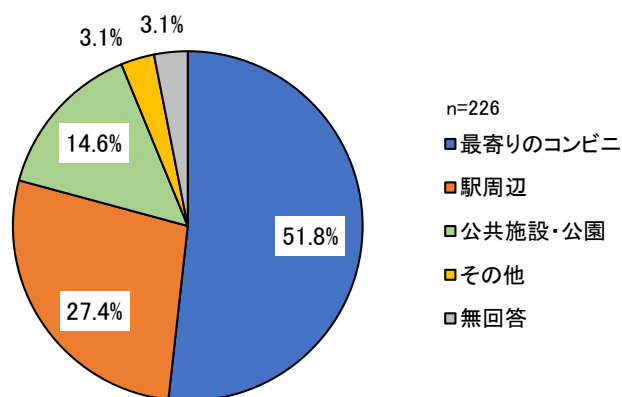


図 1-38 コミュニティサイクルを利用したい場所(出発地)

3) コミュニティサイクルで行きたい場所(目的地)

・「駅・駅周辺施設」が最も高く 65.3%、次いで「商業施設(スーパー・デパート等)」が 52.3%、「病院・診療所」が 36.5%などとなっている。

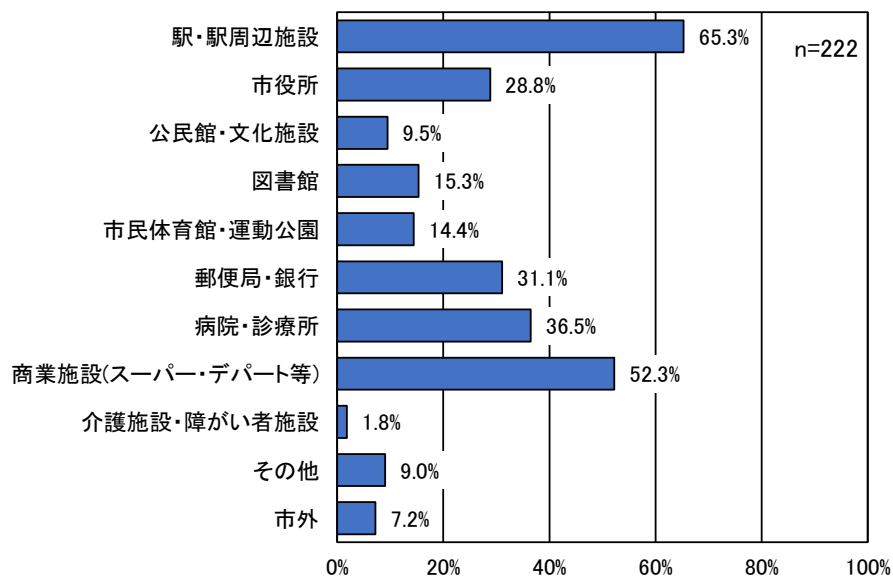


図 1-39 コミュニティサイクルで行きたい場所

4) コミュニティサイクルの利用頻度

・「月に数回」が最も高く 37.6%、次いで「週に 1 日」が 21.2%、「週に 2, 3 日」が 19.0%などとなっている。

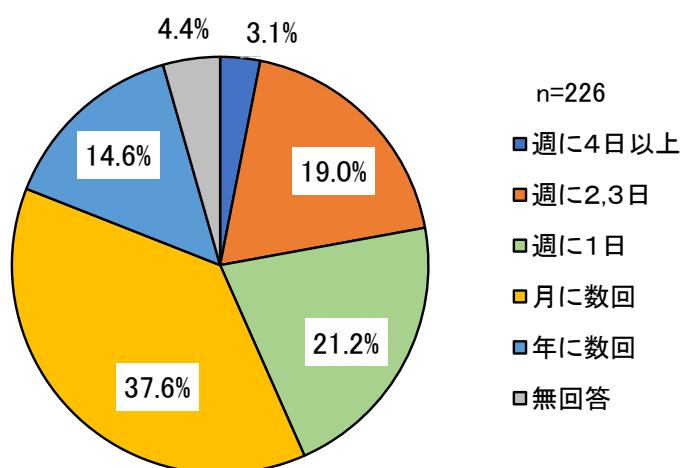


図 1-40 コミュニティサイクルの利用頻度

(4) コミュニティサイクルを「利用しないと思う」理由（複数回答）

・「自転車を持っているから」が最も高く 66.1%となっている。

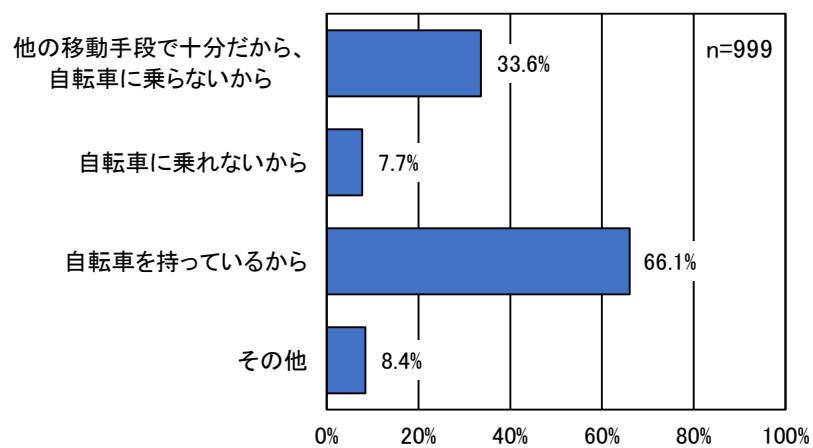


図 1-41 コミュニティサイクルを利用しない理由

1.2.7 新型コロナウイルスの影響について

(1) 外出行動の変化

【年代別】

- ・「外出回数が減少した」が最も高く 64 歳以下は 44.6%、65 歳以上は 34.0%となっている。
- ・「ほぼ変わらない」は、64 歳以下が 34.6%、65 歳以上が 24.6%となっている。
- ・「鉄道・バスの利用を控えた」は、64 歳以下 14.9%、65 歳以上が 22.1%となっている。

【職業有無別】

- ・「外出回数が減少した」は学生が最も高く 46.7%となっている。
- ・「鉄道・バスの利用を控えた」は職業なしが最も高く 21.4%となっている。

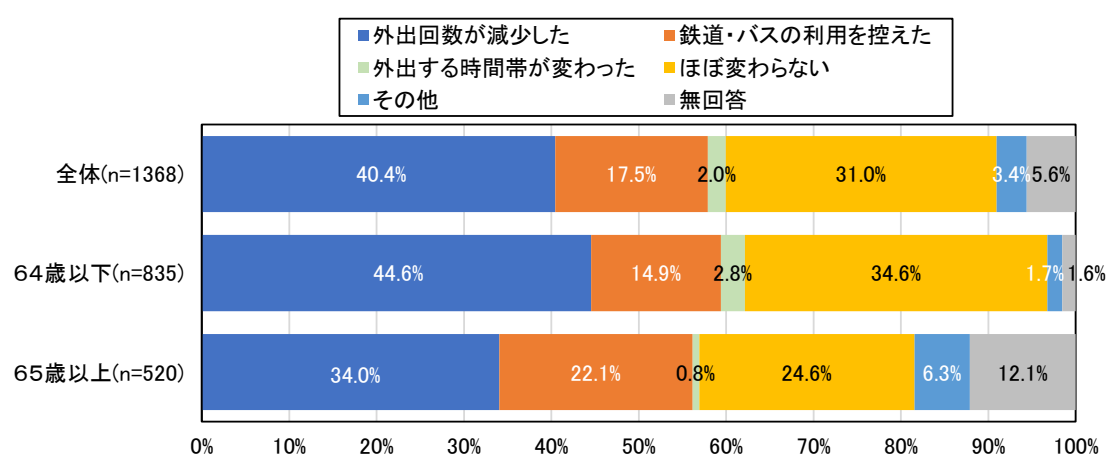


図 1-42 年代別・外出行動の変化

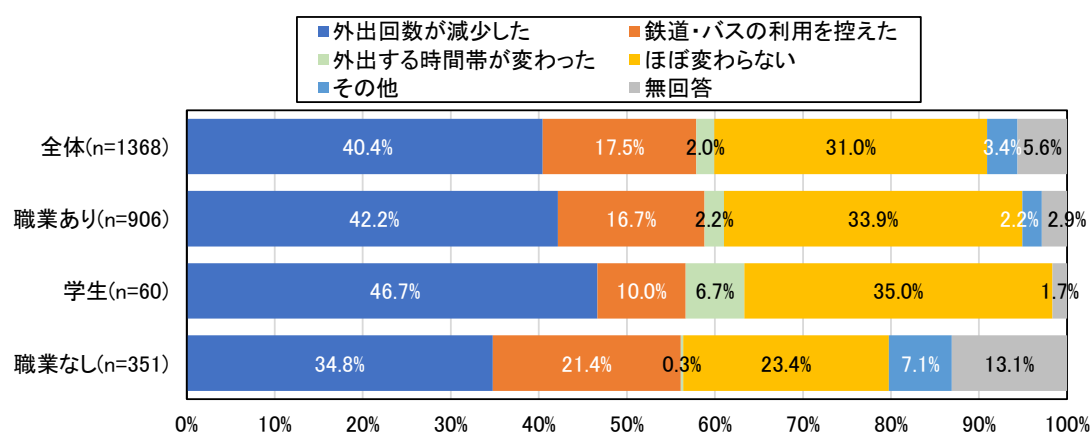


図 1-43 職業有無別・外出行動の変化

(2) 「外出回数が減少した」回答者の減少割合

- ・趣味等の減少が最も高く平均 6.7 割減となっており、次いで日常生活の減少が 5.1 割減、通勤・通学の減少が平均 4.9 割減となっている。

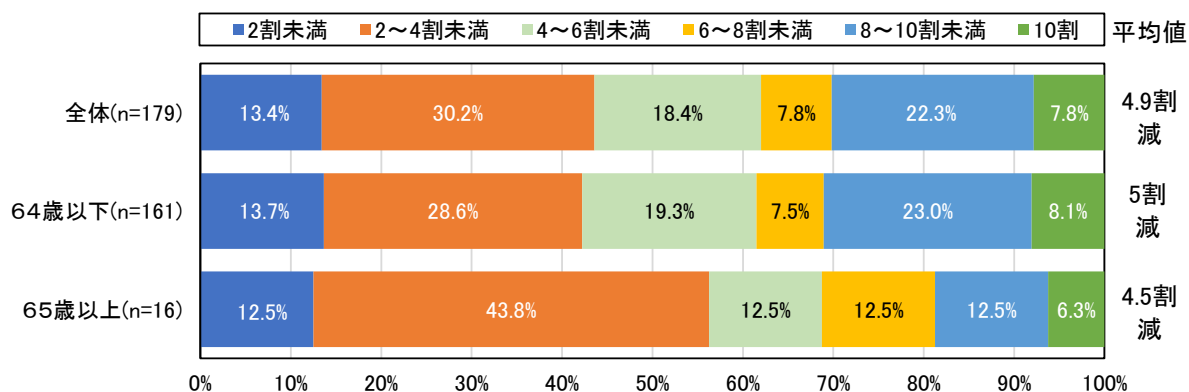
1) 通勤・通学の減少

【年代別】

- ・64 歳以下は平均 5.0 割減、65 歳以上は平均 4.5 割減となっている。

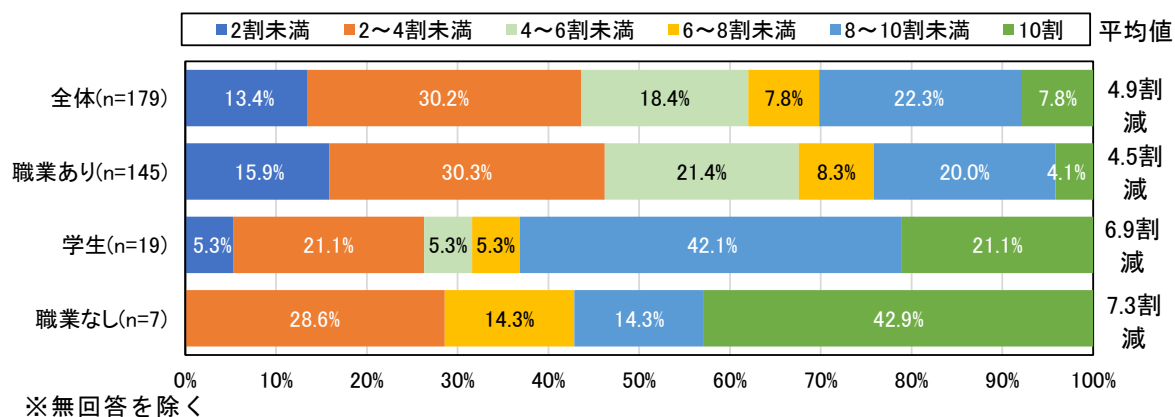
【職業有無別】

- ・職業なしが最も高く平均 7.3% 減となっており、「10 割」が 42.9% となっている。
- ・次いで、学生が平均 6.9 割減、職業ありが平均 4.5 割減となっている。
- ・職業ありで「10 割」が 4.1% となっており、低いながらテレワーク（在宅勤務）へ移行している。



※無回答を除く

図 1-44 年代別・通勤・通学の減少割合



※無回答を除く

図 1-45 職業有無別・通勤・通学の減少割合

2) 日常生活の減少（店舗に出かけて買い物・飲食するなど）

【年代別】

- ・ 64 歳以下は平均 5.1 割減、65 歳以上は平均 5.2 割減となっている。

【職業有無別】

- ・ 学生の減少が最も高く平均 6.8%減となっており、「8～10 割未満」が 50.0%となっている。
- ・ 次いで、職業なしが平均 5.3 割減、職業ありが平均 5.0 割減となっている。

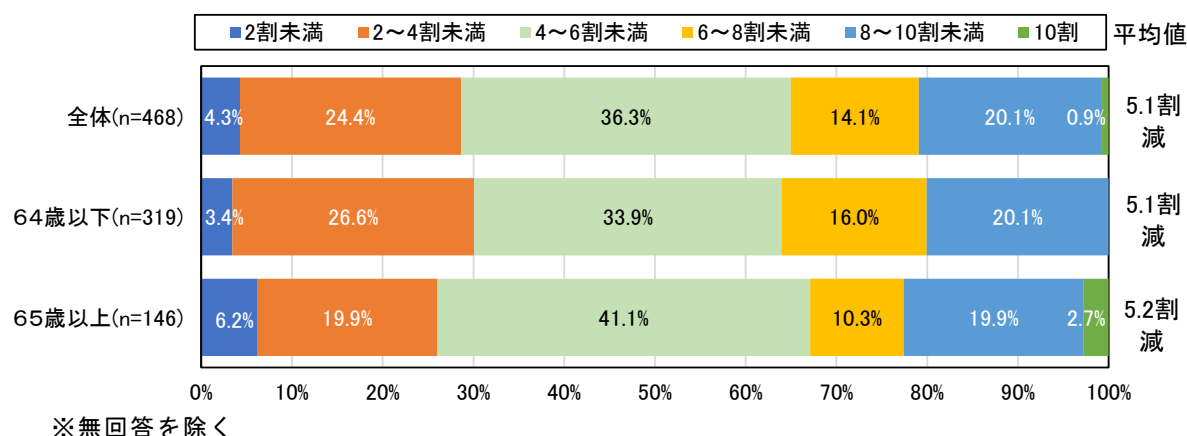


図 1-46 年代別・日常生活の減少割合

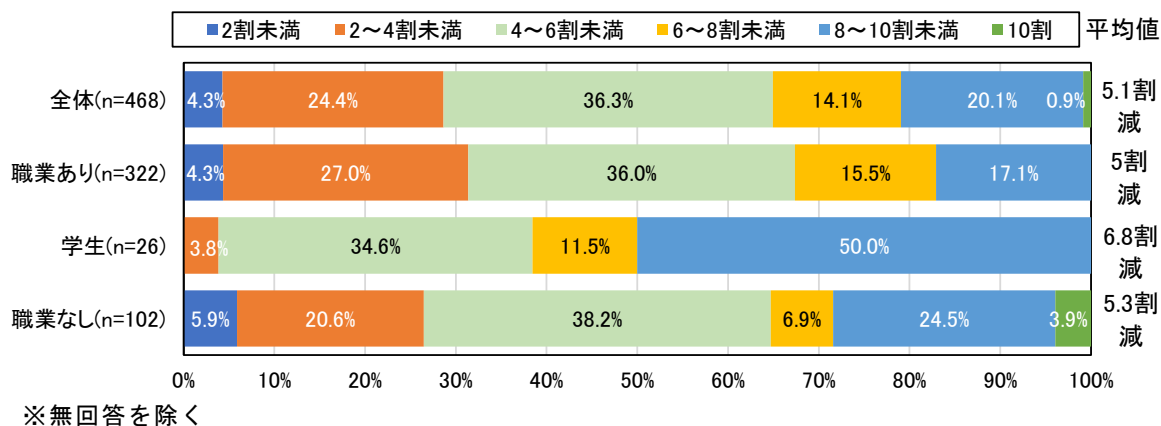


図 1-47 職業有無別・日常生活の減少割合

3) 趣味等の減少（趣味、娯楽、スポーツなどの私的な用事）

【年代別】

- ・ 64 歳以下は平均 6.8 割減、65 歳以上は平均 6.5 割減となっている。

【職業有無別】

- ・ 学生の減少が最も高く平均 7.2% 減となっており、「8～10 割未満」が 52.2% となっている。
- ・ 次いで、職業ありが平均 6.8 割減、職業なしが平均 6.3 割減となっている。

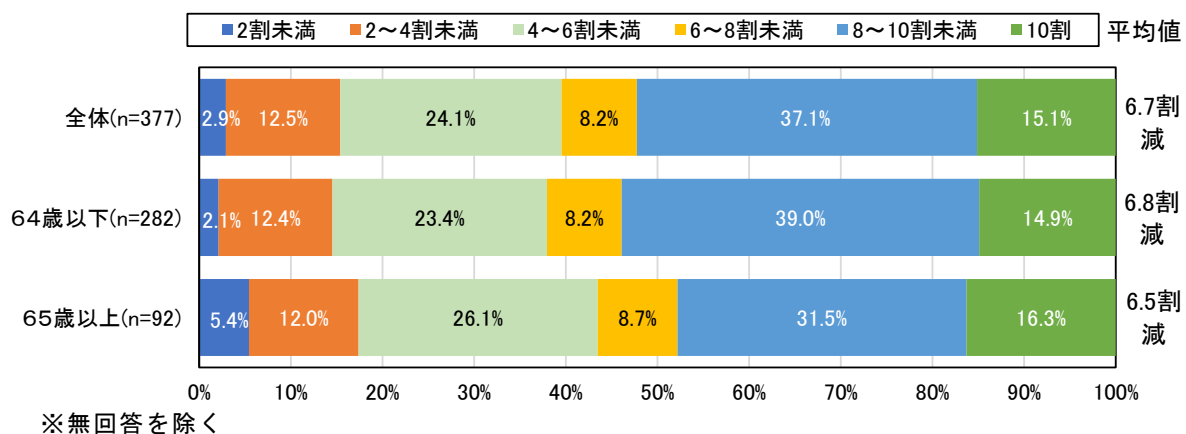


図 1-48 年代別・趣味等の減少割合

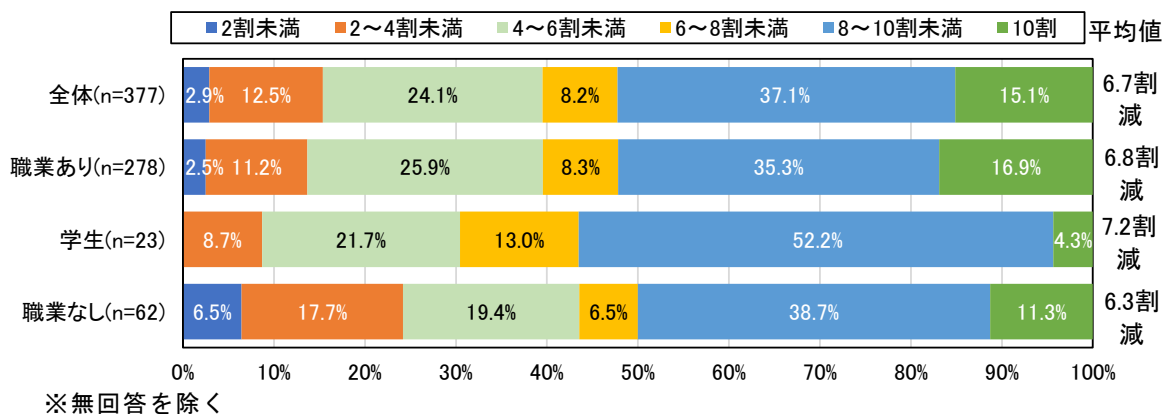


図 1-49 職業有無別・趣味等の減少割合

1.2.8 公共交通に対する市の財政負担のあり方について

にいバスの運行経費は約 3,000 万円であり、これに対し、運賃収入は約 500 万円で、約 2,500 万円は、国の特別交付税⁴と市の税金を運行経費でまかなっている。(平成 30 年度決算額：特別交付税約 1900 万円、市税約 600 万円)。このことを踏まえ、財政による負担のあり方について市民の意識を把握した。

(1) 公共交通への財政負担で優先すべき目的 (複数回答)

1) 市全体

- ・ にいバス利用者は、「病院へ通院」で便利に移動できるようにするため」が最も高く 63.8%、次いで「市役所などの「公共施設」へ便りに移動ができるようにするため」が 55.2%、「高齢者、身体障がい者、妊産婦などの移動を便利にするため」が 43.1% などとなっている。
- ・ にいバス非利用者は、「高齢者、身体障がい者、妊産婦などの移動を便利にするため」が最も高く 55.6%、次いで「病院へ通院」で便利に移動できるようにするため」が 51.0%、「市役所などの「公共施設」へ便りに移動ができるようにするため」が 37.5% などとなっている。

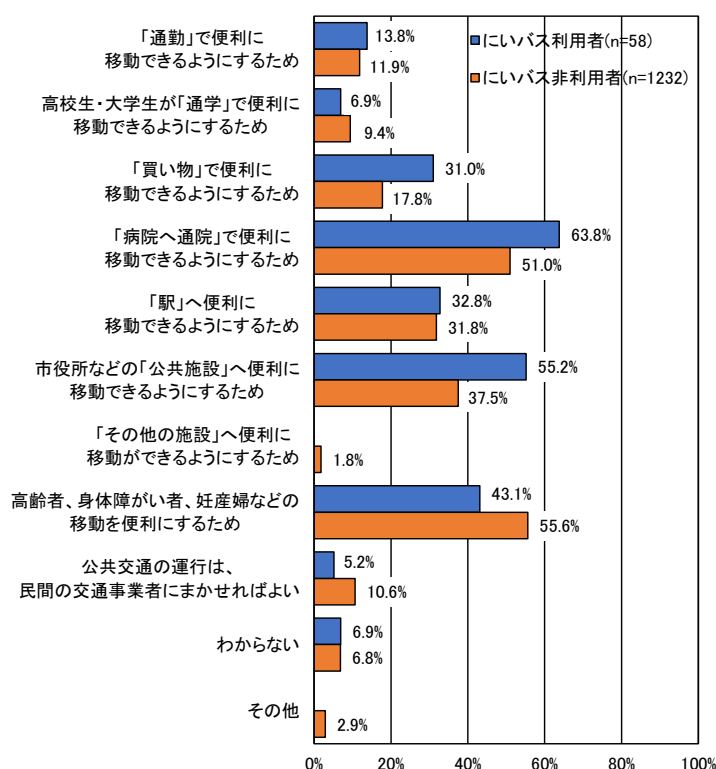


図 1-50 公共交通の財政負担で優先すべき目的

⁴ 特別交付税とは、災害等の臨時的・突発的な経費などで地方自治体が資金不足に陥らないよう国が臨時の財源として配分する資金のこと。

2) 地域別

- ・「病院へ通院」で便利に移動できるようにするため」は、地域により、46%から 59% となっている。
- ・「駅」へ便利に移動できるようにするため」は、地域により、27%から 36%となっている。
- ・「市役所などの「公共施設」へ便利に移動できるようにするため」は、地域により、27%から 49%となっている。市役所から遠い東武地域、北西地域、南西地域は 40%以上となっている。
- ・「高齢者、身体障がい者、妊産婦などの移動を便利にするため」は、地域により、53%から 60%となっている。

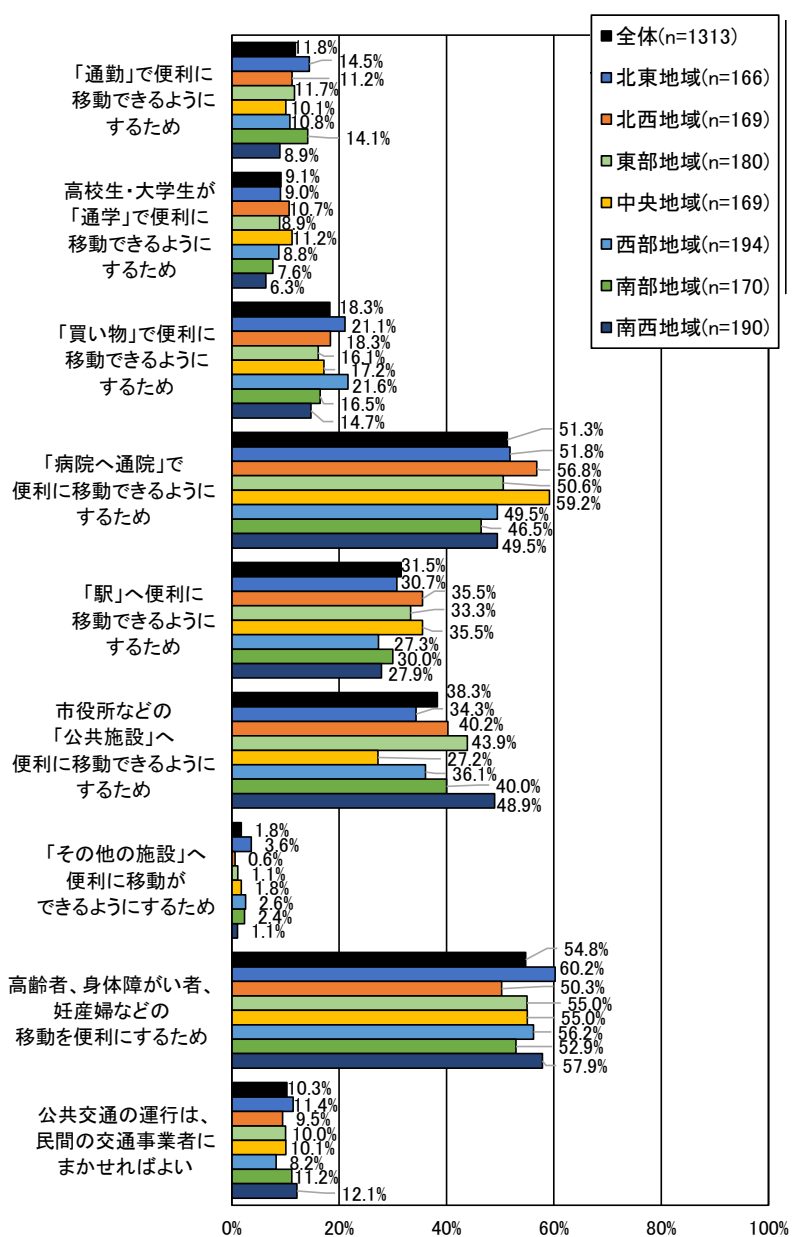


図 1-51 地域別・公共交通への財政負担で優先すべき目的

(2) 公共交通への財政負担に対する考え方について

1) 市全体

- ・にいいバス利用者は、「財政負担増・公共交通充実」が最も高く 35.9%、次いで「財政負担現状維持・公共交通現状維持」が 28.1%、「わからない」が 17.2%などとなっている。
- ・にいいバス非利用者は、「財政負担現状維持・公共交通現状維持」が最も高く 28.2%、次いで「わからない」が 23.9%、「財政負担増・公共交通充実」が 18.3%などとなっている。
- ・にいいバス利用者は「財政負担増・公共交通充実」の割合が高いのに対し、にいいバス非利用者は「財政負担減・公共交通縮小」の割合が高くなっている。にいいバス利用者と非利用者との間では考え方に比較的大きな差異が生じている。

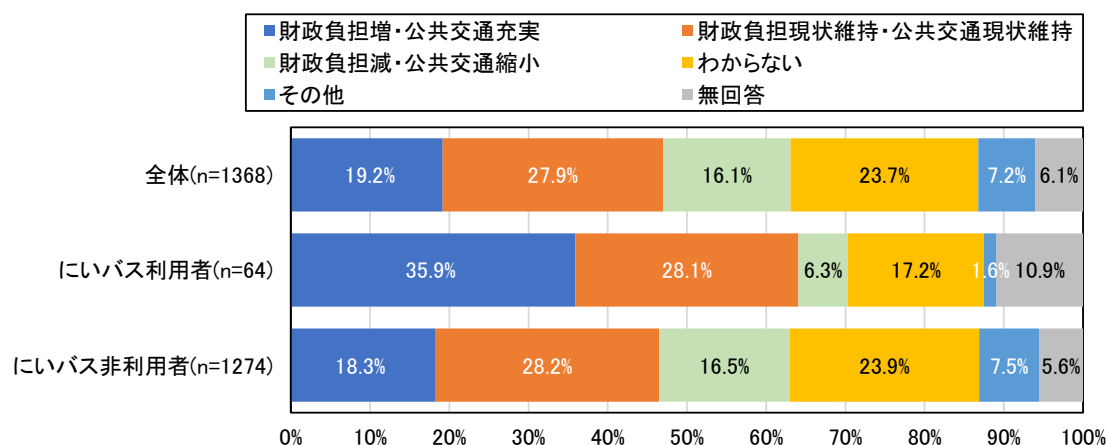


図 1-52 公共交通への財政負担に対する考え方

「財政負担増・公共交通充実」：市の財政負担を増やし、公共交通を充実すべき

「財政負担現状維持・公共交通現状維持」：市の財政負担は現状のまま、これまでどおりの公共交通を維持すべき

「財政負担減・公共交通縮小」：市の財政負担を減らし、公共交通を縮小すべき

2) 地域別

- ・全ての地域において「財政負担現状維持・公共交通現状維持」の割合が最も高く、北西地域が 33.9%、北東地域が 33.7%、中央地域が 30.3% などとなっている。

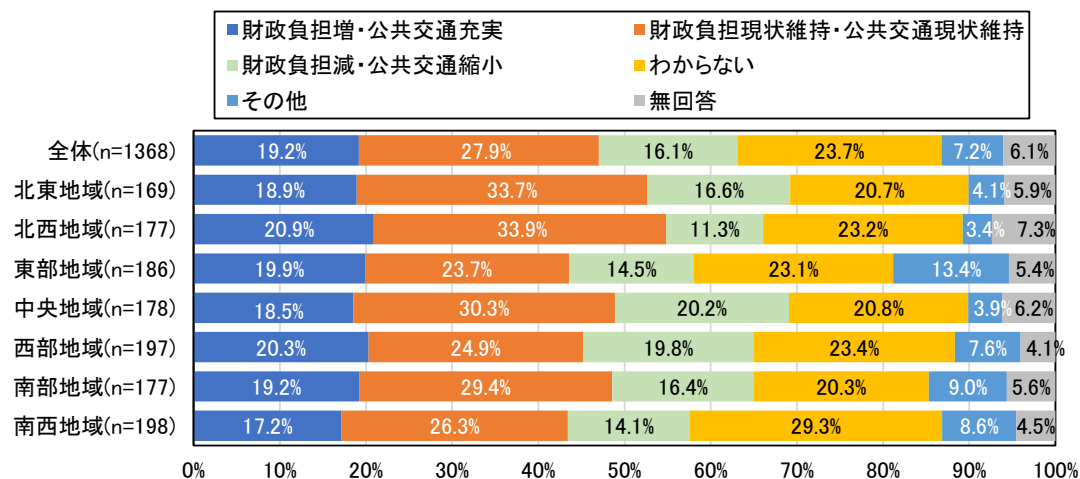


図 1-53 地域別・公共交通への財政負担に対する考え方

「財政負担増・公共交通充実」：市の財政負担を増やし、公共交通を充実すべき

「財政負担現状維持・公共交通現状維持」：市の財政負担は現状のまま、これまでどおりの公共交通を維持すべき

「財政負担減・公共交通縮小」：市の財政負担を減らし、公共交通を縮小すべき

2. にいバス(コミュニティバス)に関する利用者アンケート調査

2.1 調査概要

(1) 調査方法

- ・ 調査対象路線 全便、全コース
- ・ 調査対象者 にいバス利用者のうち小学生以上（目視で判断）
- ・ 調査方法 調査員が車両に乗車し、アンケート票を封入した返信用封筒をバス利用者に手渡して配布。回答後、郵送にて回収した。
なお、往復利用などで同一人物が複数回乗車した場合、利用者からの申し出があれば、1回のみの配布とした。

(2) 調査日

- ・ 令和2年12月9日（水）

(3) 回収状況

表 2-1 配布・回収状況

配布数	回収数	回収率
211 票	98 票	46.4%

2.2 調査結果

2.2.1 回答者の属性

(1) 性別・年代

- ・女性の回答が多く、年代別では「75歳以上」が最も高く 54.8%、次いで「70歳～74歳」が 17.7%、「40歳代」、「50歳代」、「65歳～69歳」が 6.5%などとなっている。
- ・男性は「75歳以上」が最も高く 46.4%、次いで「70歳～74歳」が 28.6%、「50歳代」が 10.7%などとなっている。

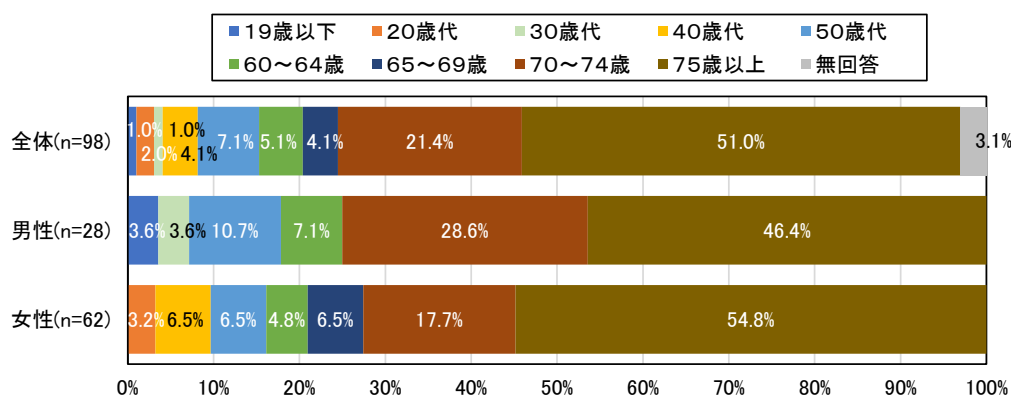


図 2-1 回答者の性別・年代

(2) 職業

- ・「無職、年金受給者」が最も高く 60.2%、次いで「会社員・公務員」が 11.2%、「専業主婦・夫、家事手伝い」が 10.2%などとなっている。

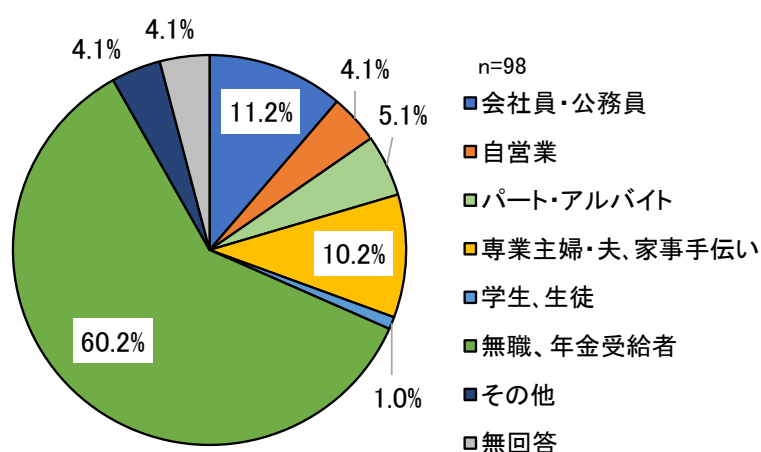


図 2-2 回答者の職業

(3) 居住地

- ・「新座市」が 89.9%となっており、利用者の多くが市内の居住者となっている。
- ・地域別にみると、「南部地域」が最も高くなっている。

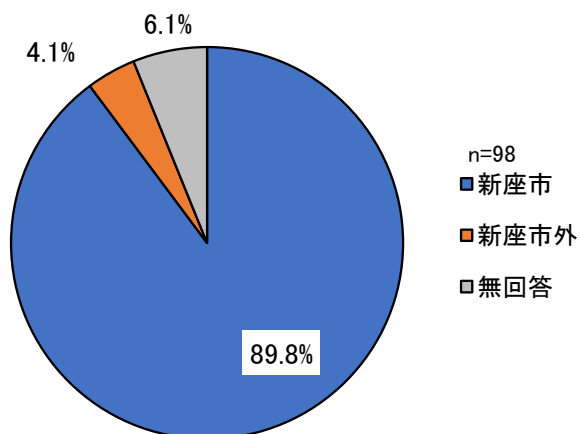


図 2-3 回答者の居住地

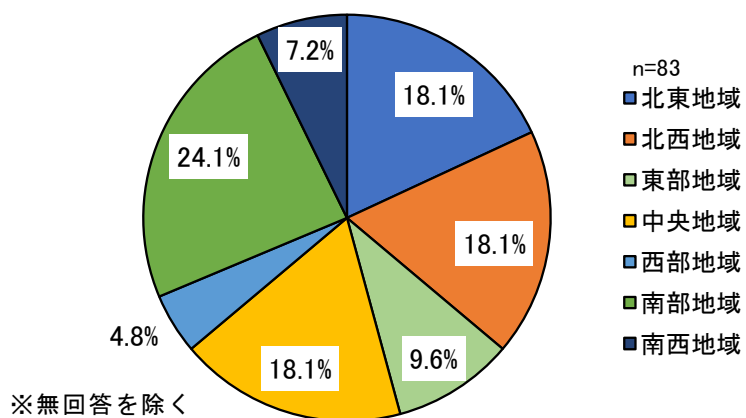


図 2-4 回答者の居住地(新座市内)

(4) 運転免許証保有の有無・運転免許証の返納予定

【運転免許証保有の有無】

- ・運転免許証保有回答割合は、64 歳以下が 60.0%、65～74 歳が 28.0%、75 歳以上が 8.0%となっており、年代が高くなるにつれて低くなる傾向となっている。（「運転免許保有(普段から運転する)」、「運転免許保有(あまり運転しない)」の合計）

【運転免許証の返納予定】

- ・返納予定ありは全体で 56.5%、65～74 歳では 71.5%となっている。（「返納予定あり(10 年以内)」と「返納予定あり(将来)」の合計）

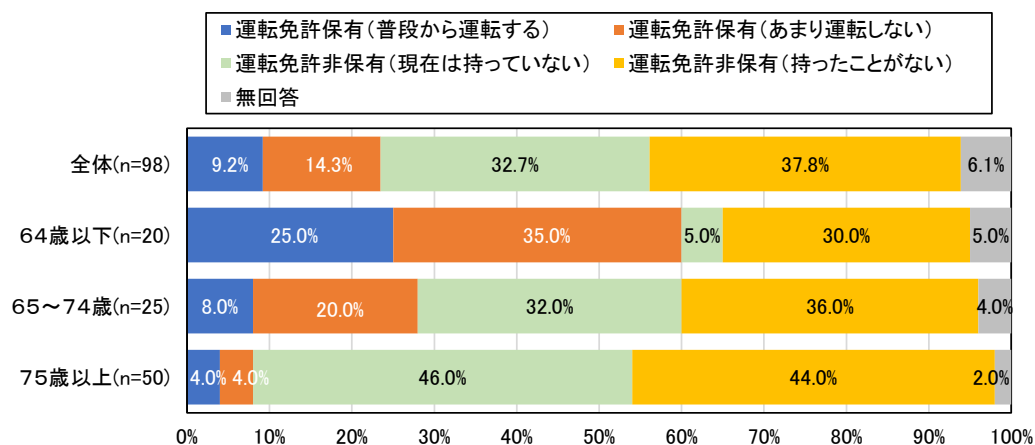


図 2-5 年代別・運転免許証の保有状況

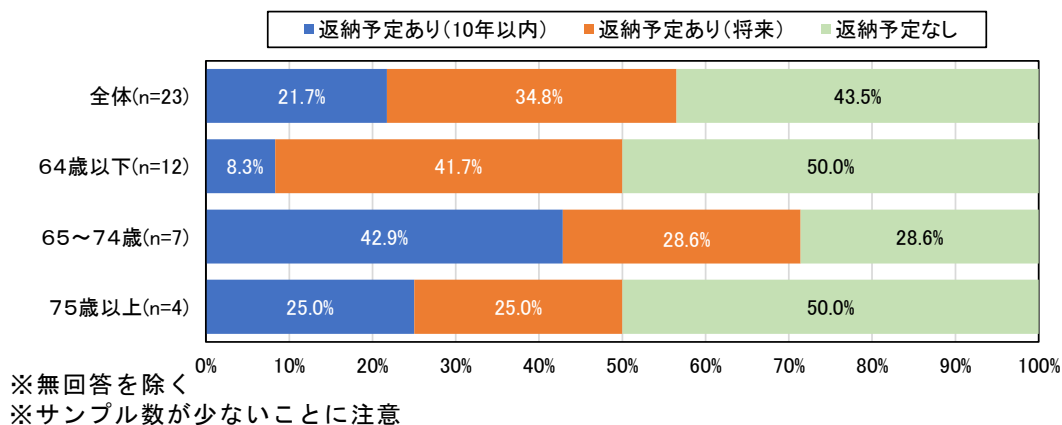


図 2-6 年代別・運転免許証の返納予定

(5) 自動車等の保有状況

- ・全ての年代で「自動車非保有(送迎環境なし)」が最も高くなっており、特に75歳以上は85.4%と高い。

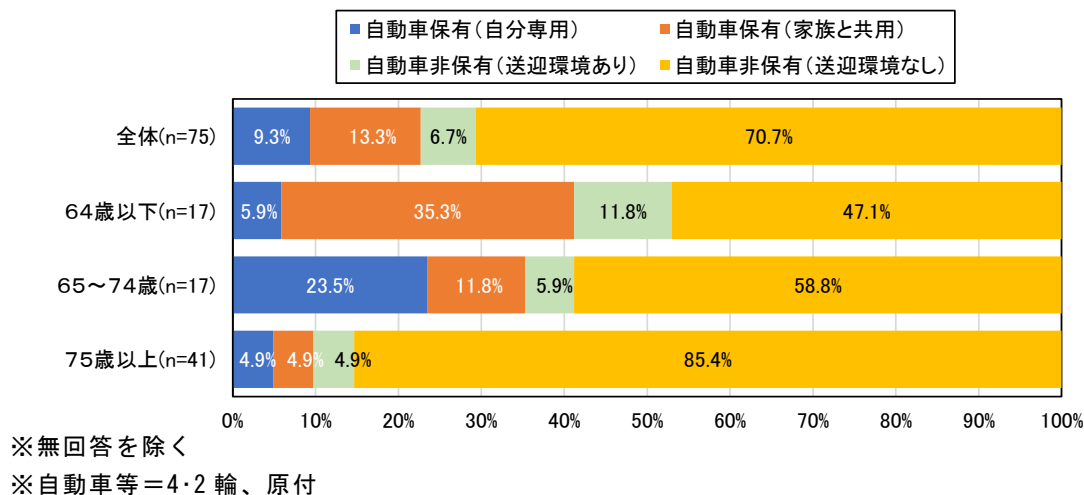


図 2-7 年代別・自動車等の保有状況

(6) 自宅からバス停まで許容できる距離

- ・年代全体でみると、300m以内で70%以上、500m以内が90%以上をバス停までの許容距離と回答しており、バス停まで500mが許容できる限度と言える。

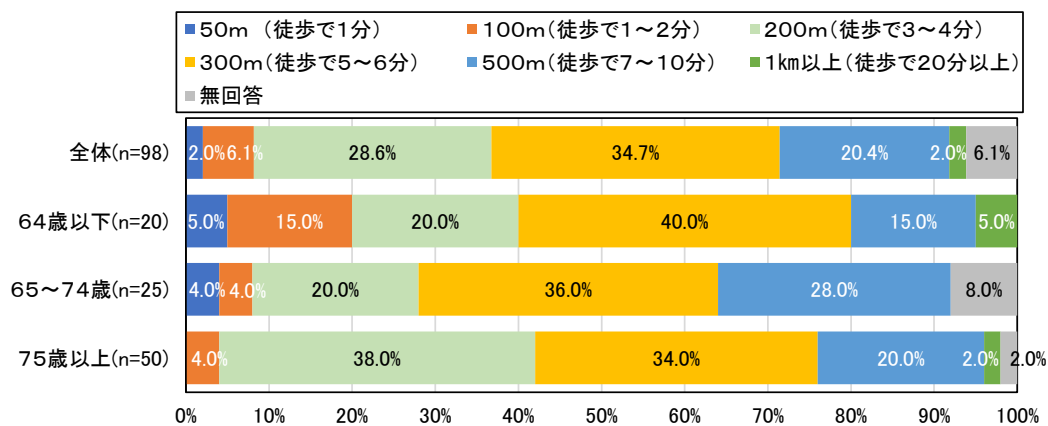
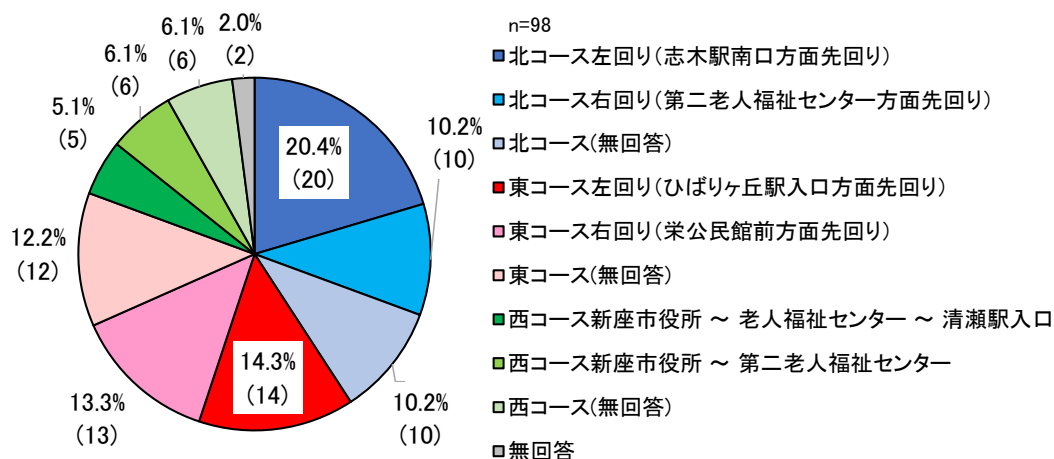


図 2-8 年代別・自宅からバス停まで許容できる距離

2.2.2 にいバスの利用状況

(1) にいバスの利用路線

- ・北コース計 40.8%、東コース計 39.8%、西コース計 17.3%の順で、このうち「北コース左回り(志木駅南口方面先回り)」が 20.4%、次いで「東コース左回り(ひばりヶ丘駅入口方面先回り)」が 14.3%、「東コース右回り(栄公民館前方面先回り)」が 13.3% などとなっている。



※()内の数字は、サンプル数

※サンプル数が少ないことに注意

図 2-9 にいバスの利用路線

(2) にいバスの利用目的

- ・北コース、東コースでは、「趣味・娯楽・食事・習い事・買い物」が最も高くそれぞれ 22.5%、20.5%となっている。
- ・西コースは、「福祉施設の利用」、「市役所の利用」、「通院」の利用が最も高く 23.5%となっている。

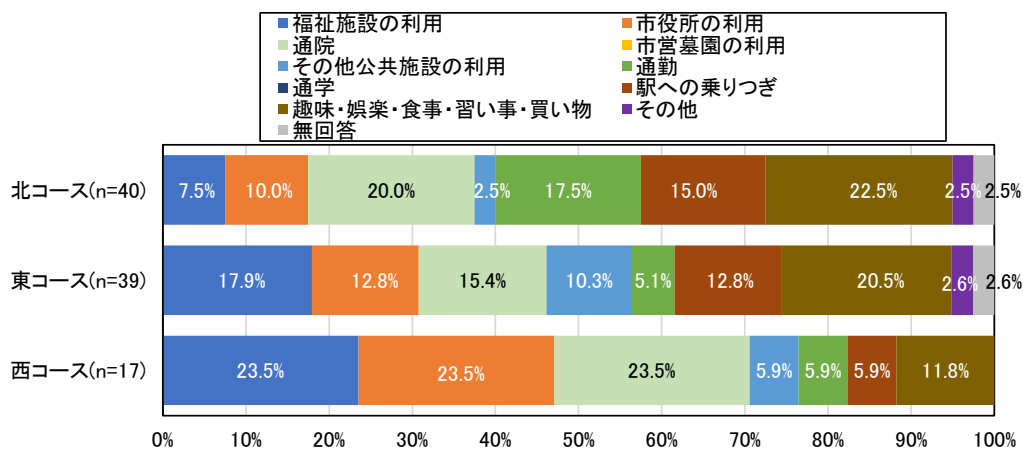


図 2-10 にいバス利用の目的

(3) にいバス利用の出発地

・全てのコースで「自宅(新座市内)」が最も高くなっている。

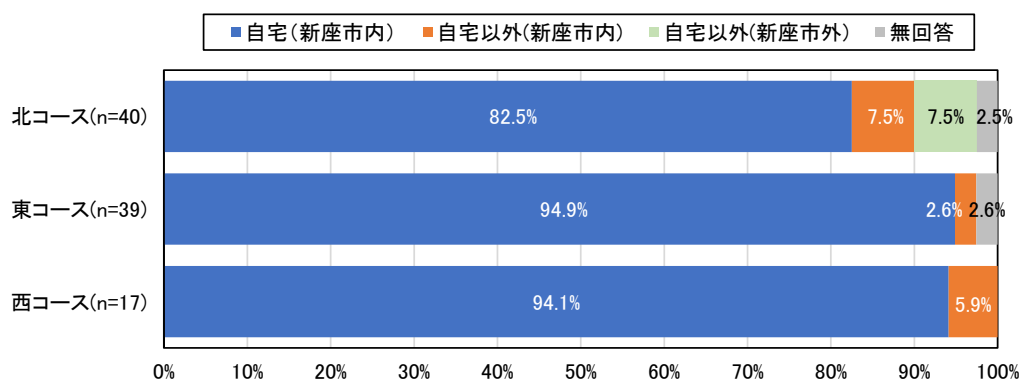


図 2-11 出発地

表 2-2 出発地(市内・自宅以外)

出発地(市内・自宅以外)	人
志木駅	1
新座市役所	1
こぶしの里	1
福祉の里児童センター	1
第二老人福祉センター	1

表 2-4 出発地(市外・自宅以外)

出発地(市外・自宅以外)	人
東京都立川市	1
埼玉県さいたま市	1

表 2-3 バス利用者の乗車・降車バス停

乗車バス停	降車バス停	人
新座市役所	栄公民館前	3
	新座駅南口	2
	志木駅南口	1
	ふるさと新座館前	1
北野中央	新座市役所	2
	新座志木中央総合病院	2
	志木駅南口	1
新座団地	新座駅南口	2
	志木駅南口	1
	新座志木中央総合病院	1
	ふるさと新座館前	1
新座駅南口	新座市役所	1
	志木駅南口	1
	北野病院前	1
	新座警察署前	1
第二老人福祉センター	新座市役所	1
	志木駅南口	1
	くみまちモールにいざ	1
貝沼	新座市役所	1
	ひばりヶ丘駅入口	1
並木レジャー農園	栄三条通り東	1
	栗原公民館前	1
新座高校	栄公民館前	1
	老人福祉センター	1
栗原公民館前	ひばりヶ丘駅入口	2
堀ノ内病院前	新座市役所	2
志木駅南口	新座駅南口	1

(4) にいバスの乗車時刻

- ・「10 時台」が 21 人と最も多く、次いで「12 時台」が 18 人、「9 時台」が 14 人などとなっている。

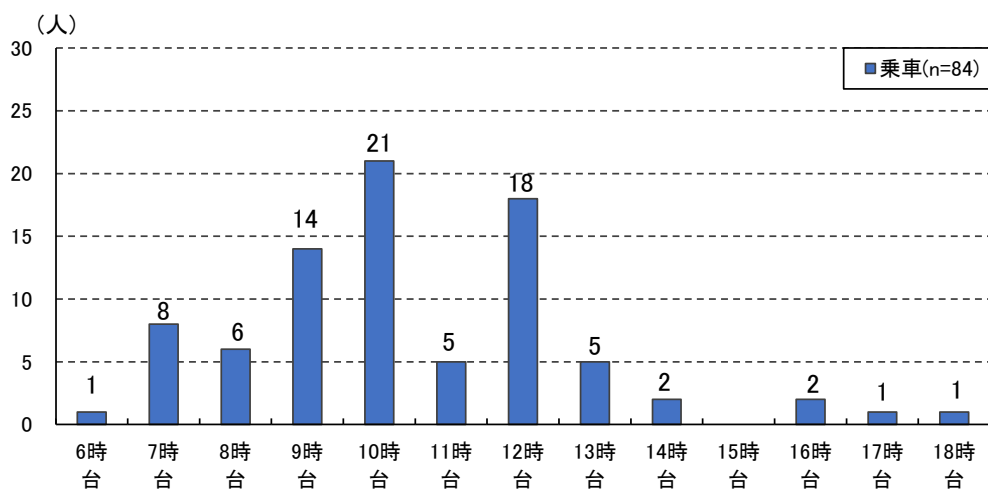


図 2-12 具体的な乗車時間帯

(5) にいバスの出発地からバス停までの所要時間

- ・「3 分以内」、「5 分以内」、「10 分以内」それぞれで、西コース、東コース、北コースの順で高く、西コースはバス停近くの居住者が利用している。
- ・北コースはバス停の利用圏域が広いといえる。

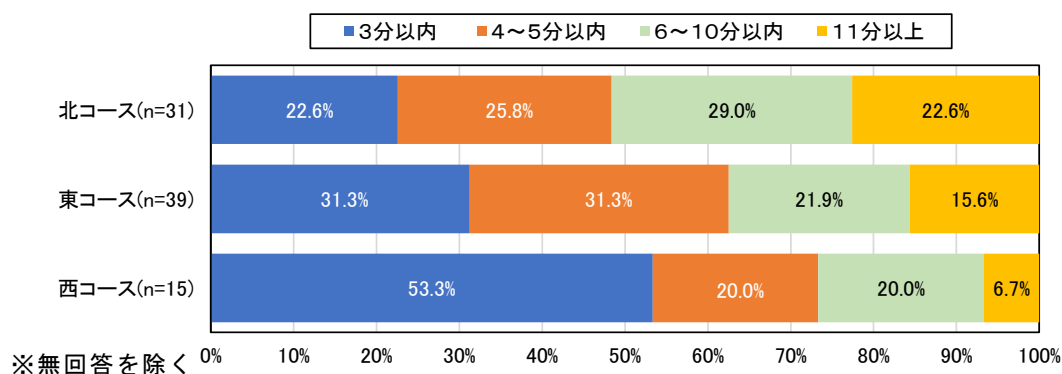


図 2-13 出発地からバス停までの所要時間

(6) にいバスのバス停から目的地までの所要時間

- ・全てのコースにおいて「3分以内」が最も高くそれぞれ42.5%、48.7%、35.3%となっている。
- ・「5分以内」でみると、北コース、東コース、西コースの順で高く、バス停近くに目的地がある。

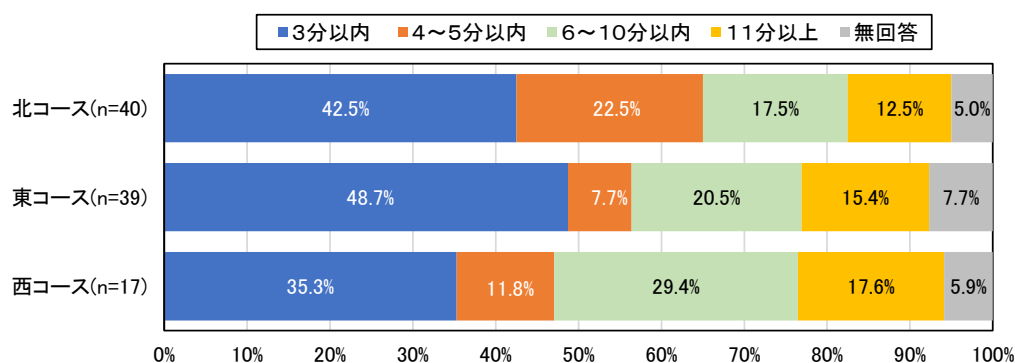


図 2-14 バス停から目的地までの所要時間

(7) にいバスの乗りつき

1) にいバスに乗車する前の乗りつき

- ・全てのコースにおいて「乗りつきなし」が最も高くなっているが、北コースでは「鉄道から乗りついた」が10%となっている。
- ・どのコースも「にいバスの他コースから乗りついた」が5～5.9%ある。

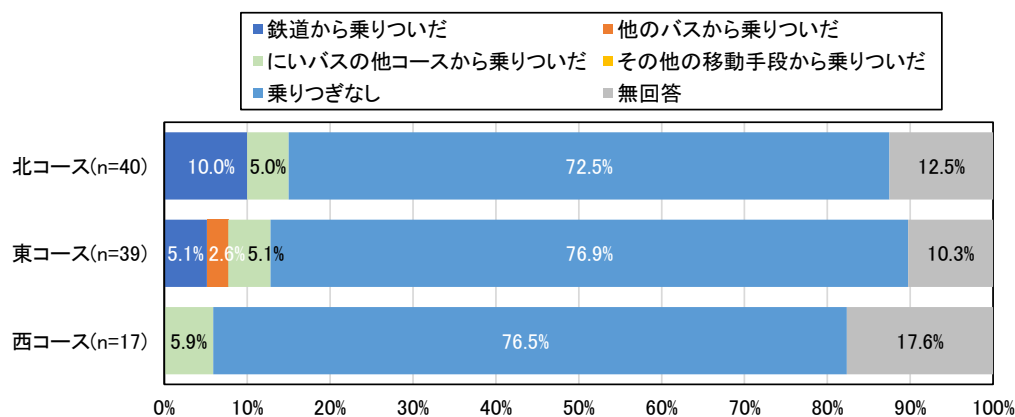


図 2-15 にいバス乗車前の乗り継ぎ

2) にいバスを降車した後の乗りつき

- 全てのコースにおいて「乗りつきなし」が最も高くなっているが、北コースでは「鉄道へ乗りついた」が35%となっている。
- 「にいバスの他コースへ乗りついた」が北コースで10%、西コースで7.7%となっている。

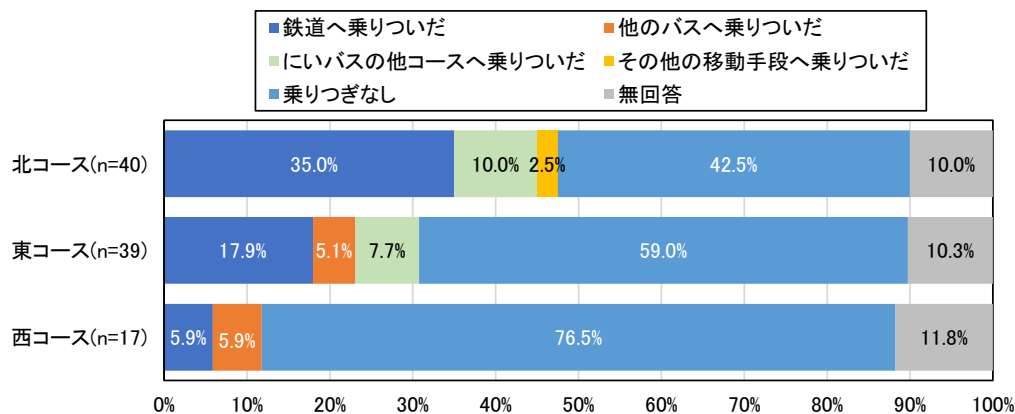
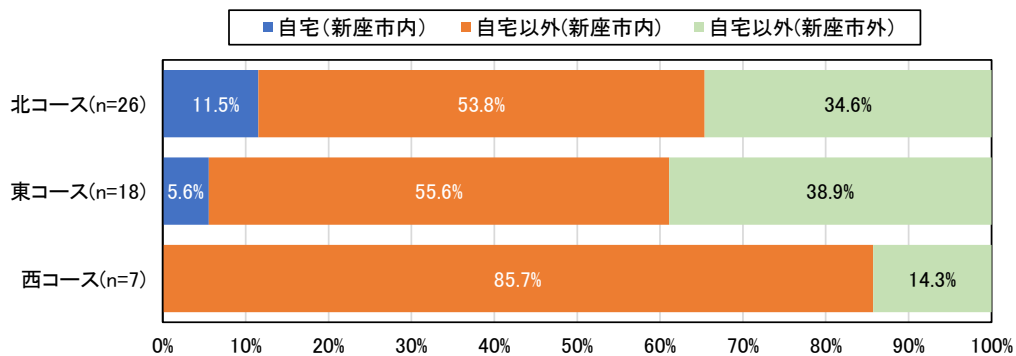


図 2-16 にいバス降車後の乗り継ぎ

(8) にいバス利用の目的地

- 全てのコースにおいて「自宅以外(新座市内)」が最も高くなっている。なお、北コース、東コースでは「自宅以外(新座市外)」が30%以上となっている。



※無回答を除く

※サンプル数が少ないことに注意

図 2-17 にいバス利用の目的地

表 2-5 目的地(市内・自宅以外)

目的地(市内・自宅以外)	人
新座市役所	4
新座志木中央総合病院	3
栗原公民館	2
病院	1
新座市民会館	1
新座市商工会	1
中央公民館	1
老人福祉センター	1
新座すずのきクリニック	1
こぶしの森	1
福祉の里老人福祉センター	1
老人センター	1
教育相談センター	1
堀ノ内病院	1
くみまちモールにいざ	1
新座警察署	1
野火止8丁目	1
栄3丁目	1

表 2-6 目的地(市外・自宅以外)

目的地(市外・自宅以外)	人
埼玉県所沢市	2
東京都練馬区	2
東京都西東京市	2
東京都、以下不明	2
埼玉県飯能市	1
東京都千代田区	1
東京都豊島区	1
東京都国分寺市	1
埼玉県さいたま市	1
埼玉県朝霞市	1
埼玉県越谷市	1

(9) にいバスの利用頻度

- ・週 2, 3 日以上の頻度は、北コースが 60.0%、東コースが 46.2%、西コースが 35.2% となっている。

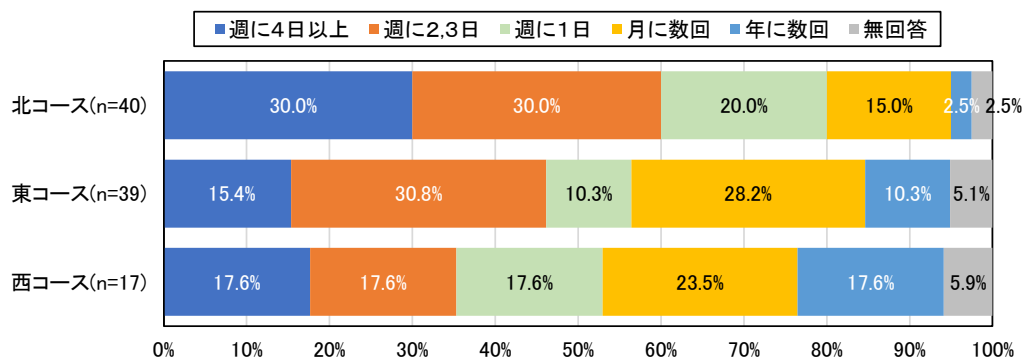


図 2-18 にいバスの利用頻度

(10) にいバスを利用した理由 (複数回答)

- ・全てのコースにおいて「費用が安いから」が最も高くそれぞれ 57.5%、60.5%、64.7% となっている。
- ・その他の理由は、「無料乗車券をもっているから」、「運転免許を返納したため」となっている。

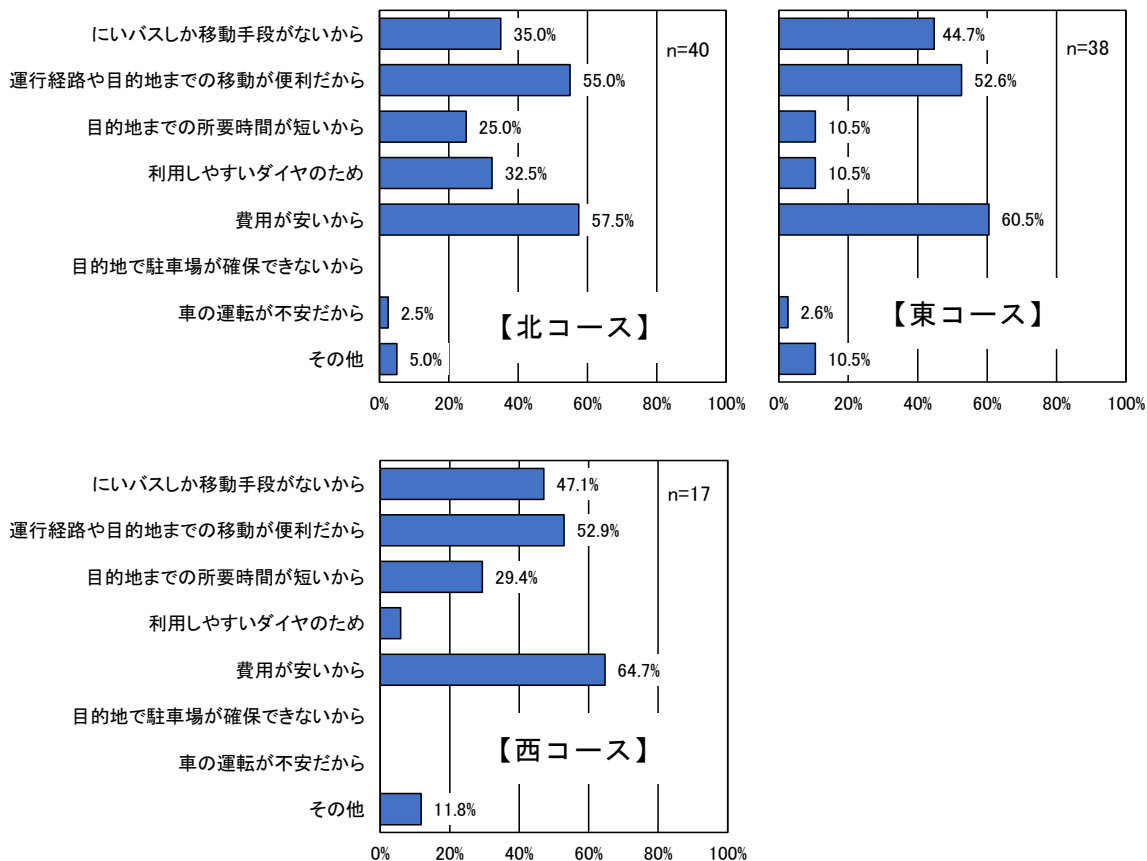


図 2-19 にいバスを利用した理由

2.2.3 にいバスの満足度

(1) にいバスの満足度

【行き先、運行経路】

- ・北コースは満足の割合が高く、「満足」、「やや満足」を合わせると 57.2%となっている。
- ・東コースは、他のコースより不満の割合が高い。

【運行本数（運行間隔）】

- ・全てのコースで不満の割合が非常に高い。
- ・西コースでは、全ての回答者が不満と回答している。

【始発時刻・終発時刻】

- ・全てのコースで不満の割合が高く、特に東コース、西コースが 50%以上となっている。

【鉄道や他のバスへの乗りつぎ】

- ・全てのコースで「どちらでもない」の割合が高く北コースは 48.6%、東コースは 44.1%、西コースは 50.0%となっている。

【運賃】

- ・全てのコースで満足の割合が高く、「満足」、「やや満足」を合わせると北コースは 82.9%、東コースは 80.5%、西コースは 100%となっている。

【総合的な満足度】

- ・北コース、西コースは不満の割合が高く、「不満」、「やや不満」を合わせるとそれぞれ 50.0%、52.8%となっている。
- ・東コースは「不満」、「どちらでもない」の割合が高く 35.7%と同じ割合になっている。

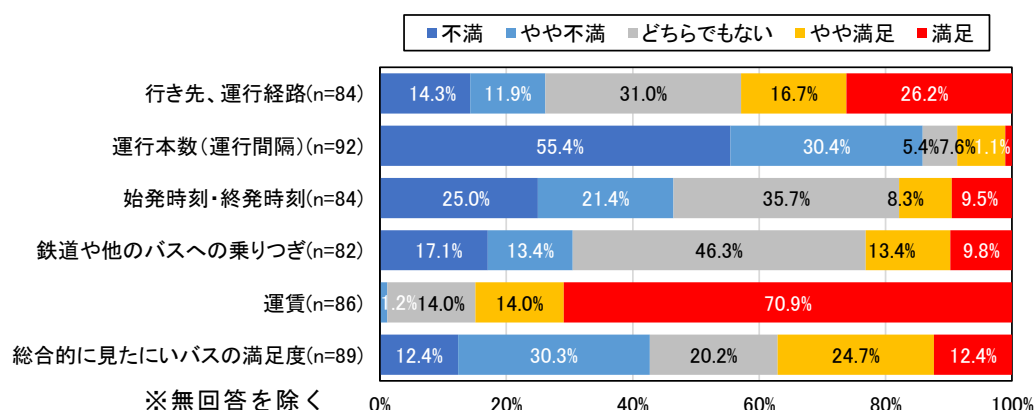


図 2-20 にいバスの満足度（全コース）

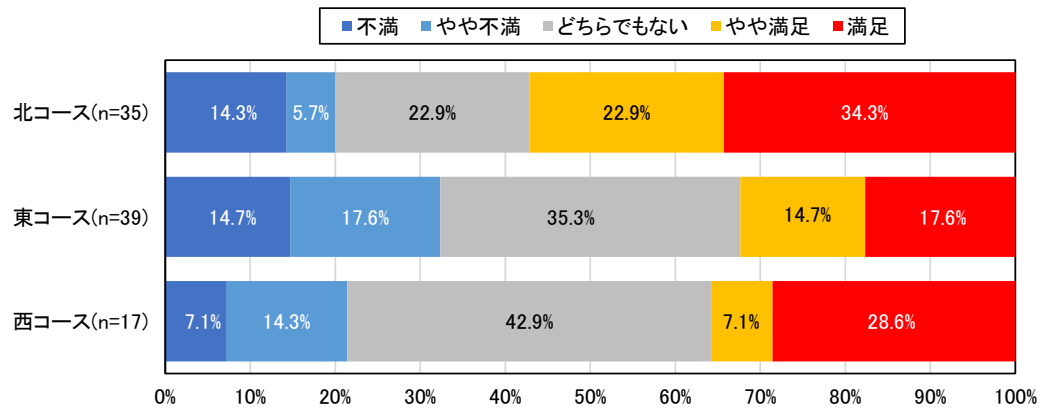


図 2-21 コース別・行き先、運行経路に対する満足度

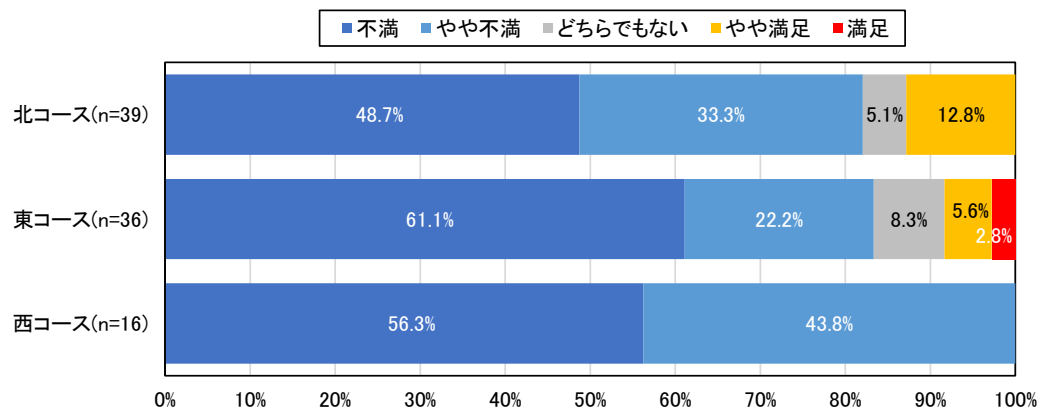


図 2-22 コース別・運行本数(運行間隔)に対する満足度

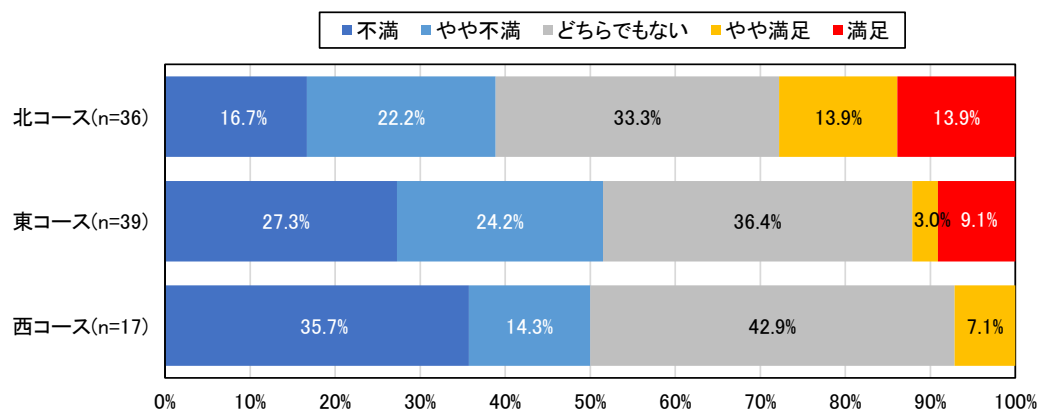


図 2-23 コース別・始発時刻・終発時刻に対する満足度

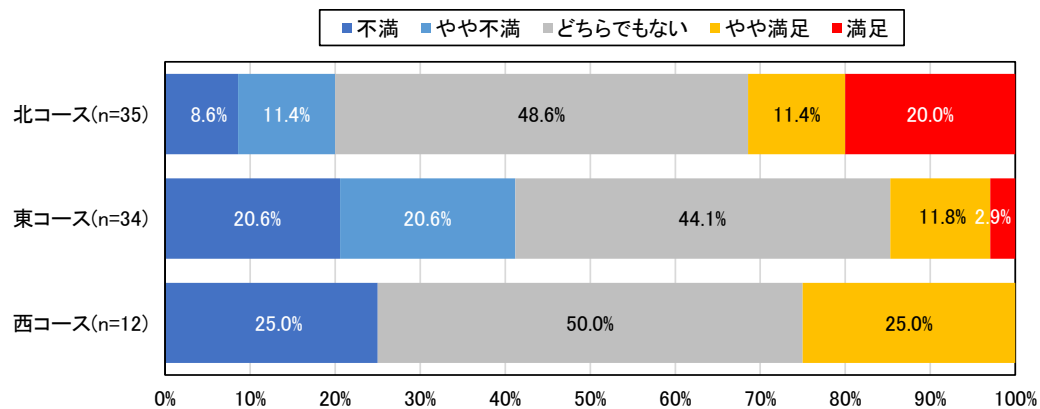


図 2-24 コース別・鉄道や他のバスへの乗りつぎに対する満足度

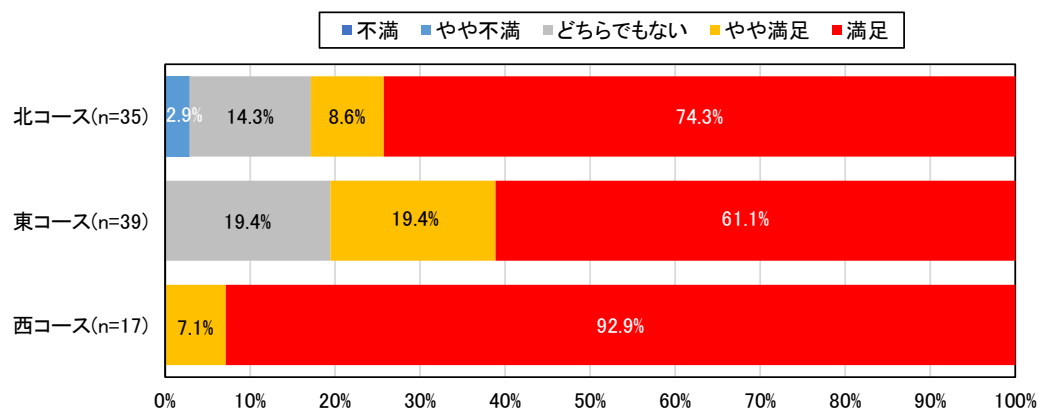


図 2-25 コース別・運賃に対する満足度

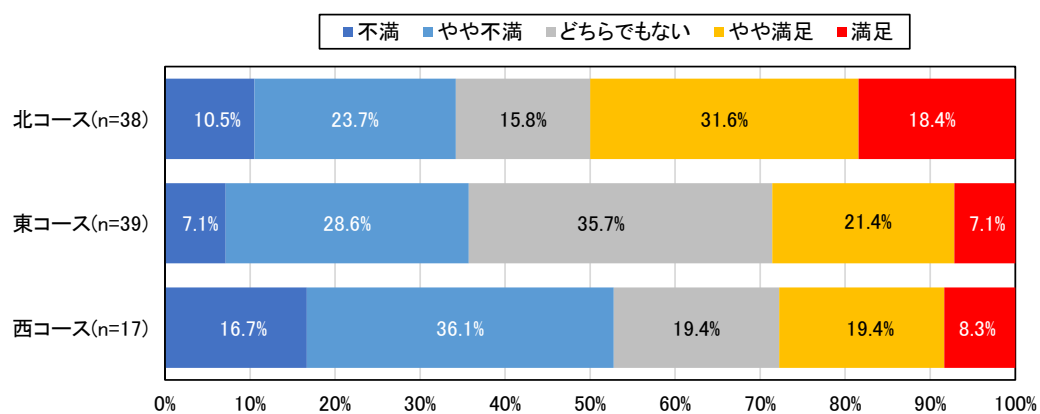


図 2-26 コース別・総合的に見たにバスに対する満足度

2.2.4 デマンド型交通（乗合タクシー）について

(1) デマンド型交通の利用意向

・ 70～74 歳の「利用すると思う」の割合が 38.1%と他の年代より高くなっている。

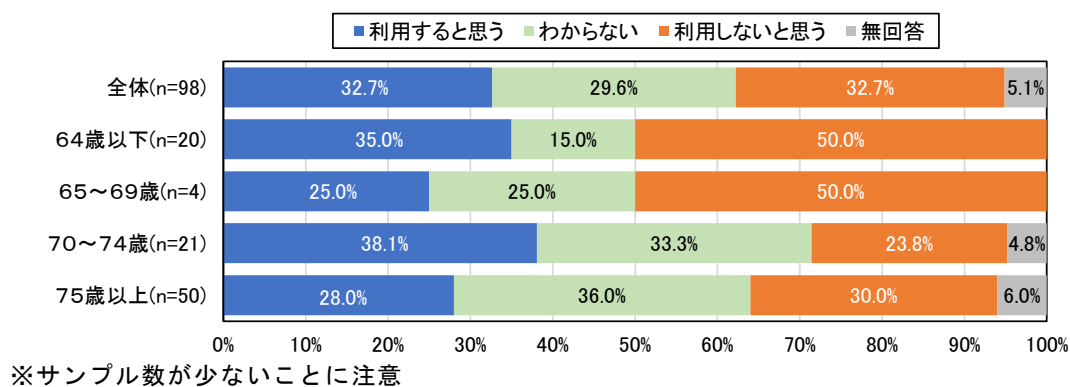


図 2-27 年代別・デマンド型交通の利用意向

・ コース別利用意向は、北コースが最も高く 32.3%となっている、次いで西コースが 30.8%、東コースが 29.0%となっており、コースによって差がない。

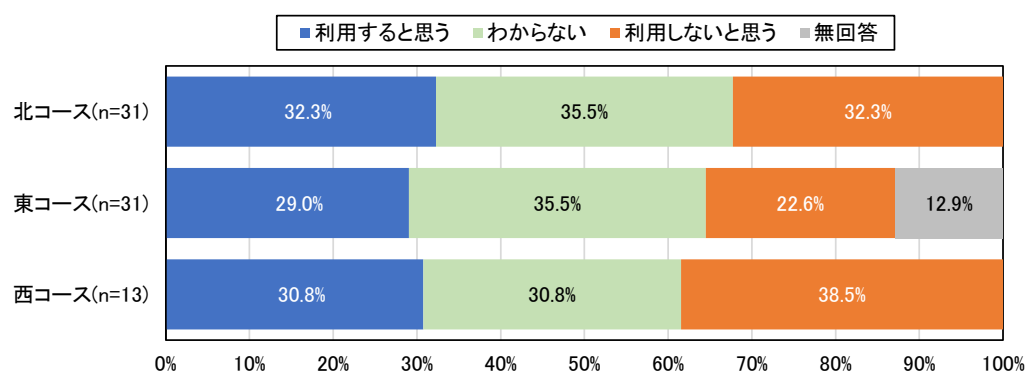


図 2-28 コース別・デマンド型交通の利用意向 (65 歳以上)

(2) デマンド型交通を「利用すると思う」とした回答者の利用意向(65 歳以上)

1) デマンド型交通を利用する理由 (複数回答)

・「目的地出入口まで乗り入れるから」が最も高く 84.2%、次いで「タクシーより安そうだから」が 52.6%、「必ず座れるから」、「身体的な理由で利用したいから」が 42.1% などとなっている。

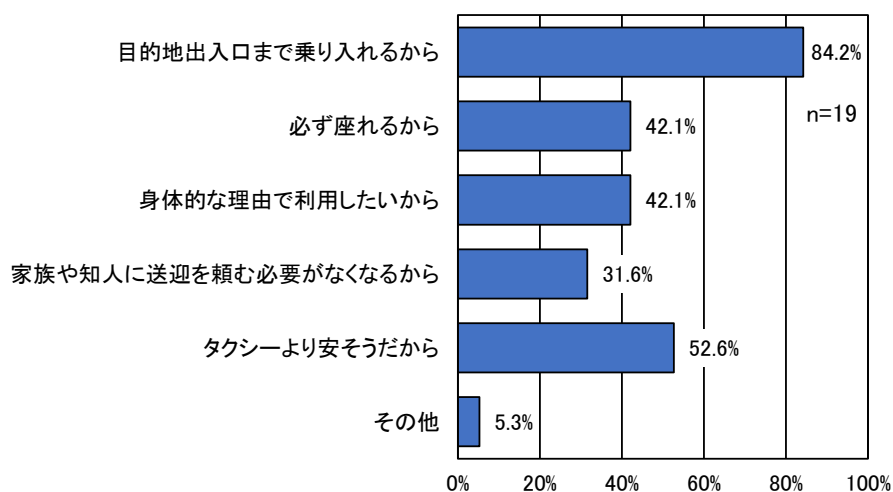


図 2-29 デマンド型交通を利用する理由 (65 歳以上)

2) デマンド型交通の利用目的 (複数回答)

・「通院」が最も高く 77.3%、次いで「公共施設の利用」が 68.2%、「買い物」が 63.6% などとなっている。

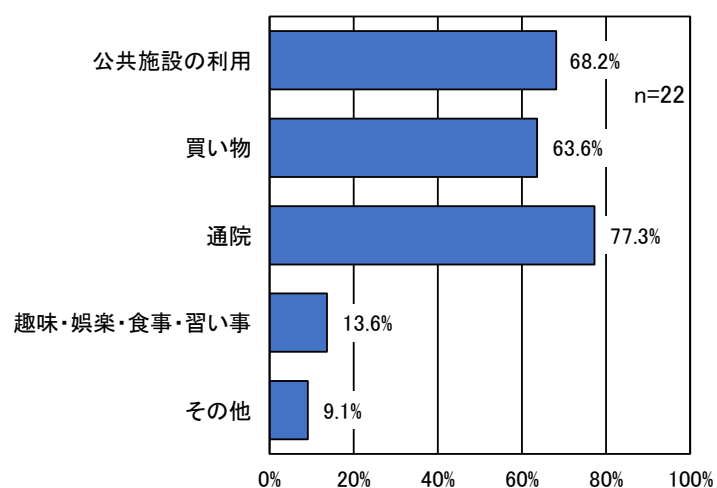


図 2-30 デマンド型交通の利用目的 (65 歳以上)

3) デマンド型交通で行きたい施設（複数回答）

- ・「病院・診療所」が最も高く 76.2%、次いで「市役所・出張所」が 66.7%、「商業施設（スーパー・デパート等）」が 42.9%などとなっている。
- ・「病院・診療所」は、「新座志木中央総合病院」、「高田整形外科病院」などとなっている。
- ・「市役所・出張所」は、「新座市役所」となっている。
- ・「商業施設（スーパー・デパート等）」は、「ロヂャース新座店」、「マルイファミリー志木」などとなっている。

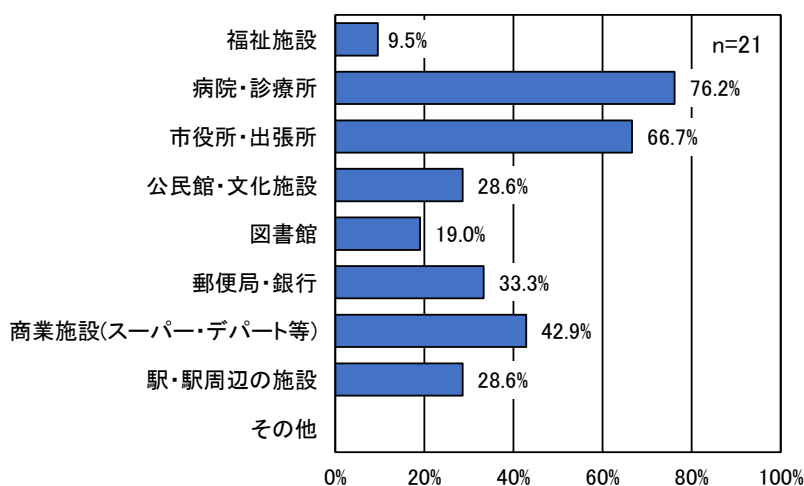


図 2-31 デマンド型交通で行きたい施設 (65 歳以上)

表 2-7 デマンド型交通で行きたい具体的な施設・駅 (65 歳以上)

福祉施設	人
老人福祉センター(えがおの里)	1

病院・診療所	人
新座志木中央総合病院	3
高田整形外科病院	2
堀ノ内病院	2
新座すずのきクリニック	1
柳瀬川ファミリークリニック	1

市役所・出張所	人
新座市役所	5

公民館・文化施設	人
福祉の里老人福祉センター	1
中央公民館	1
栄公民館	1

図書館	人
中央公民館図書室	2
福祉の里図書館	2
中央図書館	1

郵便局・銀行	人
新座郵便局	1
武蔵野銀行新座支店	1
埼玉県信用金庫新座支店	1

商業施設(スーパー・デパート等)	人
ロヂャース新座店	2
マルイファミリー志木	1
イオン新座店	1
ヤオコー新座店	1

駅・駅周辺の施設	人
ひばりヶ丘駅	1
志木駅	1
新座駅	1

4) デマンド型交通の運賃支払可能額(65 歳以上)

- ・支払ってもよいと思う運賃は、「500 円以下」が最も高く 60.9%となっている。
- ・「1001 円以上」は回答がなかった。
- ・1000 円まででは 95.7%であり、1000 円が限度といえる。

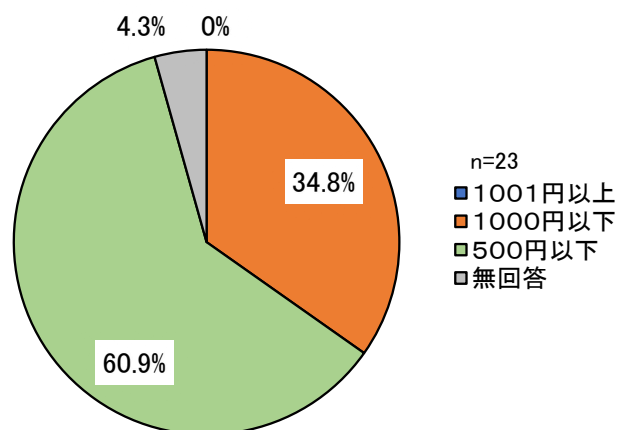
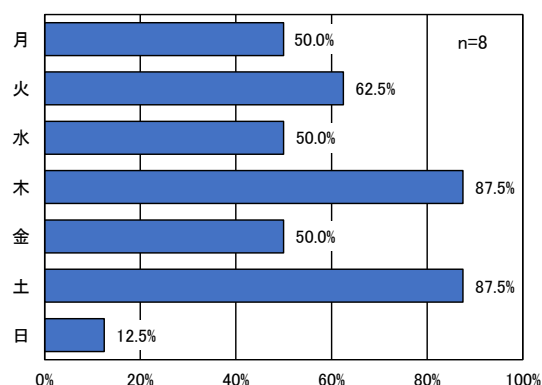
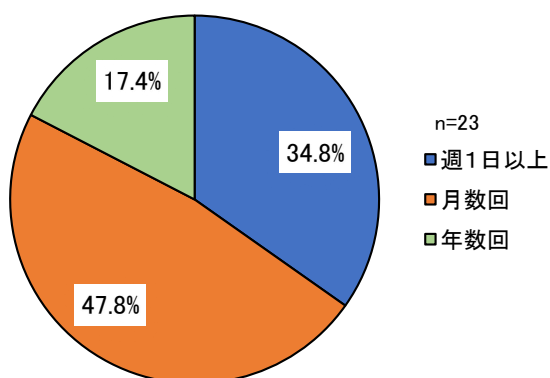


図 2-32 運賃支払可能額(65 歳以上)

5) デマンド型交通の利用頻度

- ・「月数回」の利用が最も高く 47.8%となっている。
- ・「週 1 日以上」利用すると回答した方のうち、利用する曜日について尋ねたところ、「木曜日」、「土曜日」が最も高く 87.5%、次いで「火曜日」が 62.5%などとなっている。

【「週 1 日以上」を利用すると回答した方の利用する曜日】
(複数回答)



※サンプル数が少ないことに注意

図 2-33 利用頻度(65 歳以上)

図 2-34 利用曜日(65 歳以上)

(3) デマンド型交通を利用する時間帯

- ・行きが「午前」(95.7%)、帰りが「午後」(60.9%)の割合が高くなっている。
- ・時間帯別にみると、行きは、9時台、10時台が最も多く6人となっており、帰りは、11時台、13時台が最も多く4人となっている。

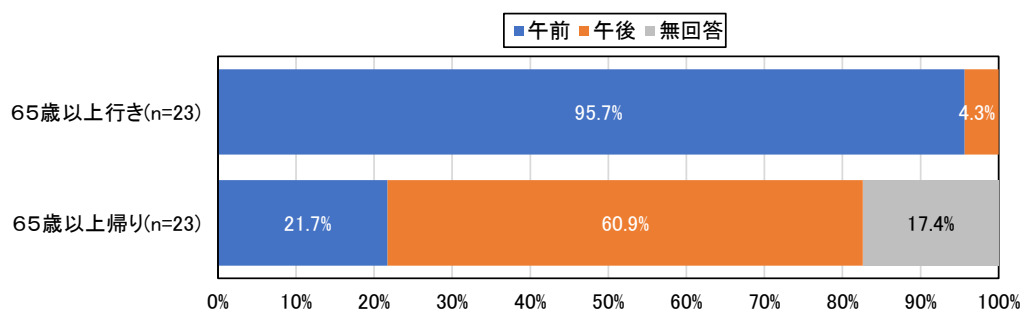


図 2-35 利用する時間帯(65歳以上)

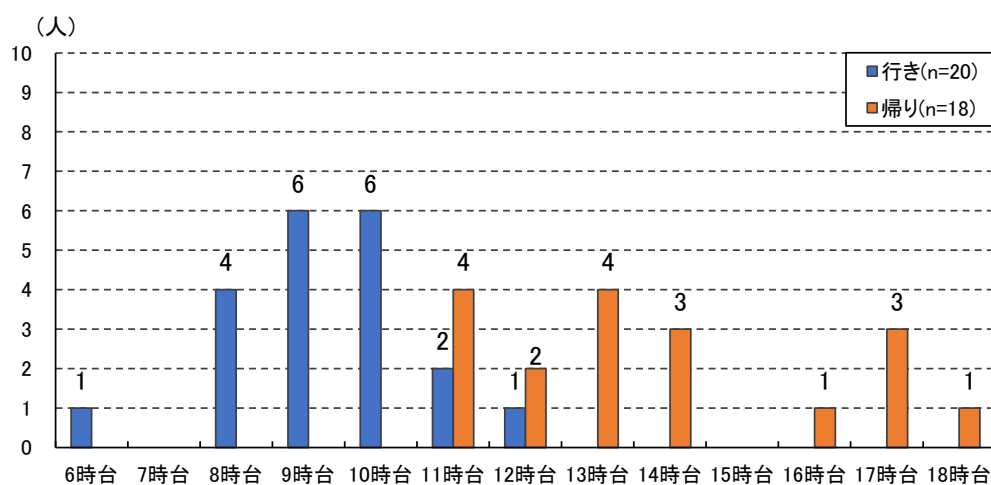


図 2-36 利用する具体的な時間帯(65歳以上)

(4) デマンド型交通を「利用しないと思う」理由(65 歳以上) (複数回答)

1) 全コース

- ・「事前の登録や電話で予約するのがめんどうと思うから」が最も高く 57.1%、次いで「他の交通手段が便利そうだから」が 42.9%、「運賃が高そうだから」が 38.1%などとなっている。

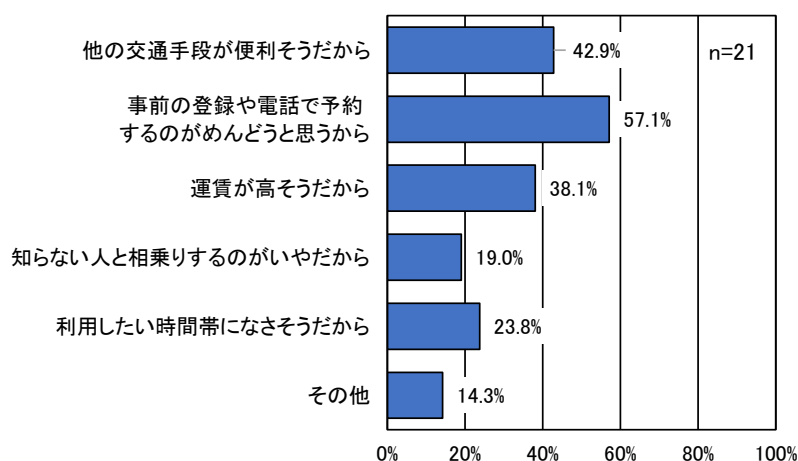


図 2-37 デマンド型交通を利用しない理由 (65 歳以上)

2) コース別

- ・北コースは、「運賃が高そうだから」が多く、東コース、西コースは「事前の登録や電話で予約するのがめんどうと思うから」が多い。

表 2-8 コース別・デマンド型交通を利用しない理由 (65 歳以上)

地域	利用しない理由
北コース(n=9)	・運賃が高そうだから(5件)
	・事前の登録や電話で予約するのがめんどうと思うから(4件)
	・他の交通手段が便利そうだから(4件)
東コース(n=7)	・事前の登録や電話で予約するのがめんどうと思うから(6件)
	・他の交通手段が便利そうだから(3件)
	・運賃が高そうだから(2件)
	・利用したい時間帯に(2件)
西コース(n=5)	・事前の登録や電話で予約するのがめんどうと思うから(2件)
	・他の交通手段が便利そうだから(2件)
	・知らない人と相乗りするのがいやだから(2件)

2.2.5 コミュニティサイクル（シェアサイクル）について

(1) コミュニティサイクルの認知度

- ・全体では「知っている」が 38.8%、「知らない」が 55.1%となっている。
- ・年代別にみると 50 歳代以下の「知っている」が 60.0%、60 歳代以下が 35.0%となっている。

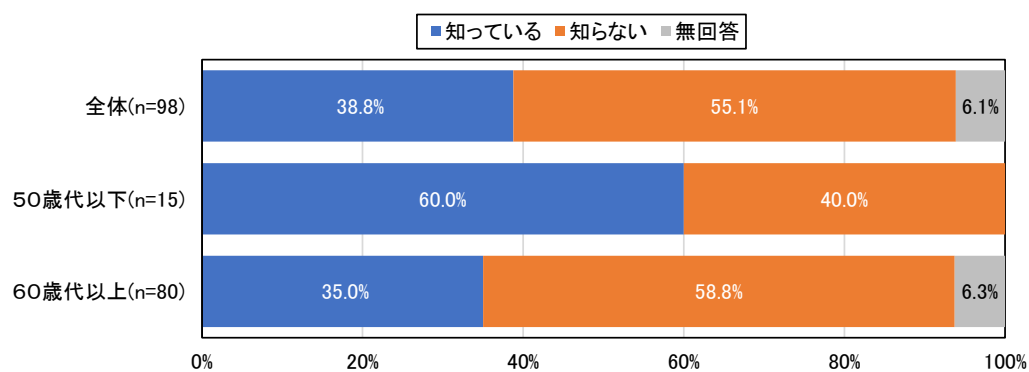


図 2-38 年代別・コミュニティサイクルの認知度

(2) コミュニティサイクルの利用意向

- ・「利用しないと思う」の割合が高く、50 歳代以下が 66.7%、60 歳代以上が 80.0%となっている。

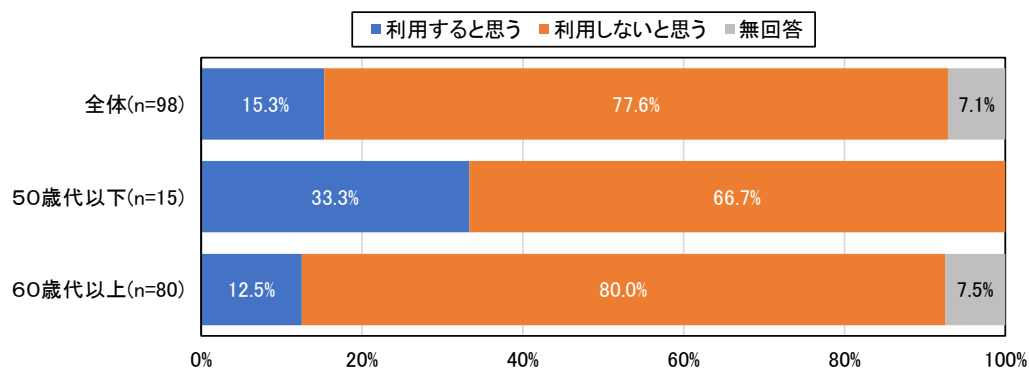


図 2-39 年代別・コミュニティサイクルの利用意向

(3) コミュニティサイクルを「利用すると思う」とした回答者の利用意向

1) コミュニティサイクルの利用目的（複数回答）

・「買い物」が最も高く 57.1%、次いで「通院」、「趣味・娯楽・食事・習い事」が 35.7%、「通勤・退学」が 28.6%などとなっている。

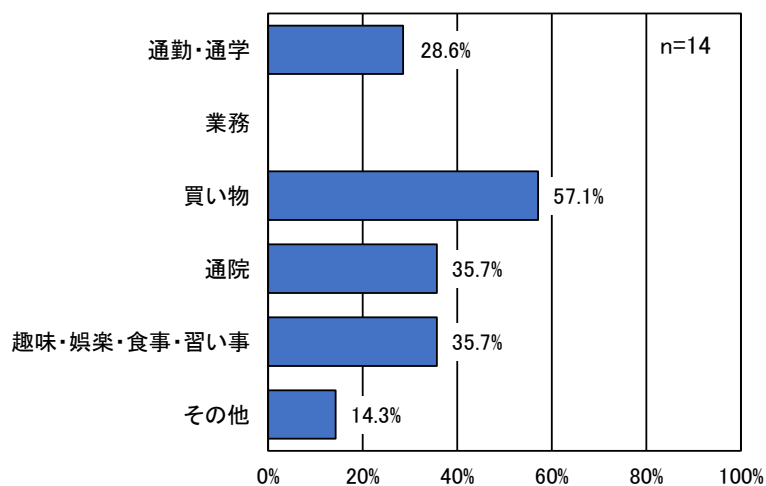


図 2-40 コミュニティサイクルの利用目的

2) コミュニティサイクルを利用したい場所(出発地)

・「駅周辺」、「公共施設・公園」が最も高く 26.7%、次いで「最寄りのコンビニ」が 20.0%などとなっている。

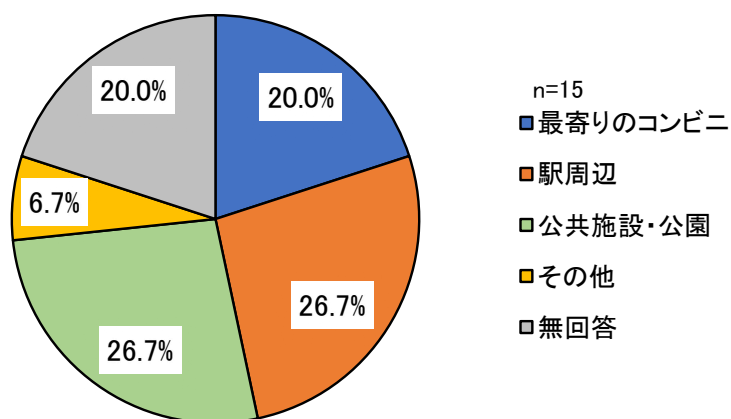


図 2-41 コミュニティサイクルを借りたい場所

3) コミュニティサイクルで行きたい場所(目的地) (複数回答)

・「市役所」が最も高く 66.7%、次いで「病院・診療所」が 53.3%、「駅・駅周辺施設」が 46.7%などとなっている。

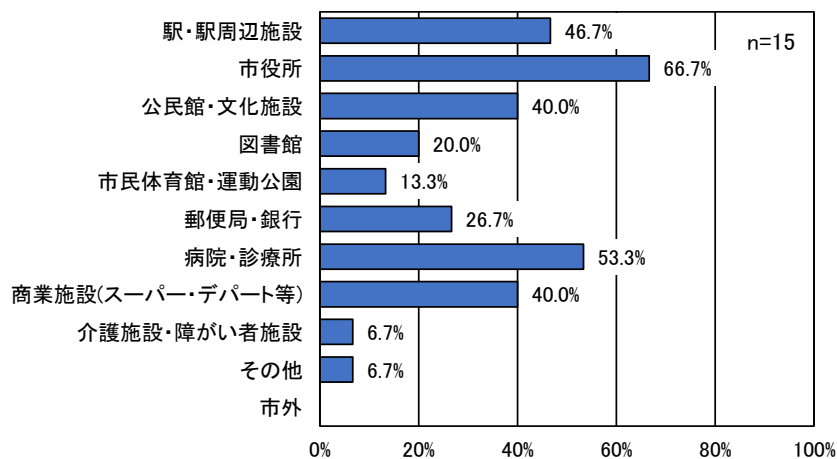


図 2-42 コミュニティサイクルで行きたい場所

4) コミュニティサイクルの利用頻度

・「週に 2、3 日」が最も高く 26.7%、次いで「週に 4 日以上」、「月に数回」が 20.0%、「年に数回」が 13.3%などとなっている。

・週 2、3 日以上でみると 46.7%となっている。

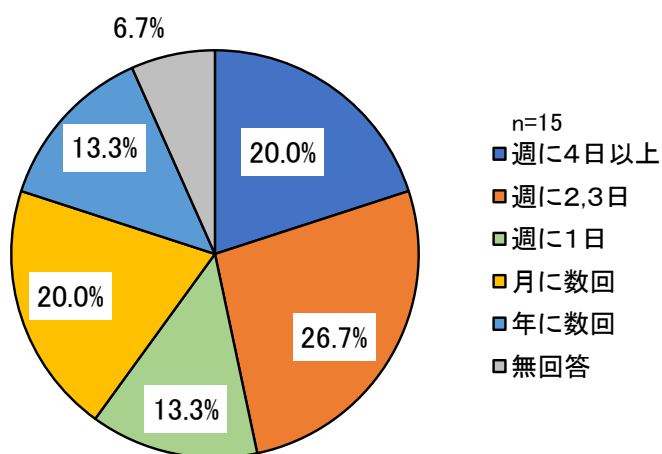


図 2-43 コミュニティサイクルの利用頻度

(4) コミュニティサイクルを「利用しないと思う」理由（複数回答）

- ・「自転車を持っているから」が最も高く 38.0%となっている。
- ・その他の理由として、「高齢だから」、「高齢で事故が怖いから」などとなっている。

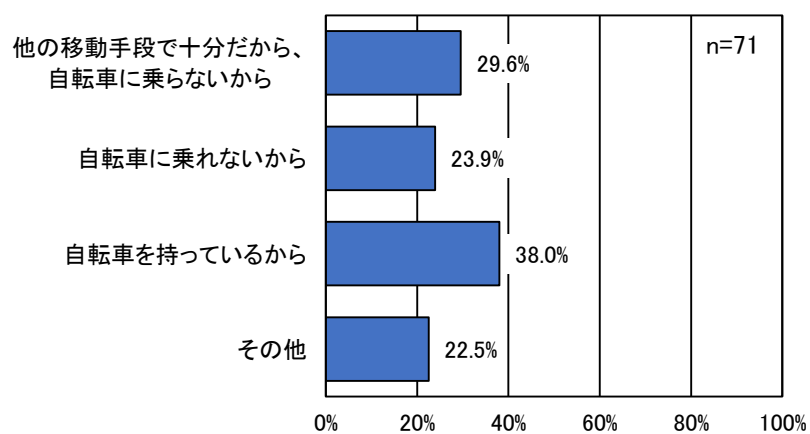


図 2-44 コミュニティサイクルを利用しない理由

2.2.6 新型コロナウイルスの影響について

(1) 外出行動の変化

【年代別】

- ・「外出回数が減少した」が64歳以下は40.0%、65歳以上は49.3%となっている。
- ・「鉄道・バスの利用を控えた」は、64歳以下5.0%、65歳以上が9.3%となっている。
- ・「ほぼ変わらない」は、64歳以下が40.0%、65歳以上が17.3%となっている。
- ・以上から、65歳以上は、外出を控えている傾向となっているといえる。

【職業有無別】

- ・職業あり、職業なしともに「外出回数が減少した」が最も高くなっている。
- ・職業なしでは、「鉄道・バスの利用を控えた」が職業ありよりも高い。

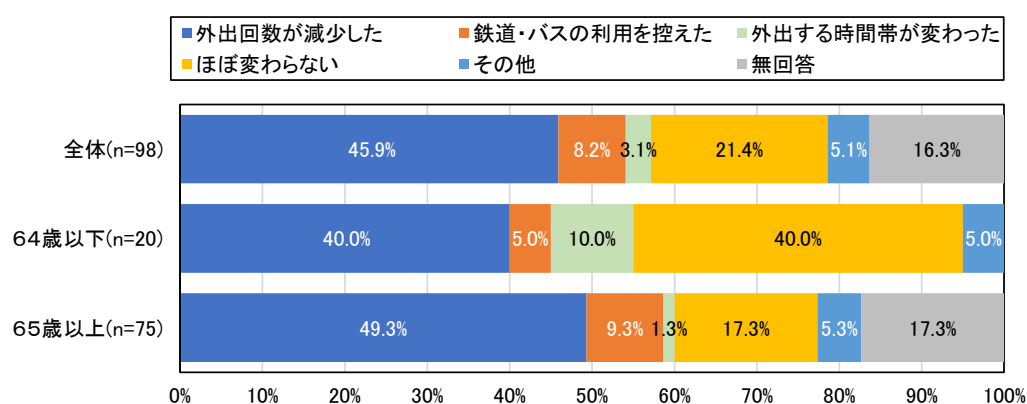


図 2-45 年代別・外出行動の変化

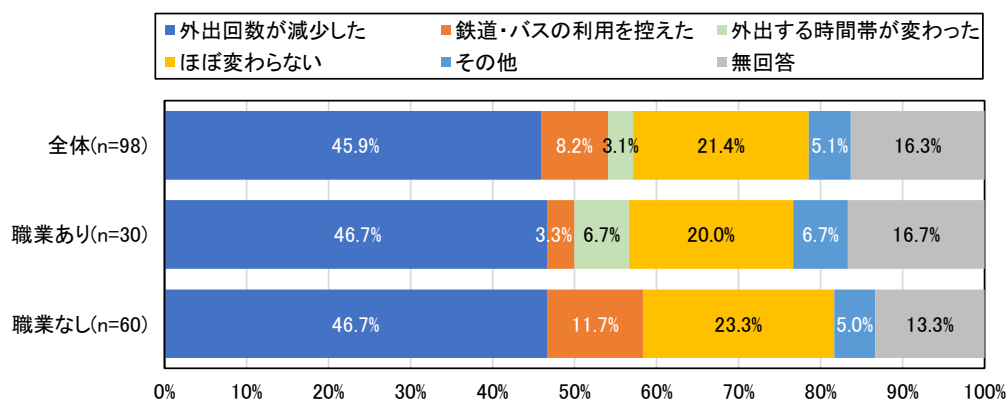


図 2-46 職業有無別・外出行動の変化

(2) 「外出回数が減少した」回答者の減少割合

- 福祉施設の減少が最も高く平均 6.5 割減となっており、次いで趣味等の減少が 6.1 割減、日常生活の減少が平均 5.4 割減となっている。

1) 福祉施設

【年代別】

- 64 歳以下は平均 6.7 割減、65 歳以上は平均 6.4 割減となっている。

【職業有無別】

- 職業ありが平均 9.0 割減、職業なしが平均 6.4 割減となっている。

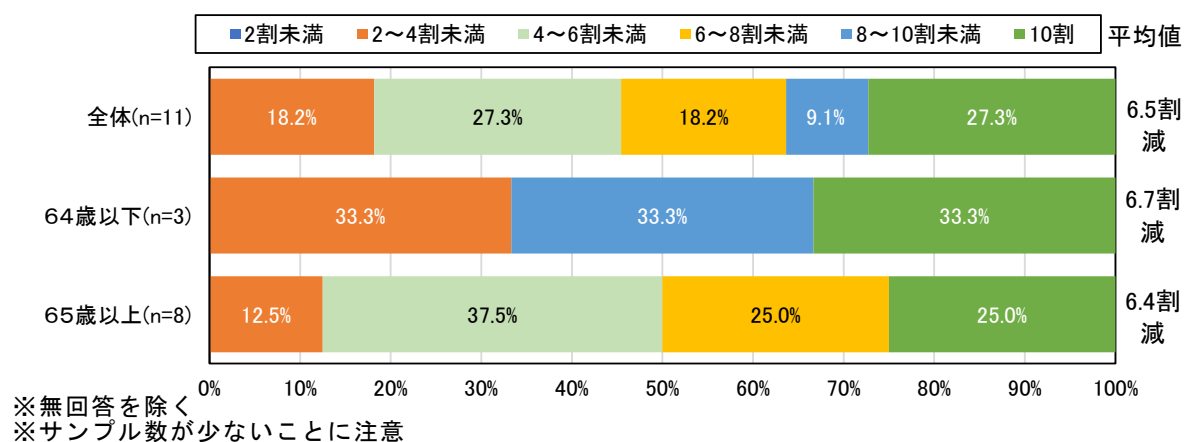


図 2-47 年代別・福祉施設への外出減少割合

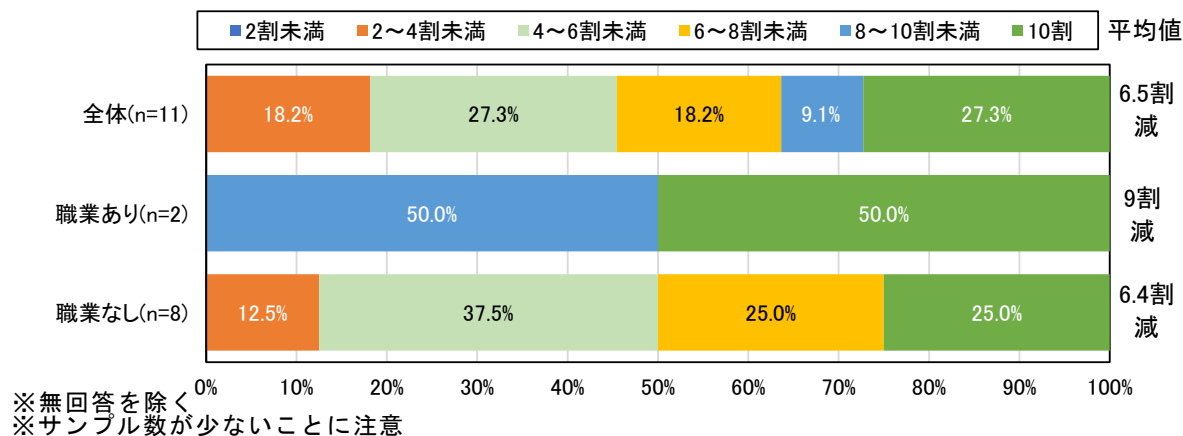


図 2-48 職業有無別・福祉施設への外出減少割合

2) 通勤・通学

- ※通勤・通学の外出減少割合は、少なかったため集計を行わなかった。

3) 日常生活（店舗に出かけて買い物・飲食するなど）

【年代別】

- ・ 64 歳以下は平均 5.0 割減、65 歳以上は平均 5.5 割減となっている。

【職業有無別】

- ・ 職業ありが平均 5.9 割減、職業なしが平均 5.5 割減となっている。

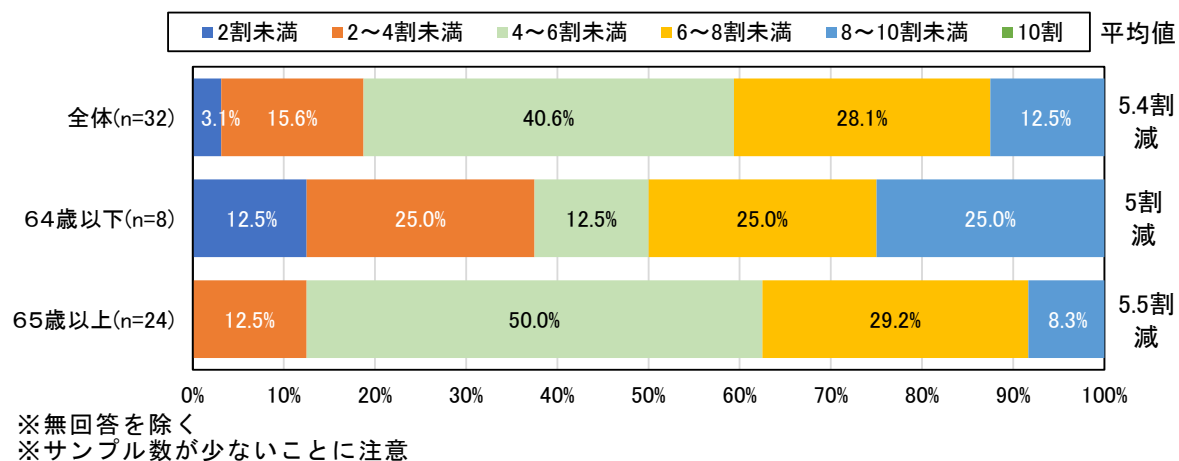


図 2-49 年代別・日常生活における外出減少割合

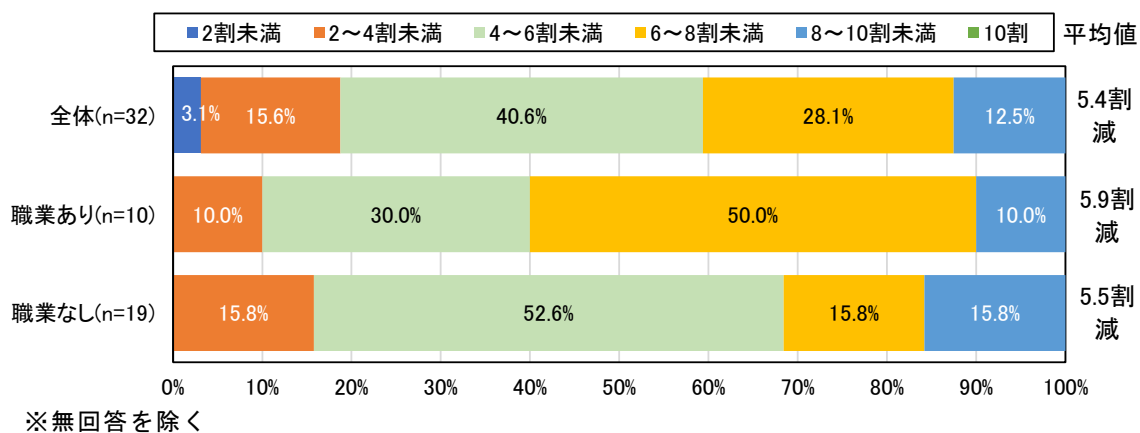


図 2-50 職業有無別・日常生活の外出減少割合

4) 趣味等（趣味、娯楽、スポーツなどの私的な用事）

【年代別】

- ・ 64 歳以下は平均 7.3 割減、65 歳以上は平均 5.6 割減となっている。

【職業有無別】

- ・ 職業ありが平均 7.3 割減、職業なしが平均 5.4 割減となっている。

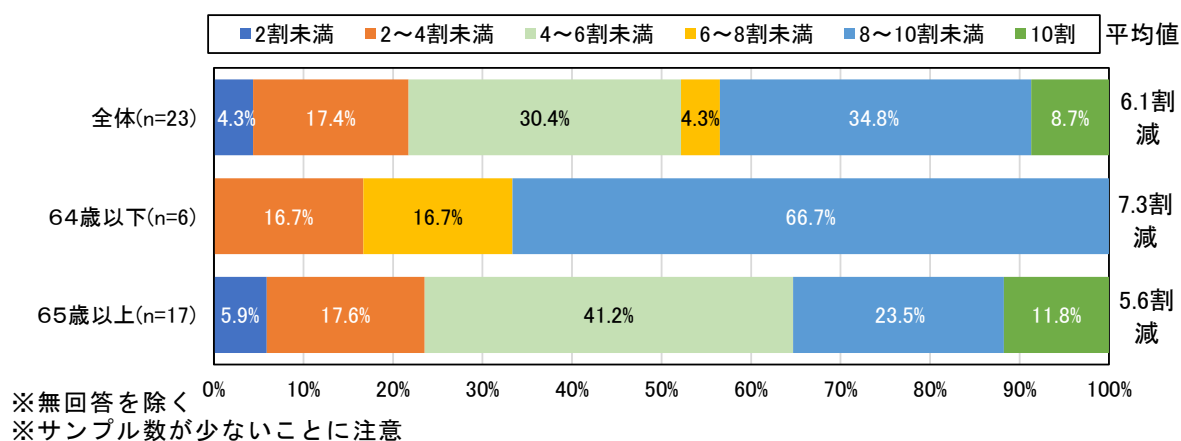


図 2-51 年代別・趣味等における外出減少割合

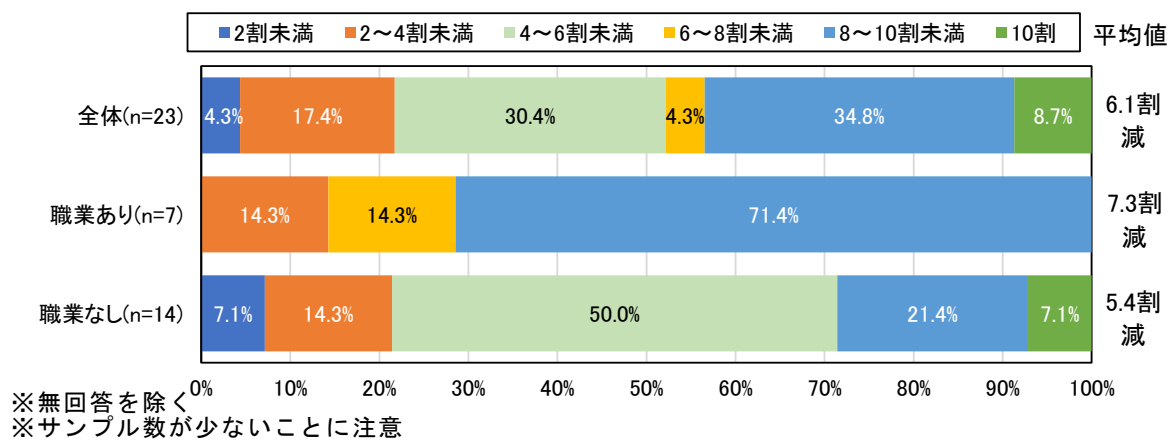


図 2-52 職業有無別・趣味等の外出減少割合

2.2.7 公共交通に対する市の財政負担のあり方について

にいバスの運行経費は約 3,000 万円であり、これに対し、運賃収入は約 500 万円で、約 2,500 万円は、国の特別交付税と市の税金を運行経費でまかなっている。（平成 30 年度決算額：特別交付税約 1900 万円、市税約 600 万円）。このことを踏まえ、財政による負担のあり方について市民の意識を把握した。

(1) 公共交通への財政負担で優先すべき目的（複数回答）

- ・「市役所などの「公共施設」へ便利に移動できるようにするため」が最も高く 64.8%、次いで「「病院へ通院」で便利に移動できるようにするため」が 56.8%、「高齢者、身体障がい者、妊産婦などの移動を便利にするため」が 45.5%などとなっている。

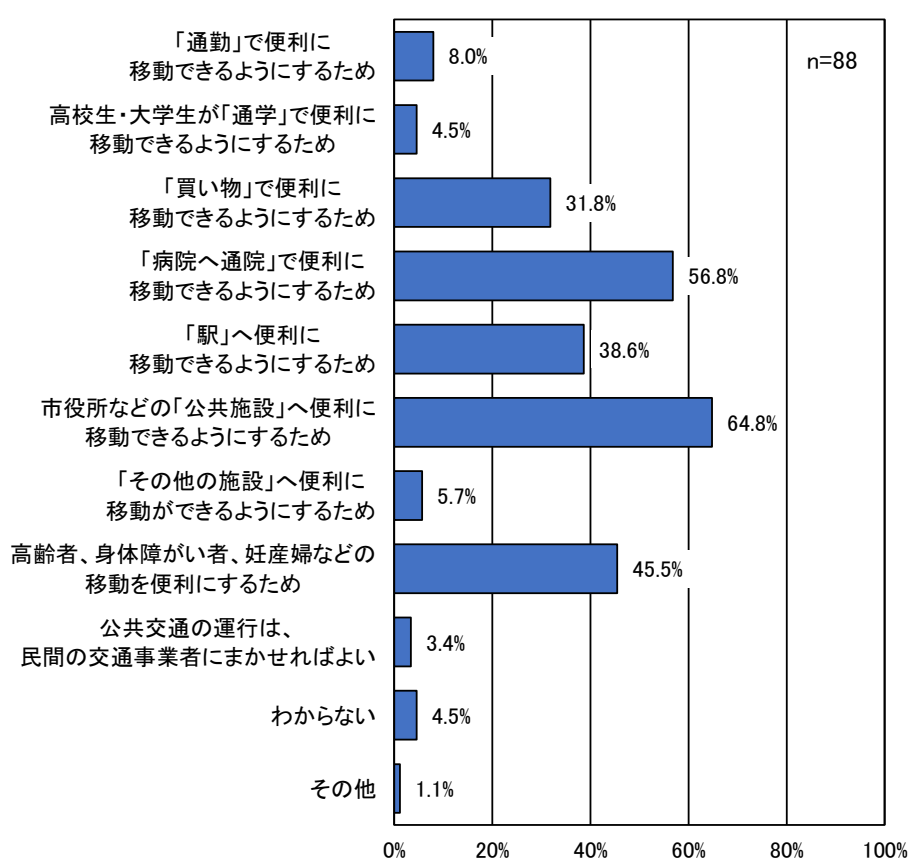


図 2-53 公共交通への財政負担で優先すべき目的

(2) 公共交通への財政負担に対する考え方について

- ・「財政負担現状維持・公共交通現状維持」が最も高く 35.7%、次いで「財政負担増・公共交通充実」が 30.6%、「わからない」が 14.3%などとなっている。
- ・「財政負担現状維持・公共交通現状維持」は、非利用者の割合は 28.2%（市民アンケート結果より）で差が生じている。

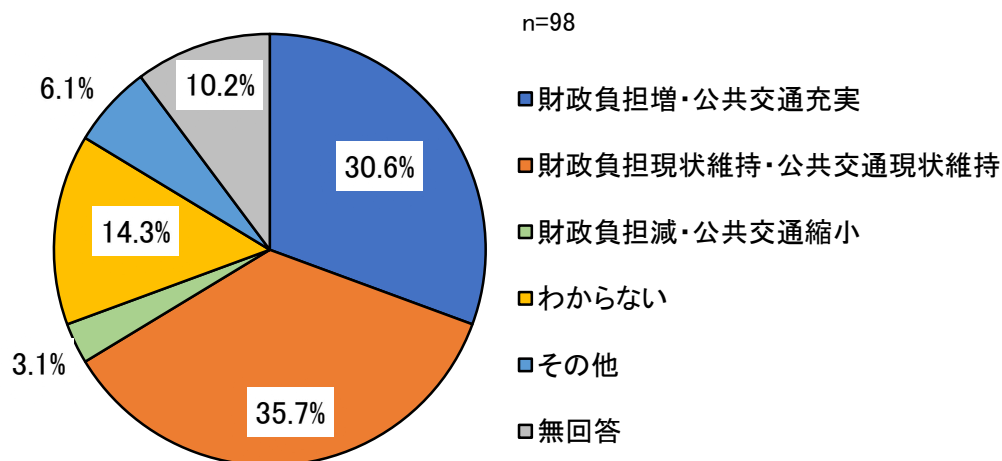


図 2-54 公共交通への財政負担に対する考え方

表 2-9 その他の意見

その他の意見	人
利用者のニーズを再認識し利用の多い便を残し利用の少ない時間を減らす	1
にいいバスの運賃をもう少し上げてほしいと思う	1
高齢者の負担が2年間で500円とは安すぎるため、もう少し上げてほしいのではと思う	1
民間事業者に任せるのがよい	1
財政負担を無くすため利用者、高齢者等が一定の料金を支払う	1
高齢者から子育て世帯まで自宅近くを走る公共交通にし住みやすい市を望みます	1

3. 路線バスに関する利用者アンケート調査

3.1 調査概要

(1) 調査方法

- ・ 調査対象路線 新座市内へ乗り入れている路線バス
 - 【配布場所】 志木駅南口、朝霞台駅北口、東久留米駅東口、ひばりヶ丘駅北口、大泉学駅北口、新座駅南口、新座市役所バス停（平日のみ）
- ・ 調査対象者 対象路線のうち新座市内で降車する小学生以上の利用者（目視で判断）
- ・ 調査方法 バス停でバスの乗車待ちをしている利用者に対し、新座市内のバス停での降車の有無を確認し、アンケート票を封入した返信用封筒を手渡して配布。回答後に郵送で回収した。

(2) 調査日

- ・ 平日 令和2年12月9日（水）
- ・ 休日 令和2年12月6日（日）
- ・ 時間帯 8時から20時まで

(3) 回収状況

表 3-1 配布・回収状況

区分	配布数	回収数	回収率
平日	1,649 票	488 票	29.6%
休日	984 票	217 票	22.1%

※留意事項

- ・ 路線バスアンケートは、平日と休日で配布しており、これに合わせてアンケート結果の集計も平日と休日に分けて行っている。ただ、回答者は、必ずしも平日と休日を思い浮かべて回答していない可能性があることに留意が必要である。

3.2 調査結果

3.2.1 回答者の属性

(1) 性別・年代

- ・平日、休日ともに女性の回答者が多く、年代別にみると「50 歳代」の回答割合が高い傾向になっている。
- ・65 歳以上の回答割合は、35%～39%程度となっている。

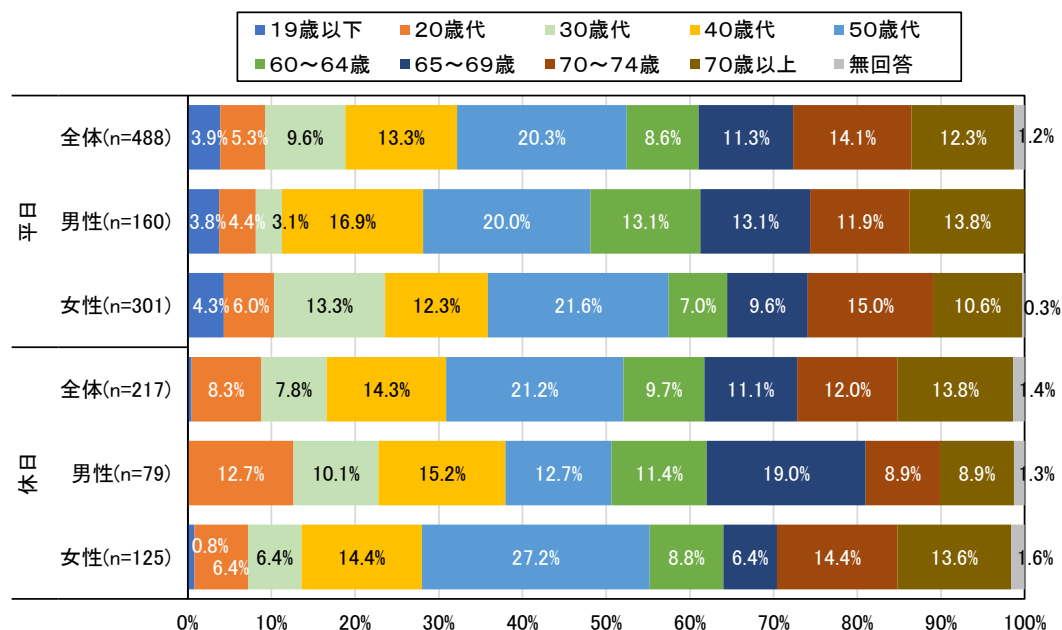


図 3-1 回答者の性別・年代

(2) 職業

- ・平日、休日ともに「会社員・公務員」の割合が最も高くそれぞれ 35.5%、39.2%となっている。次いで「パート・アルバイト」が 21.5%、20.7%、「無職、年金受給者」が 16.4%、17.5%などとなっている。

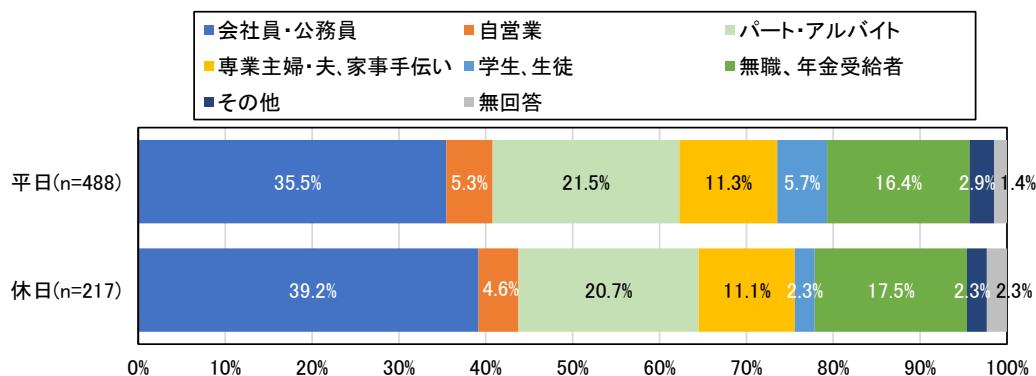


図 3-2 回答者の職業

(3) 居住地

- ・平日は、新座市内の居住者の利用割合が高く、このうち「南部地域」が最も高く 24.1% となっている。
- ・休日も同様に新座市内の居住者の利用割合が高く、このうち「南部地域」が最も高く 34.0% となっている。
- ・「新座市外」の居住地は、平日は「東京都清瀬市」が最も多く 21 人、休日は「東京都練馬区」が最も多く 11 人となっている。

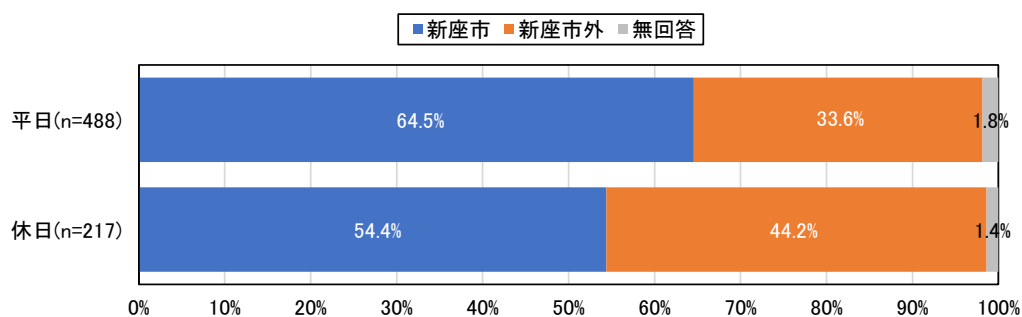


図 3-3 回答者の居住地

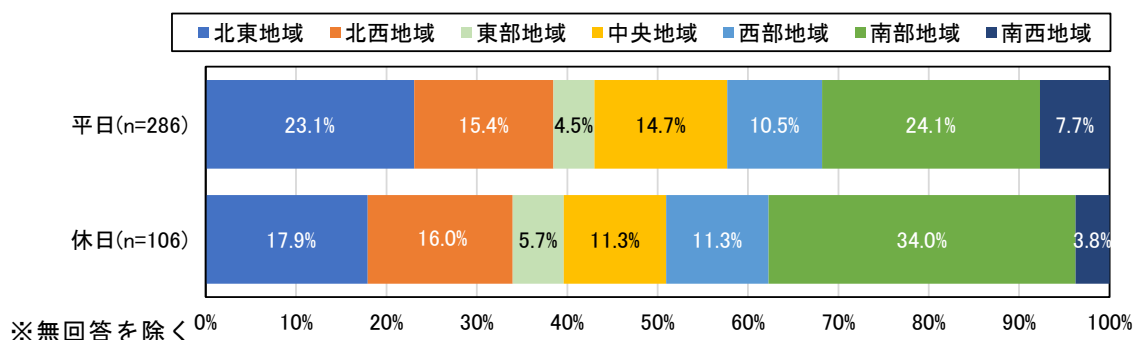


図 3-4 回答者の居住地(新座市内)

(4) 運転免許証保有の有無・運転免許証の返納予定

【運転免許証保有の有無】

- ・ 平日の運転免許証保有割合は、64 歳以下が 71.8%、65～74 歳が 52.4%、75 歳以上が 18.3%となっており、年代が高くなるにつれて低くなる傾向になっている。（「運転免許保有(普段から運転する)」、「運転免許保有(あまり運転しない)」の合計）
- ・ 休日も平日と同様に運転免許証保有割合は、64 歳以下が 73.1%、65～74 歳が 52.0%、75 歳以上が 13.3%となっており、年代が上がるにつれて低くなる傾向になっている。（「運転免許保有(普段から運転する)」、「運転免許保有(あまり運転しない)」の合計）

【運転免許証の返納予定】

- ・ 平日は、割合をみると、64 歳以下が 31.0%、65～74 歳以下が 81.0%、75 歳以上が 81.8%となっており、年代が上がるにつれて高くなる傾向になっている。（「返納予定あり(10 年以内)」と「返納予定あり(将来)」の合計）
- ・ 休日は、割合をみると、64 歳以下が 35.7%、65～74 歳以下が 65.4%となっている。（「返納予定あり(10 年以内)」と「返納予定あり(将来)」の合計）

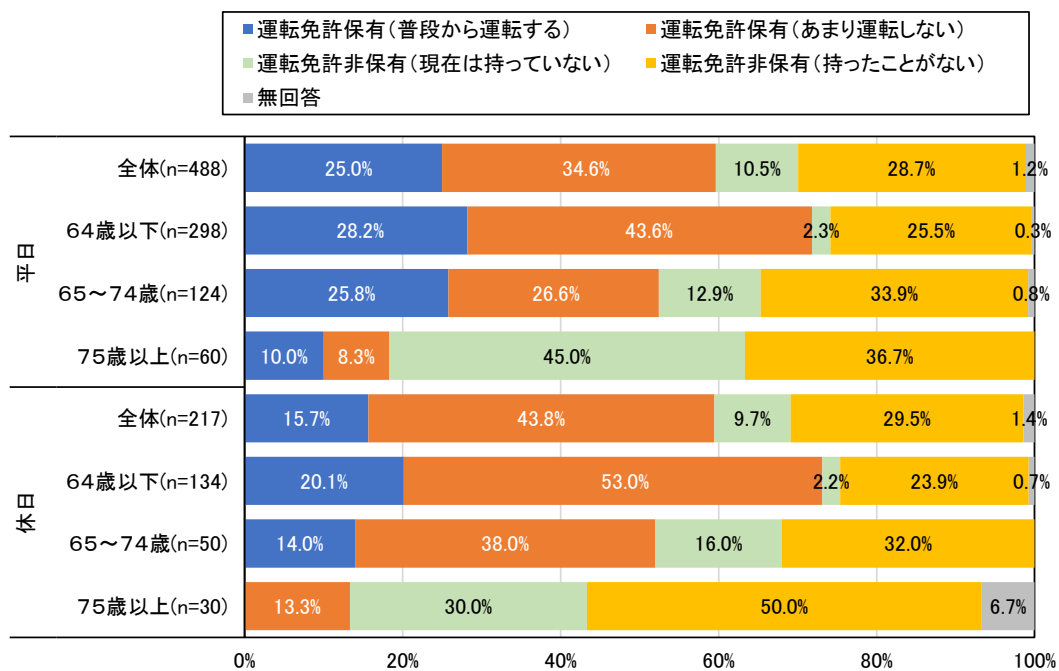
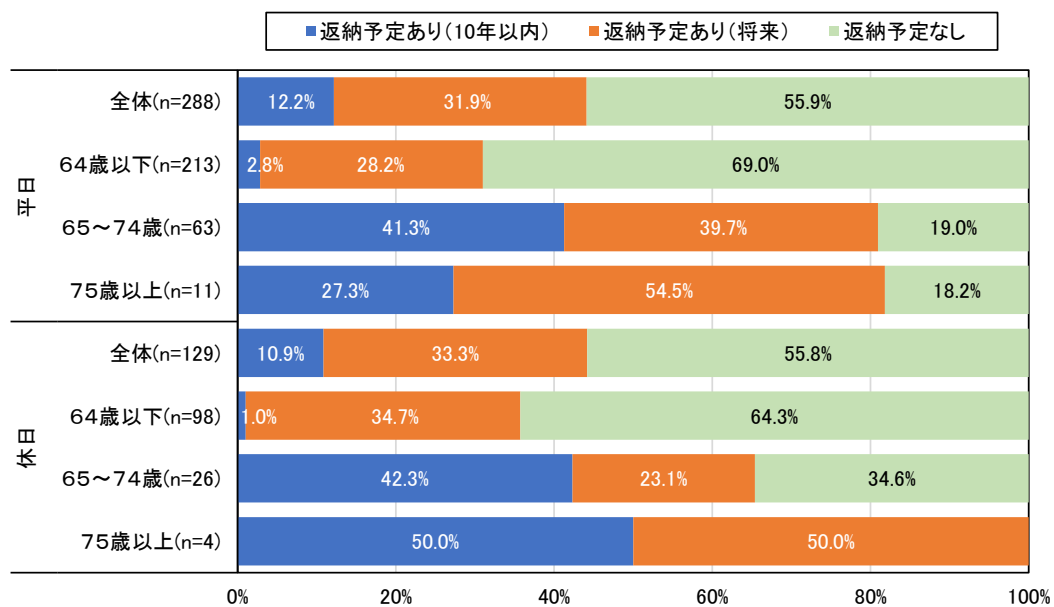


図 3-5 年代別・運転免許証保有の有無



※無回答を除く
 ※サンプル数が少ないことに注意

図 3-6 年代別・運転免許証の返納予定

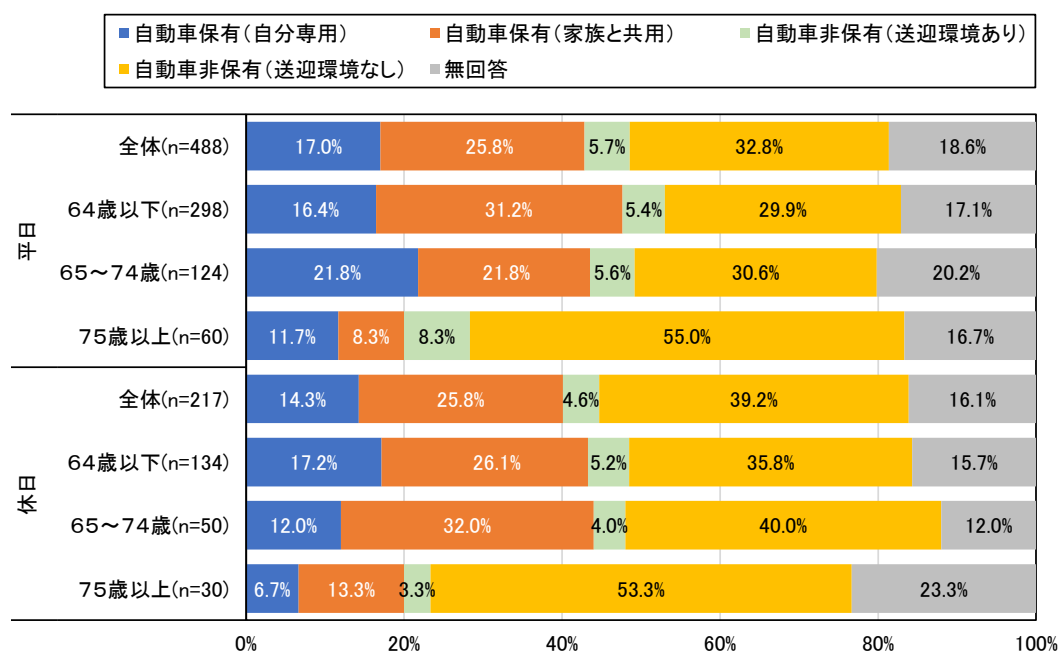
(5) 自動車等の保有状況

- 平日は、自動車保有の割合は、64歳以下が47.6%、65～74歳が43.6%、75歳以上が20.0%となっており、年代が上がるにつれて低くなる傾向になっている。（「自動車保有(自分専用)」と「自動車保有(家族と共用)」の合計）

75歳以上は「自動車非保有(送迎環境なし)」が55.0%となっており、他の年代に比べ高くなっている。

- 休日は、自動車保有の割合は、64歳以下が43.3%、65～74歳が44.0%、75歳以上が20.0%となっている。（「自動車保有(自分専用)」と「自動車保有(家族と共用)」の合計）

75歳以上は「自動車非保有(送迎環境なし)」が53.3%となっており、他の年代に比べ高くなっている。



※自動車等＝4・2輪、原付

図 3-7 年代別・自動車等保有状況

(6) 自宅からバス停まで許容できる距離

・年代全体で、平日・休日利用者とも、300m以内で70%以上、500m以内が90%以上をバス停までの許容距離と回答しており、バス停まで500mが許容できる限度と言える。

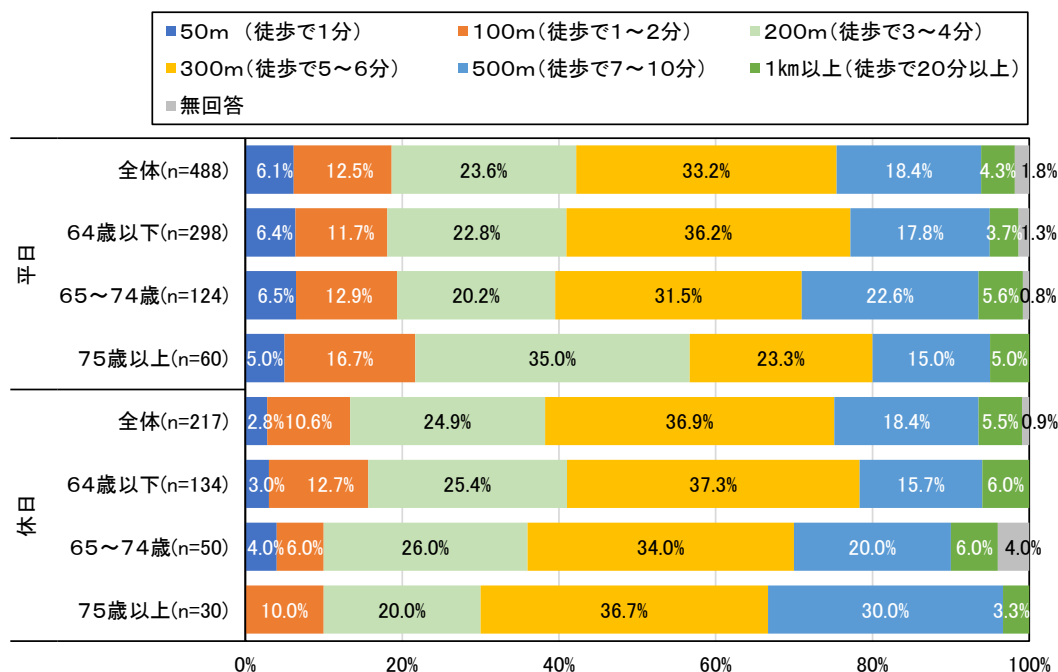


図 3-8 年代別・自宅からバス停まで許容できる距離

3.2.2 路線バスの利用状況

(1) 路線バスの利用目的

・平日、休日ともに「通勤・通学」が最も高くそれぞれ54.1%、33.2%となっている。
 ・平日は、休日より「通院」の回答割合が高く、休日は、平日より「買い物」、「趣味・娯楽・食事・習い事」の回答割合が高くなっている。

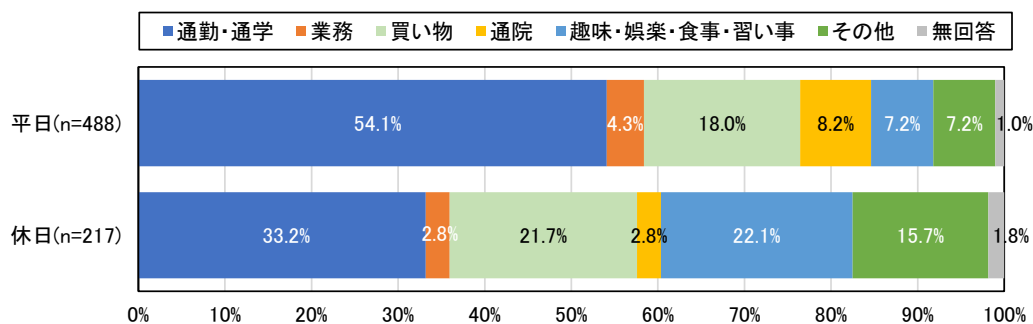


図 3-9 路線バスの利用目的

(2) 路線バスの出発地

- ・平日は、「自宅(新座市内)」が最も高く 51.4%となっている。
- ・休日は、「自宅以外(新座市外)」が最も高く 45.2%となっている。
- ・「自宅以外(新座市市外)」の出発地は、平日は「東京都清瀬市」が最も多く 23 人、休日は「東京都西東京市」が最も多く 13 人となっている。

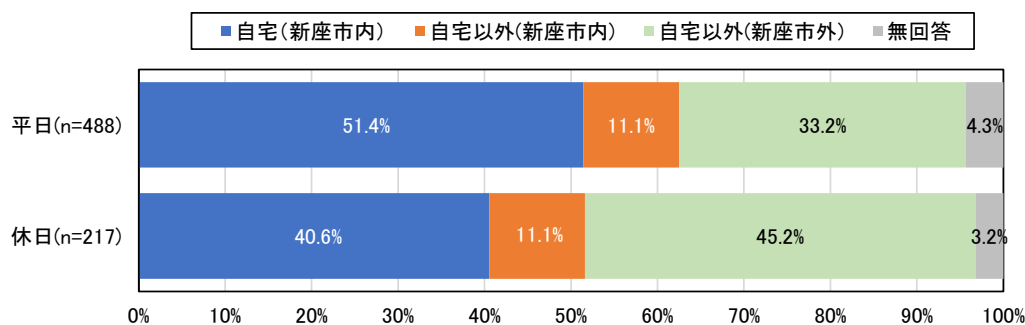


図 3-10 路線バスの出発地

表 3-2 出発地(市内・自宅以外)(平日)

出発地(市内・自宅以外)	人
志木駅	16
新座駅	9
ひばりヶ丘駅	5
新座市役所	3
片山小学校	1
学校	1
会社	1
友人宅	1
東1丁目	1
道場	1

表 3-3 出発地(市内・自宅以外)(休日)

出発地(市内・自宅以外)	人
志木駅	8
ひばりヶ丘駅	1
新座駅	1
大和田1丁目	1
東1丁目	1
北野三丁目	1

表 3-4 出発地(市外・自宅以外)(平日)

出発地(市外・自宅以外)	人
東京都清瀬市	23
東京都練馬区	20
東京都西東京市	18
埼玉県朝霞市	15
東京都東久留米市	7
東京都、以下不明	5
埼玉県富士見市	4
埼玉県所沢市	4
埼玉県ふじみ野市	3
東京都豊島区	3
埼玉県志木市	3
埼玉県入間市	3
埼玉県さいたま市	3
埼玉県和光市	2
東京都小金井市	2
埼玉県坂戸市	2
埼玉県狭山市	2

表 3-5 出発地(市外・自宅以外)(休日)

出発地(市外・自宅以外)	人
東京都西東京市	13
東京都練馬区	11
埼玉県朝霞市	8
東京都清瀬市	8
埼玉県さいたま市	7
東京都東久留米市	6
東京都豊島区	5
埼玉県志木市	4
東京都板橋区	4
埼玉県所沢市	3
東京都小平市	2

(3) 路線バスの乗車・降車時刻

- ・乗車時刻は、平日、休日とも「午前」の割合が高くそれぞれ 67.8%、61.3%となっている。
- ・降車時刻は、乗車時刻と同様に平日、休日とも「午前」の割合が高くそれぞれ 61.3%、56.7%となっている。

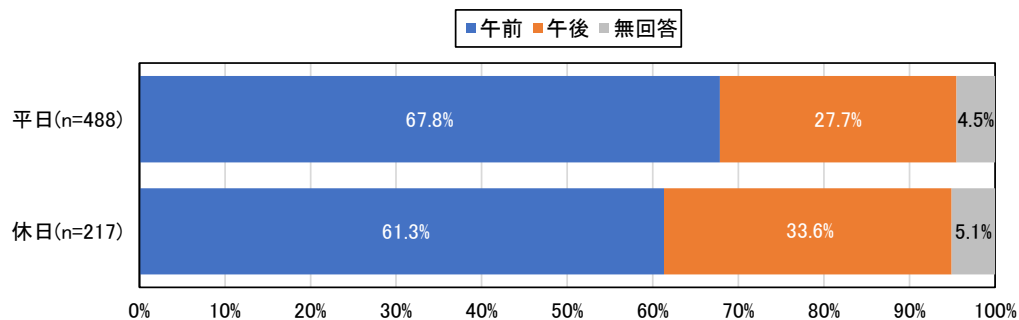


図 3-11 路線バスの乗車時刻

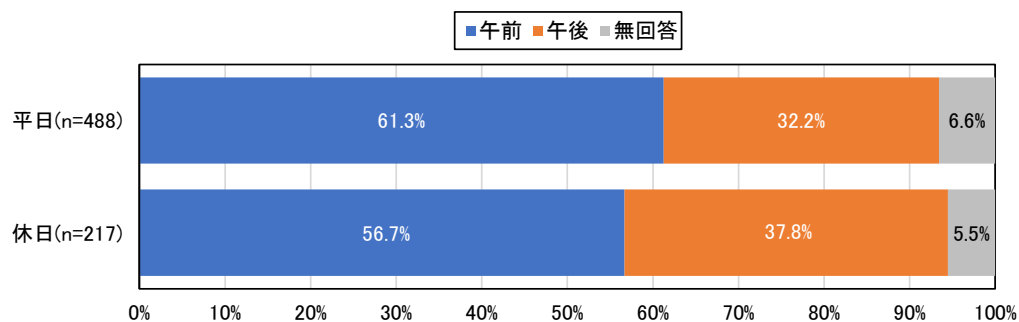


図 3-12 路線バスの降車時刻

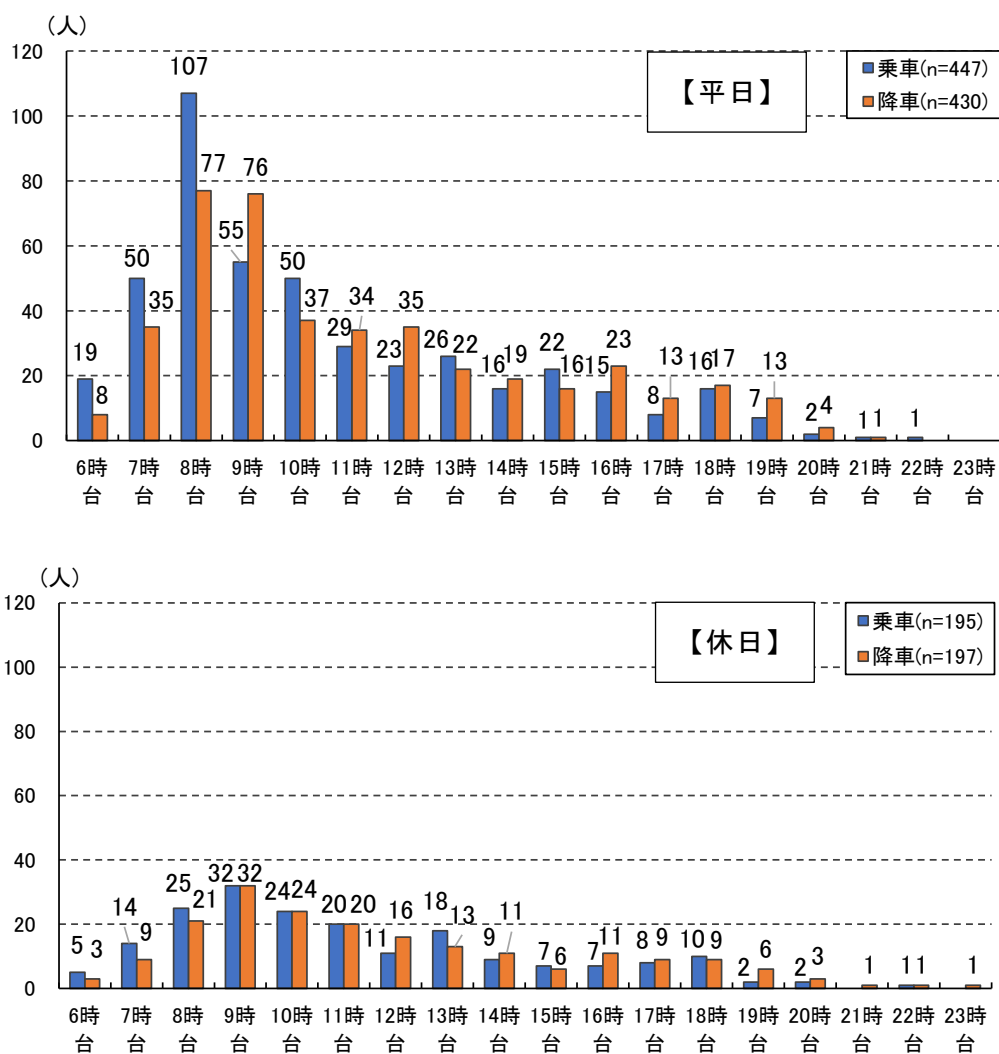


図 3-13 具体的な乗車・降車時間帯

(4) 路線バスの出発地からバス停までの所要時間

・平日、休日ともに「3分以内」が最も高く、バス停近くの居住者が利用している。

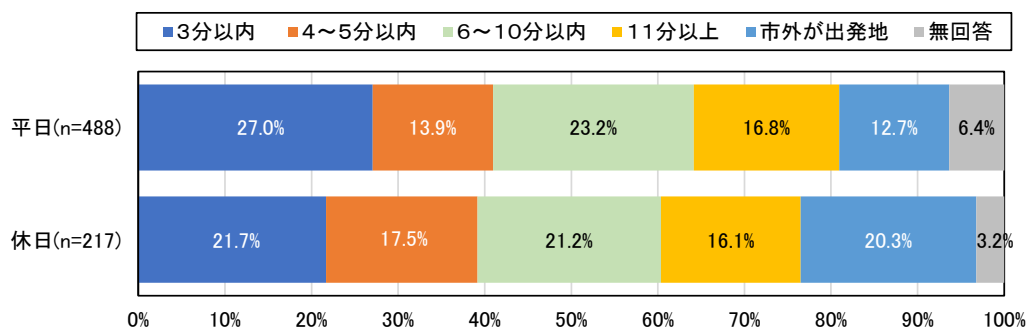


図 3-14 出発地からバス停までの所要時間

(5) 路線バスのバス停から目的地までの所要時間

- ・平日、休日ともに「3分以内」が最も高く、バス停近くに目的地がある。

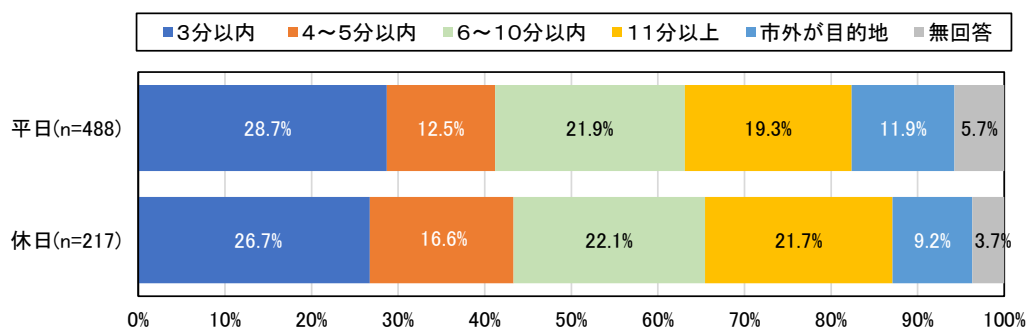


図 3-15 バス停から目的地までの所要時間

(6) 路線バスの乗りつぎ

1) 路線バスに乗車する前の乗りつぎ

- ・平日は、「乗りつぎなし」が最も高く 52.9%となっている。
- ・休日は、「鉄道から乗りついた」が最も高く 44.7%となっている。

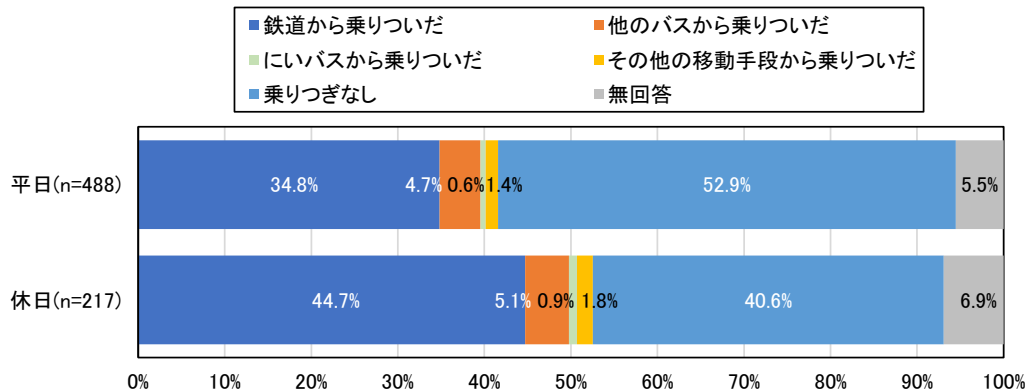


図 3-16 路線バス乗車前の乗りつぎ

2) 路線バスを降車した後の乗りつき

- ・平日、休日ともに「乗りつきなし」が最も高くそれぞれ 60.0%、65.9%となっている。
- ・「鉄道へ乗りついた」は、平日が 28.7%、休日が 20.7%となっている。

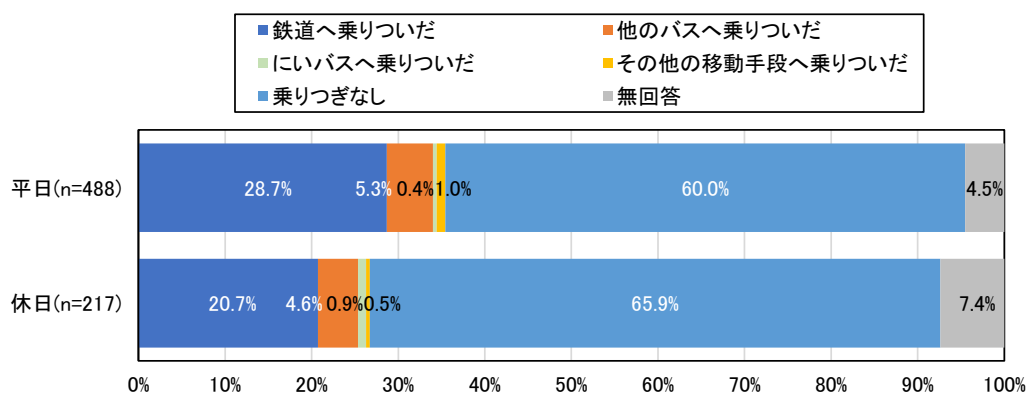


図 3-17 路線バス降車後の乗りつき

(7) 路線バスの目的地

- ・平日は、「自宅以外(新座市外)」が最も高く 34.8%となっている。
- ・休日は、「自宅以外(新座市内)」が最も高く 35.9%となっている。
- ・「自宅以外(新座市外)」の目的地は、平日は「埼玉県朝霞市」が最も多く 16 人、休日は「東京都練馬区」が多く 11 人となっている。

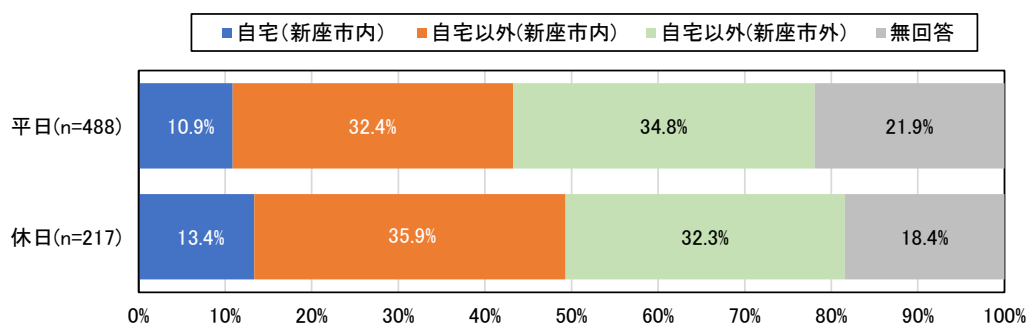


図 3-18 路線バス利用の目的地

(8) 路線バスの利用頻度

- ・週 2,3 日以上の頻度は、平日が 70.1%、休日が最も高く 53.0%となっている。

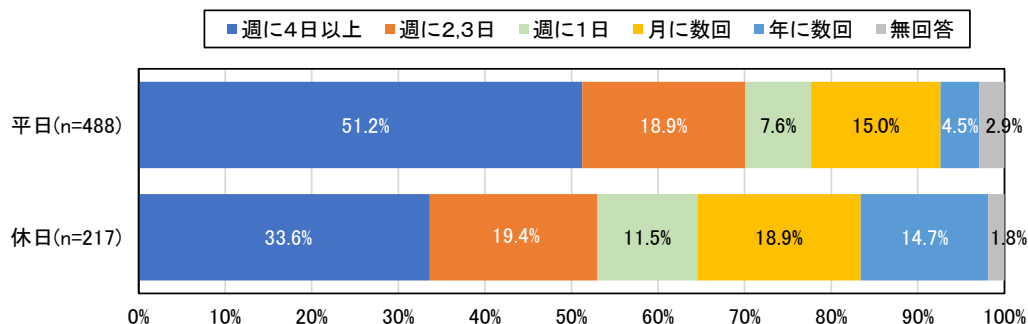


図 3-19 路線バスの利用頻度

(9) 路線バスを利用した理由 (複数回答)

- ・平日、休日ともに「路線バスしか移動手段がないから」が最も高くそれぞれ 61.1%、52.6%となっている。

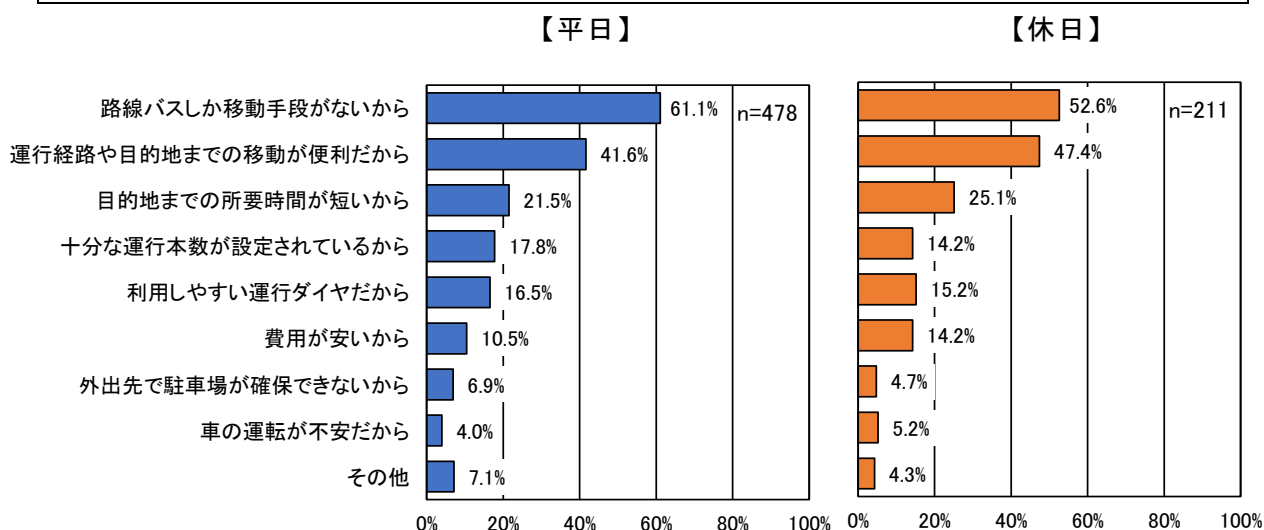


図 3-20 路線バスを利用した理由

3.2.3 路線バスの満足度

1) 全体

【運行本数（運行間隔）】

- ・ 平日、休日ともに満足の割合が高く、「満足」、「やや満足」を合わせるとそれぞれ 53.4%、59.4%となっている。
- ・ 不満とする割合、他と比べ高く、平日は 34.0%、休日は 28.7%となっている。
- ・ 希望する運行本数は、平日、休日ともに 10 分間隔が最も多くそれぞれ 60 人、22 人となっている。

【始発時刻・終発時刻】

- ・ 平日、休日ともに満足の割合が高く、「満足」、「やや満足」を合わせるとそれぞれ 53.4%、55.8%となっている。
- ・ 希望する始発時刻は、平日は 9 時台が最も多く 25 人、休日は 5 時台が多く 9 人となっている。
- ・ 希望する終発時刻は、平日は 23 時台が最も多く 10 人、休日は 0 時台が多く 3 人となっている。

【鉄道や他のバスへの乗りつぎ】

- ・ 平日、休日ともに満足の割合が高く、「満足」、「やや満足」を合わせるとそれぞれ 62.1%、67.5%となっている。
- ・ 乗りつぎに不満と思う駅・バス停は、平日は「新座駅」が最も多く 9 人、休日は「志木駅」が最も多く 3 人となっている。

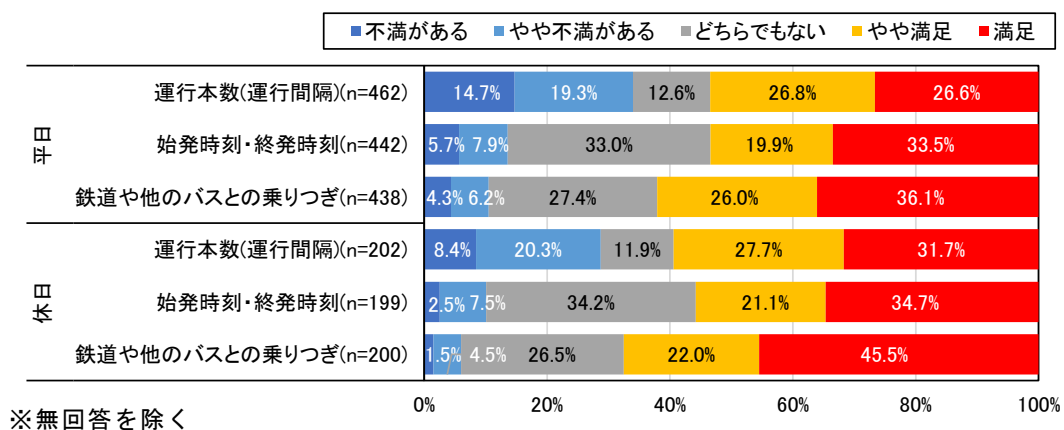


図 3-21 路線バスの満足度

2) 地域別

【運行本数（運行間隔）】

- ・平日は、西部地域、南西地域は他の地域に比べ不満の割合は高く、「不満」、「やや不満」を合わせるとそれぞれ 53.4%、52.0%となっている。
- ・一方、満足の割合が最も高い地域は、北西地域で「満足」、「やや満足」を合わせると 74.4%となっている。
- ・休日は、西部地域は全体に比べ不満の割合が高く、「不満」、「やや不満」を合わせると 63.7%となっている。
- ・一方、満足の割合が最も高い地域は、北西地域で「満足」、「やや満足」を合わせると 82.3%となっている。

※10 サンプル未満は比較対象外とした。

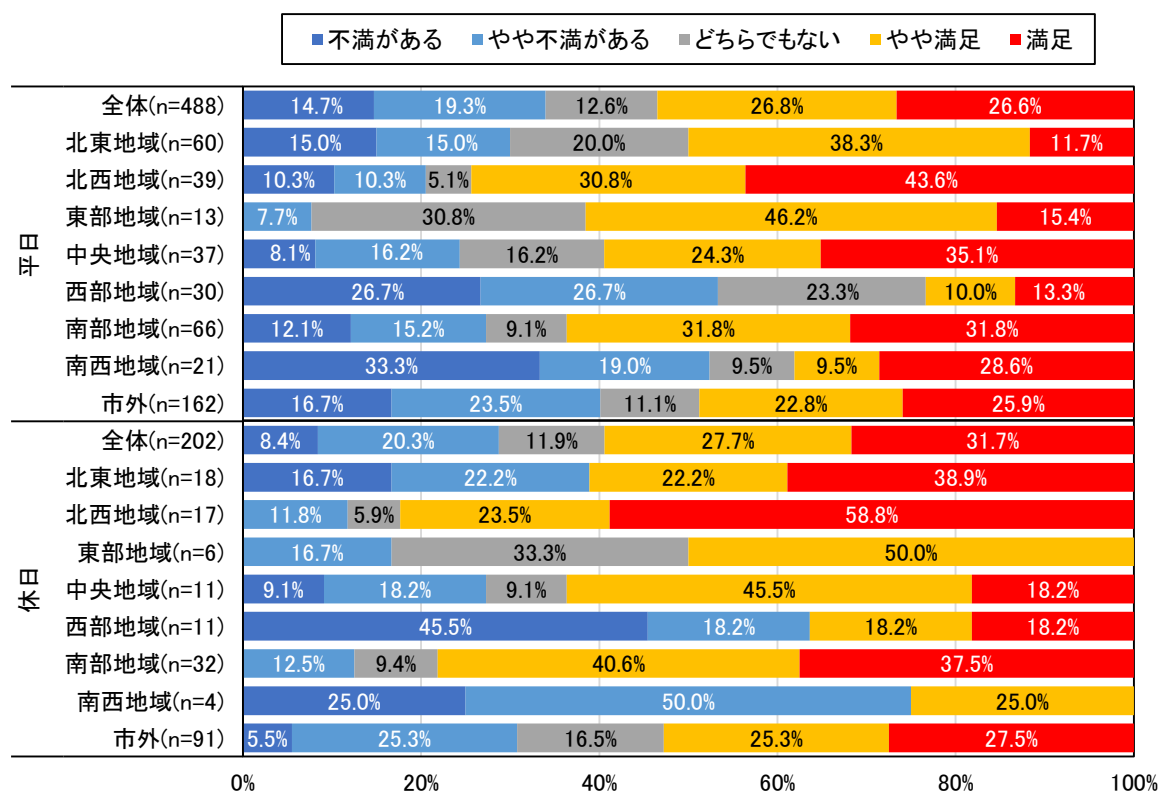


図 3-22 地域別・運行本数(運転間隔)の満足度

【不満・やや不満と回答した人の希望等】

表 3-6 希望の運行本数(運行間隔)(平日)

運行本数(運行間隔)	人
10分	60
15分	38
30分	14
20分	13
5分	11
60分	7
7分	3
45分	1
8分	1
3分	1
12分	1

表 3-7 希望の運行本数(運行間隔)(休日)

運行本数(運行間隔)	人
10分	22
15分	13
20分	6
5分	4
30分	3
8分	2
25分	1
13分	1
60分	1
6分	1

表 3-8 希望の始発時刻(平日)

始発時刻	人
9時台	25
6時台	7
7時台	3
4時台	3
9時台	1

表 3-9 希望の始発時刻(休日)

始発時刻	人
5時台	9
6時台	4
4時台	1

表 3-10 希望の終発時刻(平日)

終発時刻	人
23時台	10
22時台	8
0時台	8
21時台	4
19時台	2
20時台	1
15時台	1

表 3-11 希望の終発時刻(休日)

終発時刻	人
0時台	3
23時台	2
1時台	2
10時台	1
11時台	1
22時台	1
20時台	1
13時台	1

表 3-12 乗りつぎを不満に思う駅・バス

停
(平日)

表 3-13 乗りつぎを不満に思う駅・バス

停
(休日)

駅・バス停	人
新座駅	9
新座市役所	3
大泉学園駅	3
東久留米駅	3
ひばりヶ丘駅	2
片山小学校	2
あたご橋	1
ふるさと小道	1
志木駅	1
朝霞台駅	1
北朝霞駅	1
史跡公園	1
成増駅	1
東映撮影所前	1
新座警察署前	1
本多1丁目	1

駅・バス停	人
志木駅	3
新座駅	2
朝霞台駅	1
保谷駅	1

3.2.4 デマンド型交通（乗合タクシー）について

(1) デマンド型交通の利用意向

1) 全体

- ・平日は、年代が上がるにつれ「利用すると思う」の割合が高くなる傾向となっている。
- ・休日の75歳以上の「利用すると思う」が46.7%で最も高く、次いで70～74歳が34.6%となっている。

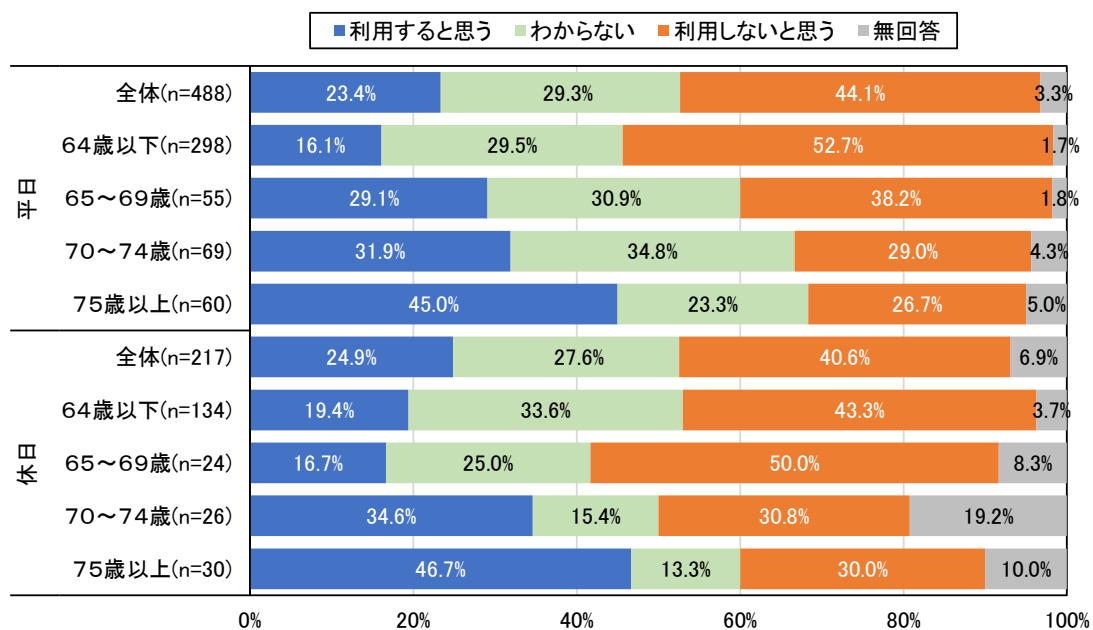


図 3-23 年代別・デマンド型交通の利用意向

2) 地域別

- ・平日は、北東地域は「利用すると思う」の割合が高く 48.1%、次いで北西地域が 41.4%、東部地域が 40.0%となっている。
- ・一方、西部地域は「利用しないと思う」の割合が高く 42.9%となっている。
- ・休日は、北東地域は全体に比べ「利用すると思う」の割合が高く 40.0%となっている。
- ・一方、北西地域は「利用しないと思う」の割合が高く 54.5%となっている。

※10 サンプル未満は比較対象外とした。

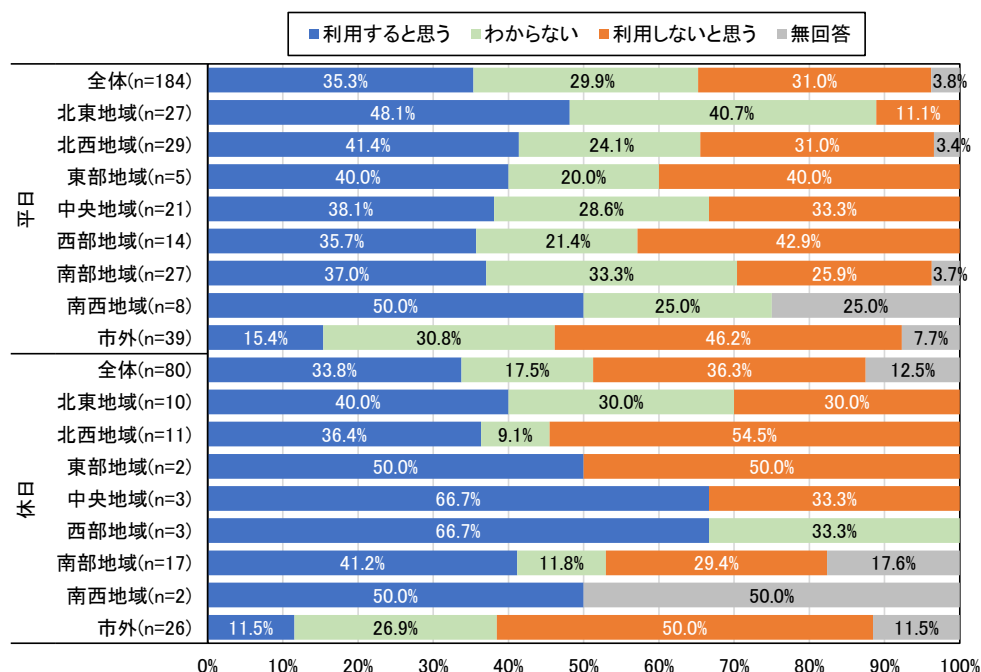


図 3-24 地域別・デマンド型交通の利用意向 (65 歳以上)

(2) デマンド型交通を「利用すると思う」とした回答者の利用意向(65 歳以上)

1) デマンド型交通を利用する理由 (複数回答)

- ・平日、休日ともに「目的地出入口まで乗り入れるから」が最も高くそれぞれ 63.9%、80.0%、次いで「タクシーより安そうだから」がそれぞれ 60.7%、68.0%などとなっている。

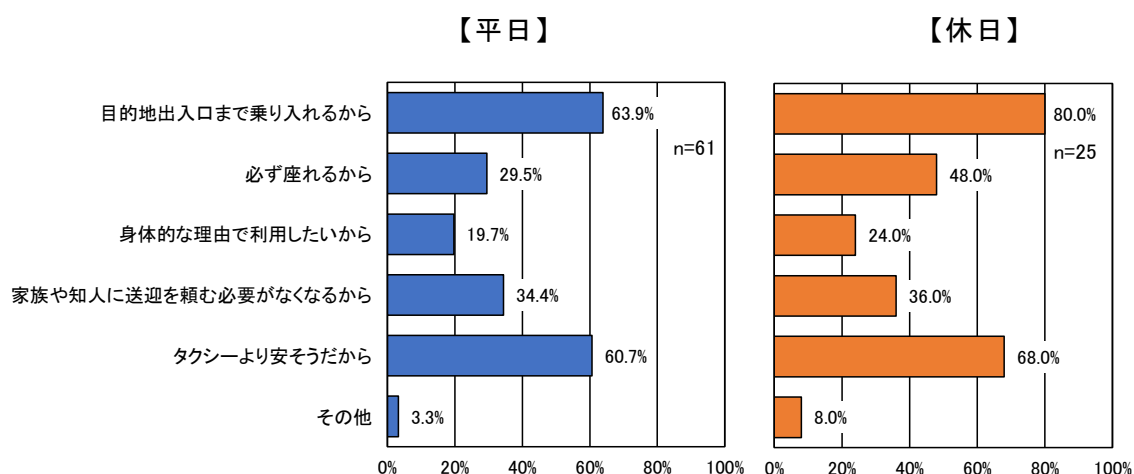


図 3-25 デマンド型交通を利用する理由 (65 歳以上)

2) デマンド型交通の利用目的 (複数回答)

- ・ 平日、休日ともに「通院」が最も高くそれぞれ 84.4%、77.8%となっている。
- ・ 休日は、平日より「買い物」、「趣味・娯楽・食事・習い事」の割合が高くなっている。

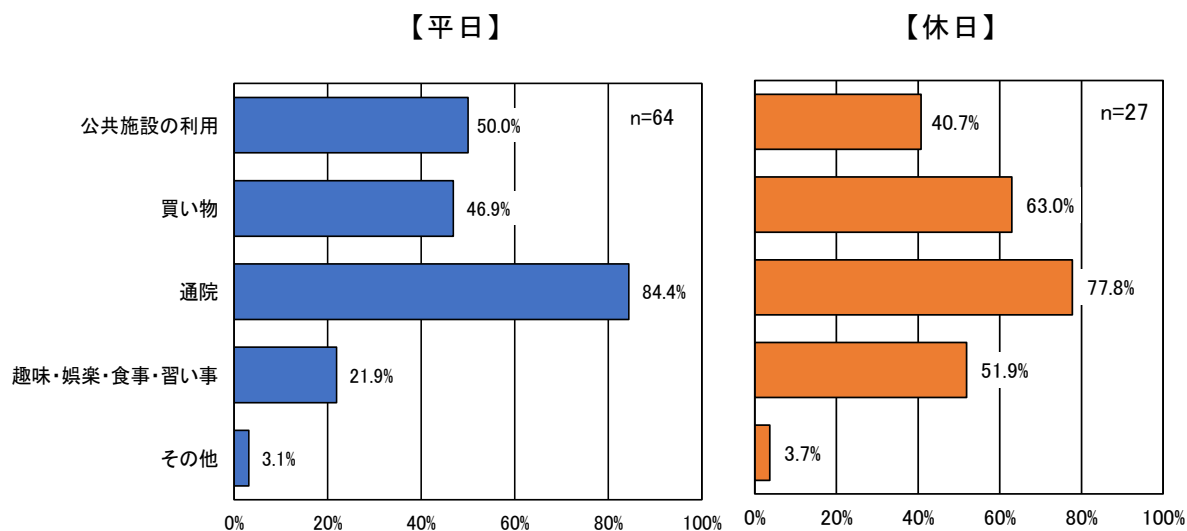


図 3-26 デマンド型交通の利用目的 (65 歳以上)

3) デマンド型交通で行きたい施設（複数回答）

- ・平日、休日ともに「病院・診療所」が最も高くそれぞれ 77.6%、75.0%となっている。
- ・平日は、休日より「市役所・出張所」、「駅・駅周辺の施設」、「郵便局・銀行」が高く、休日は、平日より「商業施設（スーパー・デパート等）」が高くなっている。
- ・「病院・診療所」は、平日、休日ともに「新座志木中央総合病院」が多くそれぞれ 7 人、3 人となっている。

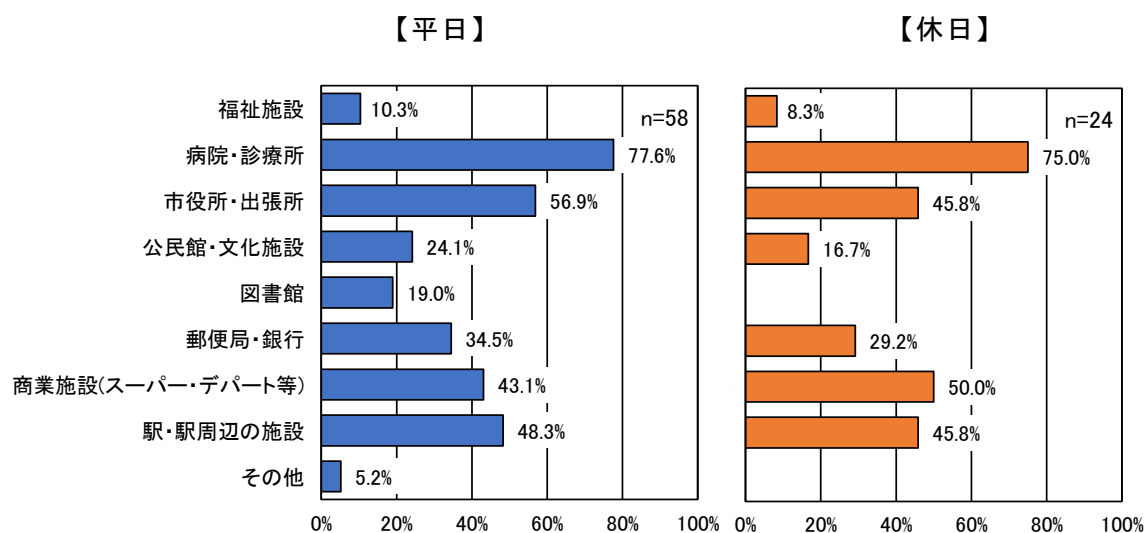


図 3-27 デマンド型交通で行きたい施設 (65 歳以上)

表 3-14 デマンド型交通で行きたい具体的な施設・駅(65歳以上)(平日)

福祉施設	人
さわやか学舎(NPO法人)	1
老人福祉センター(えがおの里)	1

市役所・出張所	人
新座市役所	17
新座市役所・東北出張所	1
朝霞市役所	1

図書館	人
中央図書館	5
朝霞市立図書館(本館)	1
東久留米市立東部図書館	1

商業施設(スーパー・デパート等)	人
マルイファミリー志木	8
イオン新座店	4
EQUIA志木	3
オリンピックおリーぶ新座店	1
スーパーヤマザキ東久留米東口店	1
ロチャース新座店	1
タイヤ館あさか	1
コープみらいコープ幸町店	1
フードガーデン新座	1
マルエツ志木幸町店	1

その他の施設	人
カーブス志木	1
ふるさと新座館	1

病院・診療所	人
新座志木中央総合病院	7
TMGあさか医療センター	5
堀ノ内病院	4
埼玉病院	2
新座クリニック	1
村山病院	1
高田整形外科病院	1
複十字病院	1
新座病院	1

公民館・文化施設	人
新座市民会館	3
大和田公民館	2
朝霞市中央公民館	1
栄公民館	1
野火止公民館	1
栗原公民館	1
西堀・新堀コミュニティセンター	1

郵便局・銀行	人
埼玉りそな銀行新座支店	3
新座郵便局	3
三菱UFJ銀行新座志木支店	1
りそな銀行東久留米団地出張所	1
みずほ銀行ひばりが丘支店	1
埼玉りそな銀行 新座支店	1

駅・駅周辺の施設	人
志木駅	7
新座駅	4
朝霞台駅	2
ひばりが丘駅	1
清瀬駅	1

表 3-15 デマンド型交通で行きたい具体的な施設・駅(65歳以上)(休日)

病院・診療所	人	市役所・出張所	人
新座志木中央総合病院	3	新座市役所	3
堀ノ内病院	3		
こせき眼科	1		
新座病院	1		
志木駅前皮膚科	1		
三浦歯科医院	1		

公民館・文化施設	人	郵便局・銀行	人
中央公民館	1	新座郵便局	1
西堀・新堀コミュニティセンター	1		
栗原公民館	1		

商業施設(スーパー・デパート等)	人	駅・駅周辺の施設	人
ひばりが丘PARCO	1	ひばりが丘駅	3
スーパービバホーム東久留米店	1	新座駅	1
ニトリ新座店	1	朝霞台駅	1
マルイファミリー志木	1		
西友ひばりが丘駅店	1		
イオン新座店	1		

4) デマンド型交通の運賃支払可能額(65歳以上)

- ・1000円まででは平日が95.4%、85.2%が大半であり、1000円以下が限度となっている。

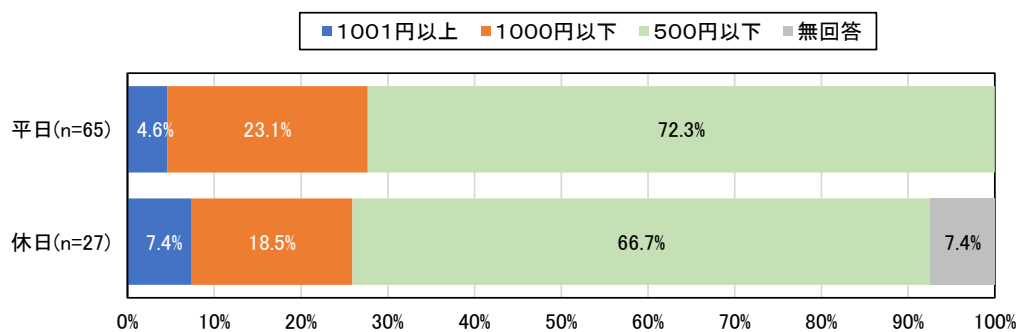


図 3-28 デマンド型交通の運賃支払可能額(65歳以上)

5) デマンド型交通の利用頻度

- ・平日は、「月数回」が最も高く 44.6%となっている。
- ・休日は、「週 1 日以上」が最も高く 48.1%となっている。
- ・「週 1 日以上」を利用すると回答した方において、利用する曜日について尋ねたところ、平日は、「水曜日」、「木曜日」が最も高く 65.2%、休日は、「火曜日」が最も高く 50.0%、となっている。

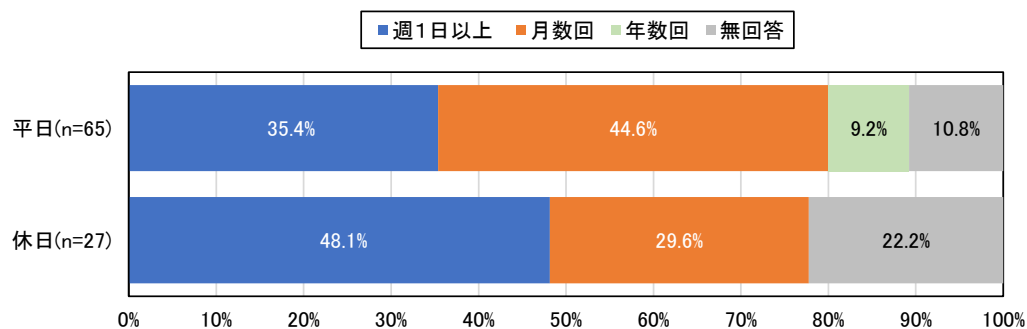


図 3-29 デマンド型交通の利用頻度 (65 歳以上)

【「週 1 日以上」を利用すると回答した方の利用する曜日】 (複数回答)

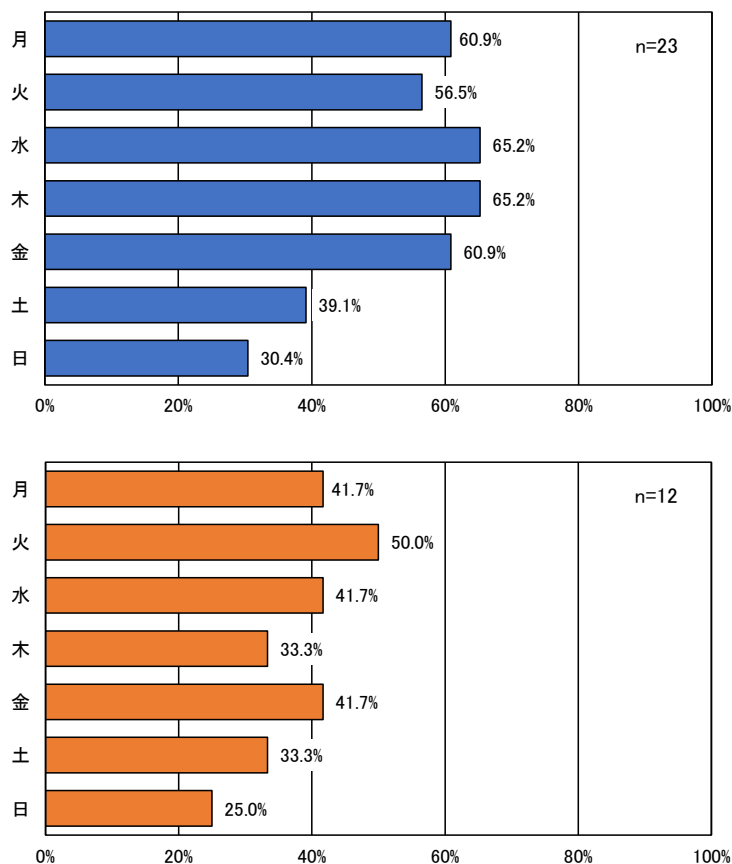


図 3-30 デマンド型交通の利用曜日 (65 歳以上)

6) デマンド型交通を利用する時間帯

- ・平日、休日ともに、行きが「午前」、帰りが「午後」の割合が高くなっている。
- ・時間帯別にみると、平日の行きは10時台が最も多く19人となっており、帰りは13時台が最も多く8人となっている。休日の行きは、8時台、9時台が多く6人となっており、帰りは16時台が多く4人となっている。

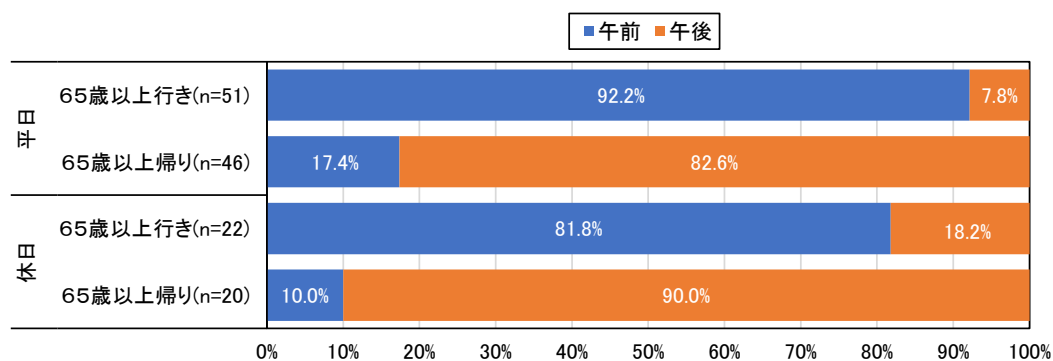


図 3-31 デマンド型交通を利用する時間帯 (65 歳以上)

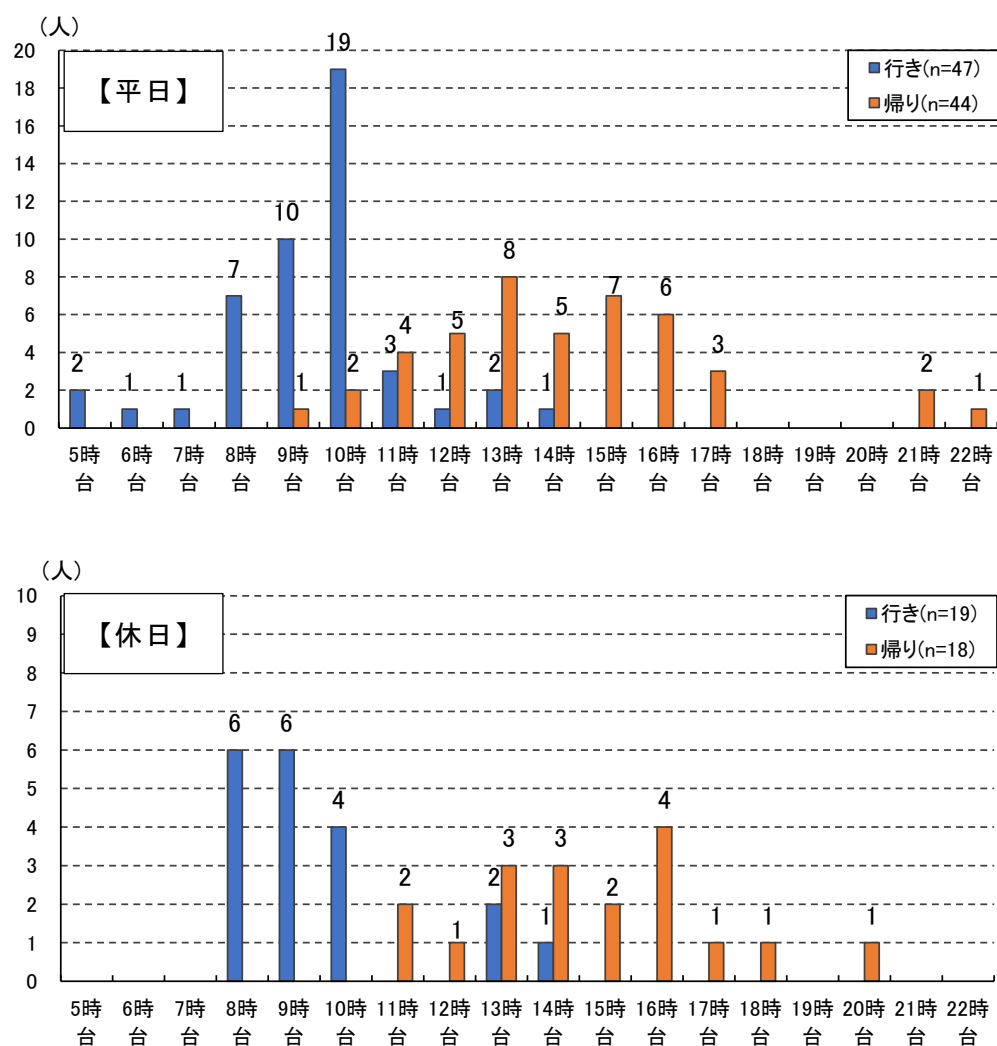


図 3-32 デマンド型交通を利用する具体的な時間帯 (65 歳以上)

(3) デマンド型交通を「利用しないと思う」理由(65 歳以上) (複数回答)

- ・平日は、「他の交通手段が便利そうだから」が最も高く 46.3%となっている。
- ・休日は、「事前の登録や電話で予約するのがめんどうと思うから」が最も高く 53.6%となっている。

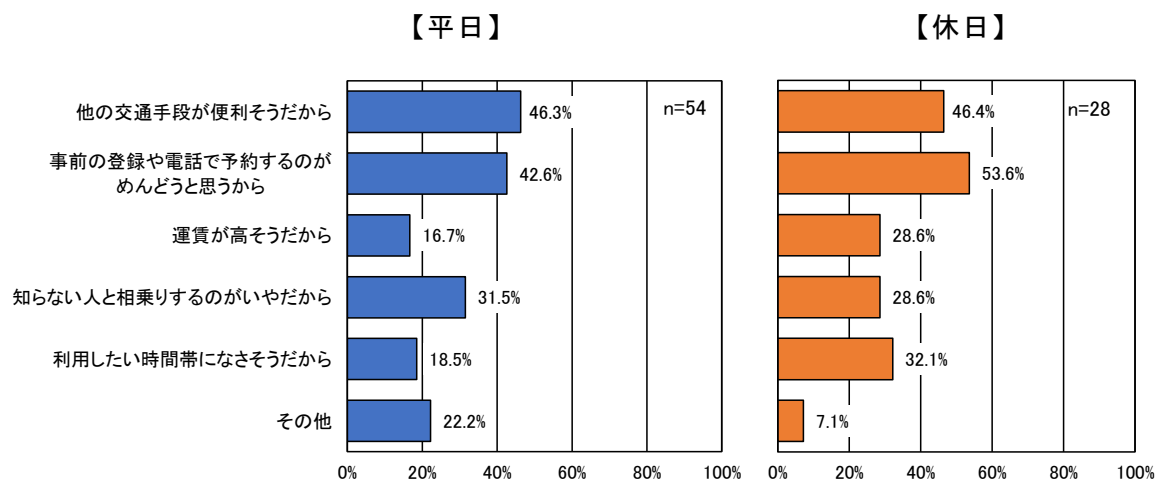
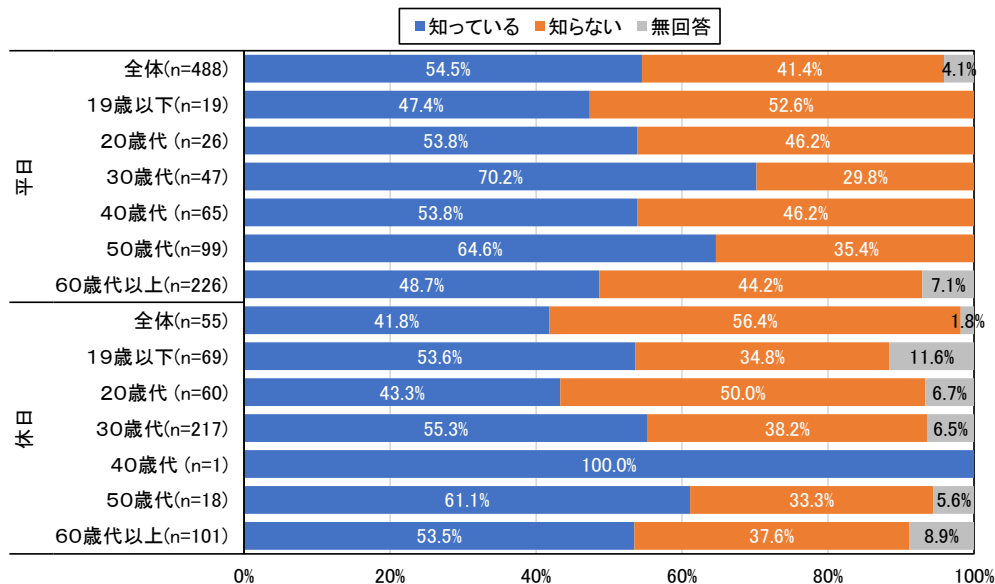


図 3-33 デマンド型交通を利用しない理由(65 歳以上)

3.2.5 コミュニティサイクル（シェアサイクル）について

(1) コミュニティサイクルの認知度

・「知っている」を年代別にみると、平日は、30 歳代が最も高く、次いで 50 歳代が 64.6%、20 歳代、30 歳代が 53.8% などとなっている。休日は、50 歳代が最も高く 61.1%、次いで 30 歳代が 55.3%、19 歳以下が 53.6% などとなっている。

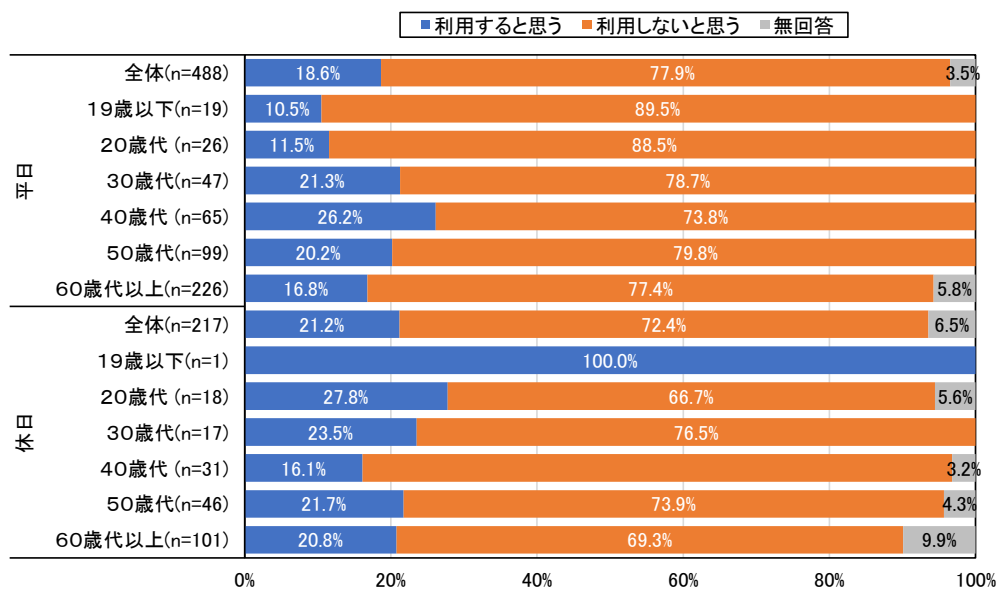


※サンプル数が少ないことに注意

図 3-34 年代別・コミュニティサイクルの認知度

(2) コミュニティサイクルの利用意向

・平日、休日ともに「利用しないと思う」が高い割合になっている。



※サンプル数が少ないことに注意

図 3-35 年代別・コミュニティサイクルの利用意向

(3) コミュニティサイクルを「利用すると思う」とした回答者の利用意向

1) コミュニティサイクルの利用目的（複数回答）

- ・平日は、「買い物」が最も高く 58.4%となっている。
- ・休日は、「趣味・娯楽・食事・習い事」が最も高く 54.3%となっている。また、「買い物」の割合も 52.2%と高くなっている。

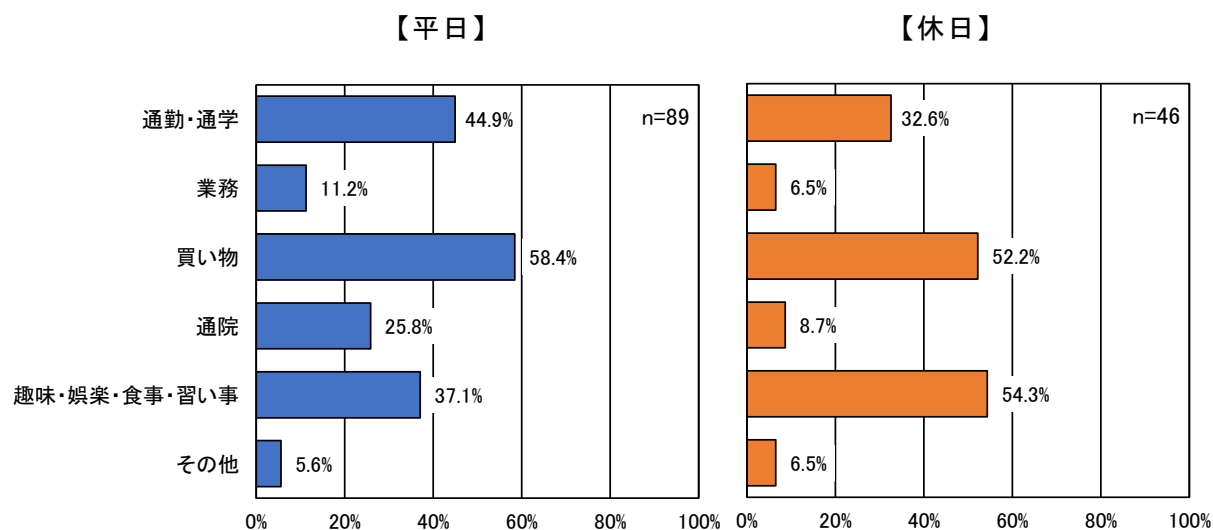
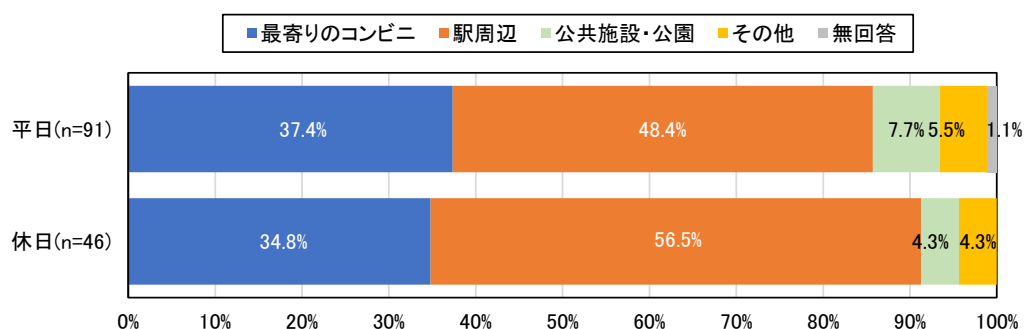


図 3-36 コミュニティサイクルの利用目的

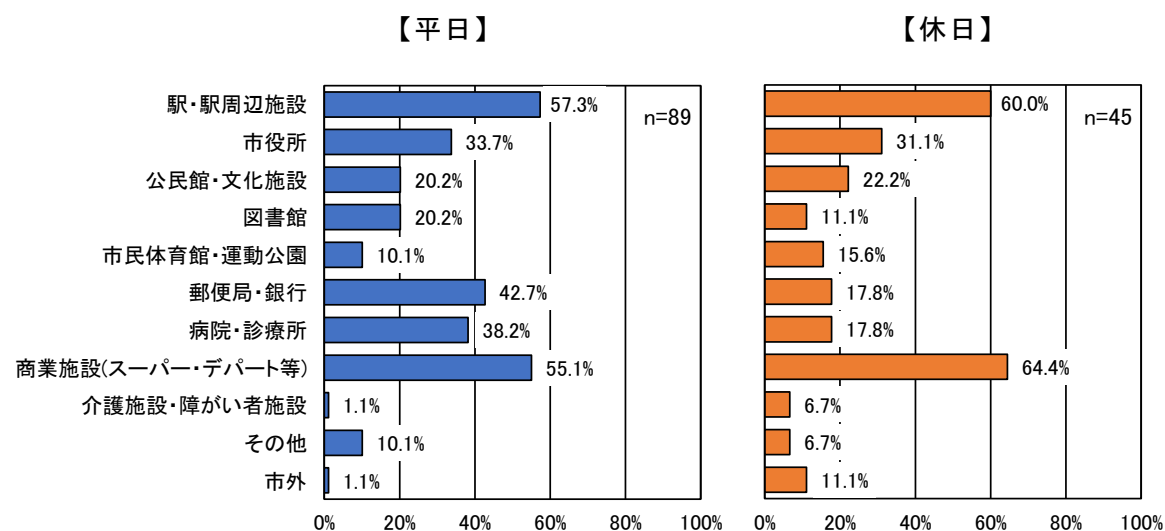
2) コミュニサイクルを利用したい場所(出発地)

- ・平日、休日ともに、「駅周辺」が高い割合となっている。



3) コミュニサイクルで行きたい場所(目的地) (複数回答)

- ・平日は、「駅・駅周辺施設」が最も高く 57.3%、次いで「商業施設(スーパー・デパート等)」が 55.1%などとなっている。
- ・休日は、「商業施設(スーパー・デパート等)」が最も高く 64.4%、「駅・駅周辺施設」が 60.0%となっている。
- ・平日は、休日より「郵便局・銀行」、「病院・診療所」の割合が高くなっている。



4) コミュニティサイクルの利用頻度

- ・平日は、「週に 2,3 日」が最も高く 31.9%となっている。
- ・休日は、「月に数回」が最も高く 37.0%となっている。
- ・週 2、3 日以上でみると平日が 45.1%、休日が 30.4%となっている。

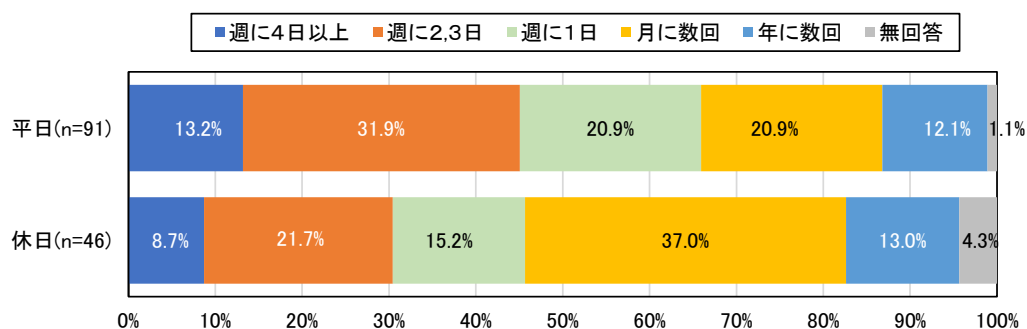


図 3-37 コミュニティサイクルの利用頻度

(4) コミュニティサイクルを「利用しないと思う」理由（複数回答）

- ・平日は、「他の移動手段で十分だから、自転車に乗らないから」が最も高く 42.9%となっている。
- ・休日は、「他の移動手段で十分だから、自転車に乗らないから」、「自転車を持っているから」が最も高く 41.7%となっている。

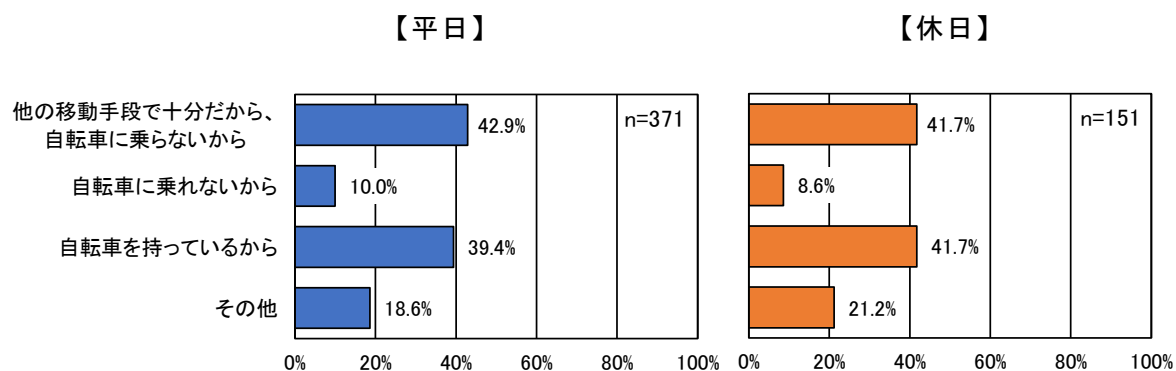


図 3-38 コミュニティサイクルを利用しない理由

3.2.6 新型コロナウイルスの影響について

(1) 外出行動の変化

【年代別】

- ・「外出回数が減少した」が平日の64歳以下は49.0%、65歳以上は51.6%、休日の64歳以下は41.8%、65歳以上は41.3%となっている。
- ・「鉄道・バスの利用を控えた」は、平日、休日ともに65歳以上の割合が高くなっている。

【職業有無別】

- ・「外出回数が減少した」は、平日、休日ともに最も高く、平日の職業なしは53.8%となっている。
- ・「鉄道・バスの利用を控えた」は、平日、休日ともに職業なしの割合が高くなっている。

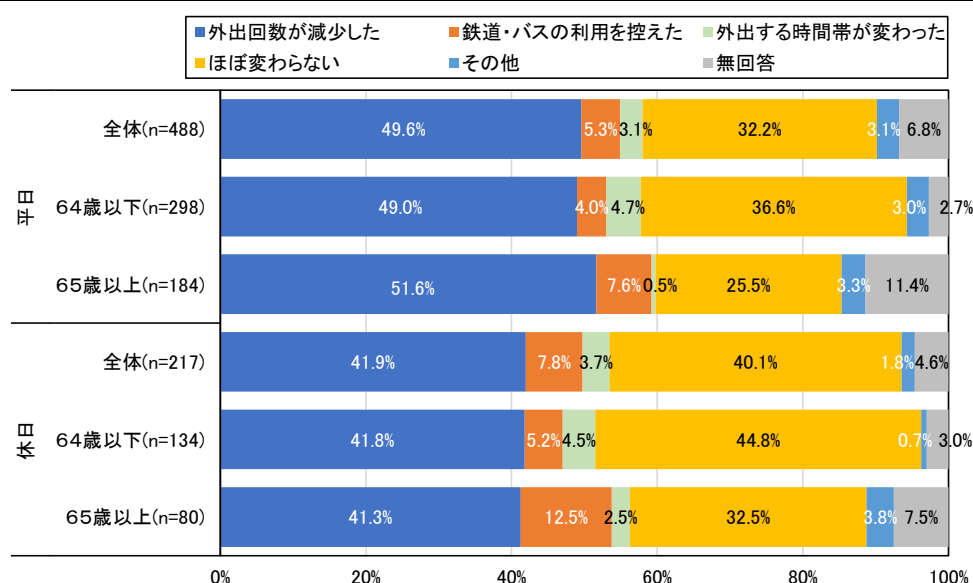
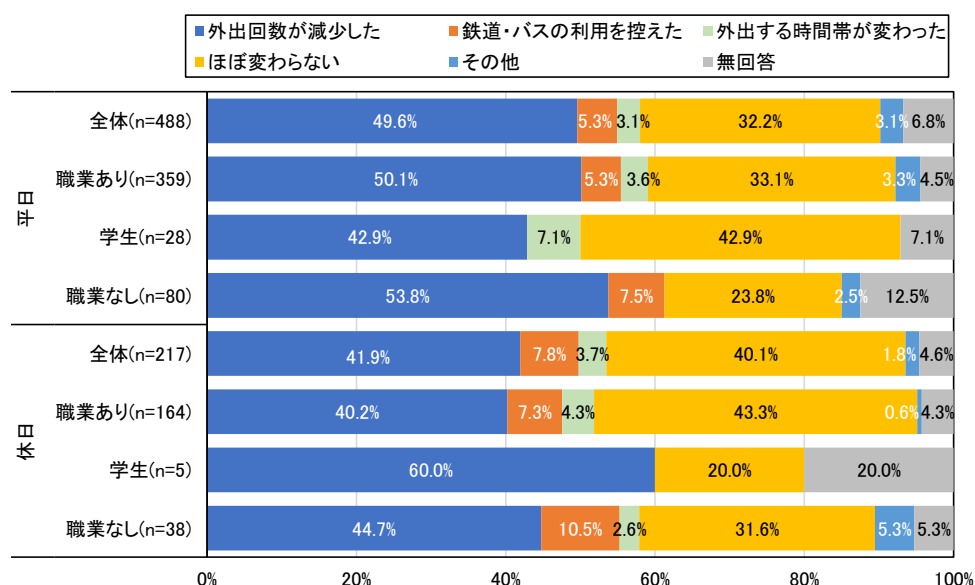


図 3-39 年代別・外出行動の変化



※サンプル数が少ないことに注意

図 3-40 職業有無別・外出行動の変化

(2) 外出回数が減少した回答者の減少割合

- ・趣味等の減少が最も高く平均 6.8 割減となっており、次いで日常生活の減少が平均 5.4 割減、通勤・通学の減少が 3.8 割減となっている。

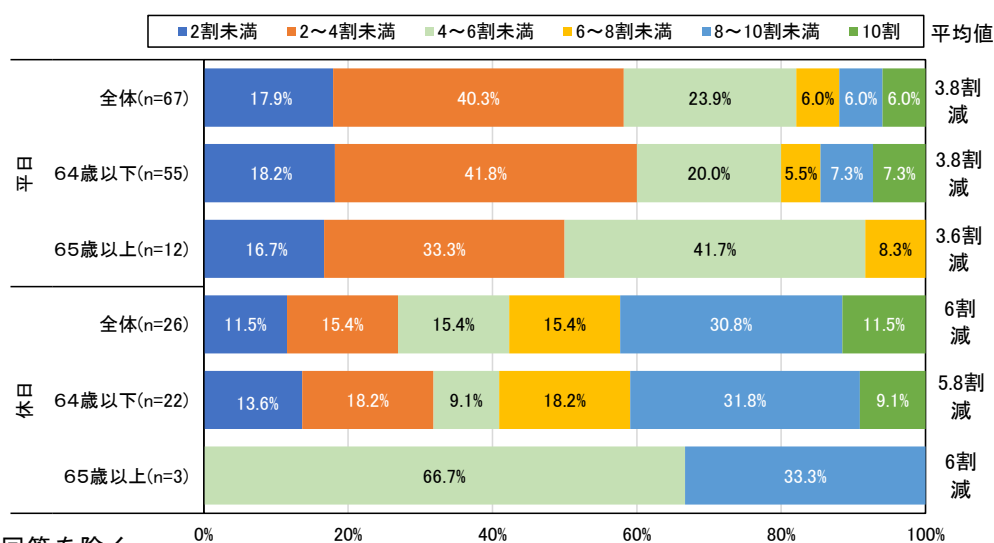
1) 通勤・通学の減少

【年代別】

- ・平日の 64 歳以下は平均 3.8 割減、65 歳以上は平均 3.6 割減となっている。
- ・休日の 64 歳以下は平均 5.8 割減、65 歳以上は平均 6.0 割減となっている。

【職業有無別】

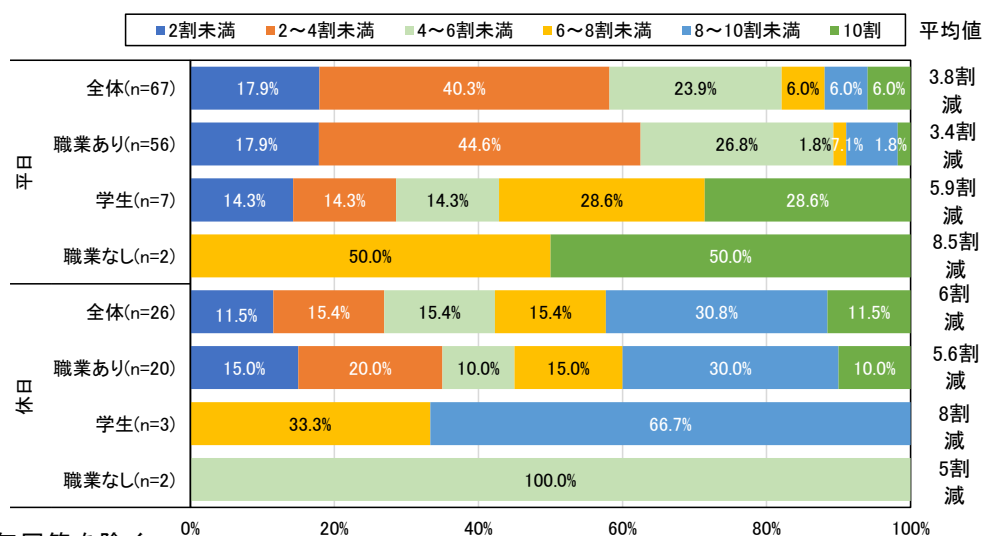
- ・平日の職業ありが平均 3.4 割減、休日の職業ありが平均 5.6 割減となっている。



※無回答を除く

※サンプル数が少ないことに注意

図 3-41 年代別・通勤通学の減少割合



※無回答を除く

※サンプル数が少ないことに注意

図 3-42 職業有無別・通勤通学の減少割合

2) 日常生活の減少（店舗に出かけて買い物・飲食するなど）

【年代別】

- ・ 平日の 64 歳以下は平均 5.5 割減、65 歳以上は平均 4.9 割減となっている。
- ・ 休日の 64 歳以下は平均 5.3 割減、65 歳以上は平均 4.5 割減となっている。

【職業有無別】

- ・ 平日の職業ありが平均 5.4 割減、職業なしが平均 5.2 割減となっている。
- ・ 休日の職業ありが平均 5.2 割減、職業なしが平均 4.5 割減となっている。

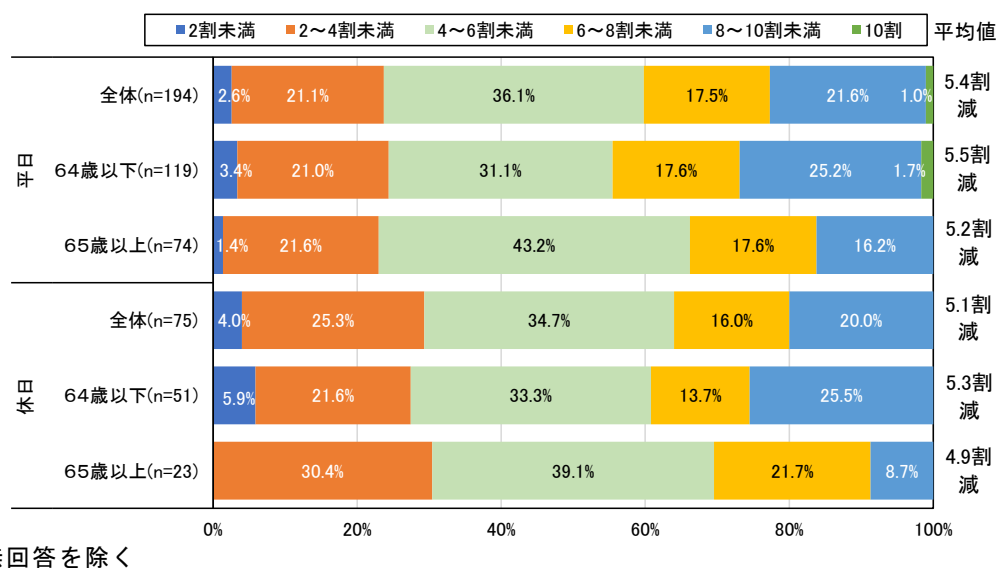


図 3-43 年代別・日常生活の減少割合

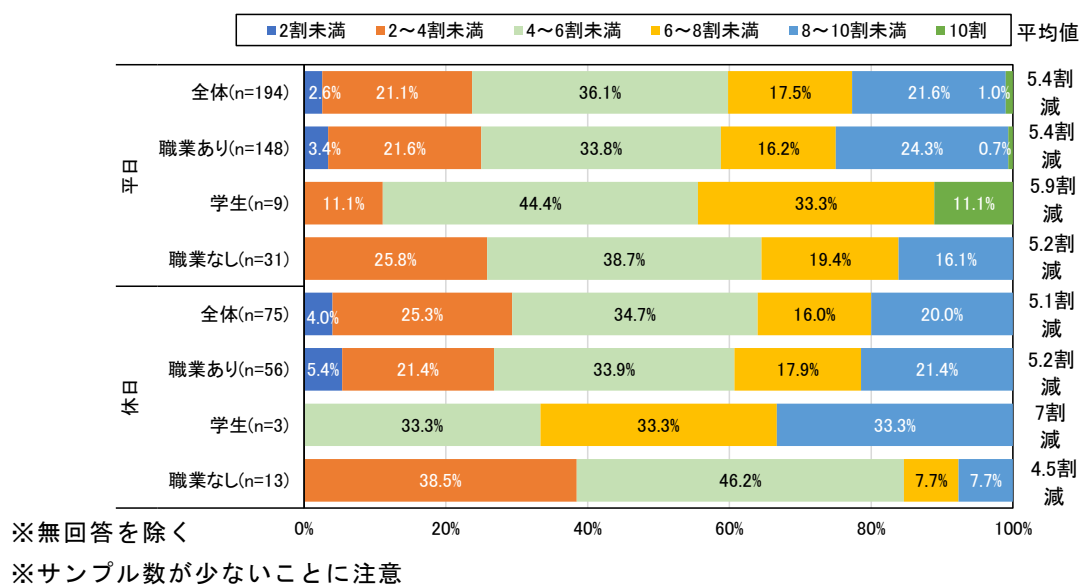


図 3-44 職業有無別・日常生活の減少割合

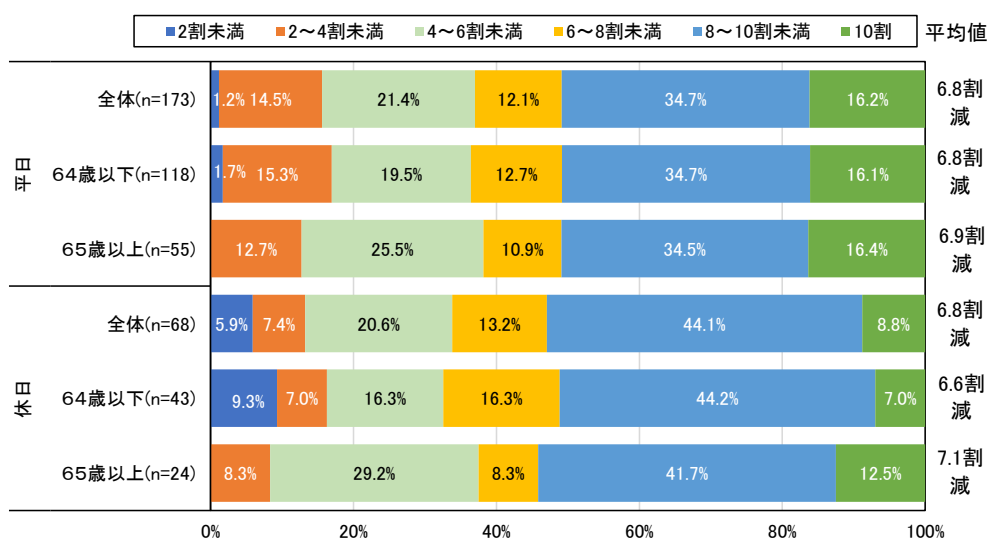
3) 趣味等の減少（趣味、娯楽、スポーツなどの私的な用事）

【年代別】

- ・ 平日の 64 歳以下は平均 6.8 割減、65 歳以上は平均 6.9 割減となっている。
- ・ 休日の 64 歳以下は平均 6.6 割減、65 歳以上は平均 7.1 割減となっている。

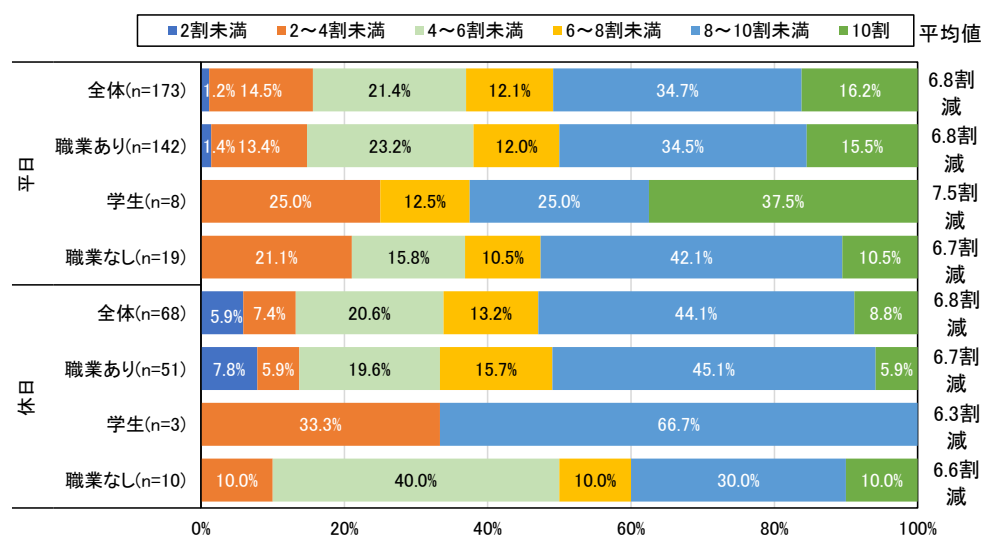
【職業有無別】

- ・ 平日の職業ありが平均 6.8 割減、職業なしが平均 6.7 割減となっている。
- ・ 休日の職業ありが平均 6.2 割減、職業なしが平均 6.6 割減となっている。



※無回答を除く

図 3-45 年代別・趣味等の減少割合



※無回答を除く

※サンプル数が少ないことに注意

図 3-46 職業有無別・趣味等の減少割合

4. 市外からの来訪者アンケート調査

4.1 調査概要

(1) 調査方法

- ・調査対象 Web アンケート事業者に登録しているモニターのうち、埼玉県（新座市居住以外）、東京都、千葉県、神奈川県に在住し、新座市へ来訪したことのあ
るモニターを対象とした。
- ・調査期間 令和2年12月16日～12月18日
- ・回収数 300票

4.2 調査結果

4.2.1 回答者の属性

(1) 性別・年代

- ・年代は、概ね各年代とも分散して回答が得られている。

※性別は、あらかじめ男女同数になるように設定している。

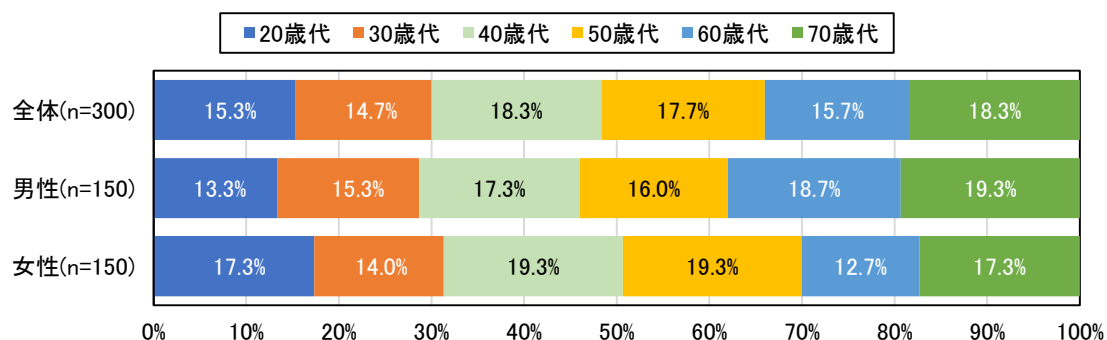


図 4-1 回答者の性別・年代

(2) 居住地

・「東京都」が最も高く 44.7%、次いで「埼玉県」が 30.0%、「神奈川県」が 14.0%、「千葉県」が 11.3%となっている。

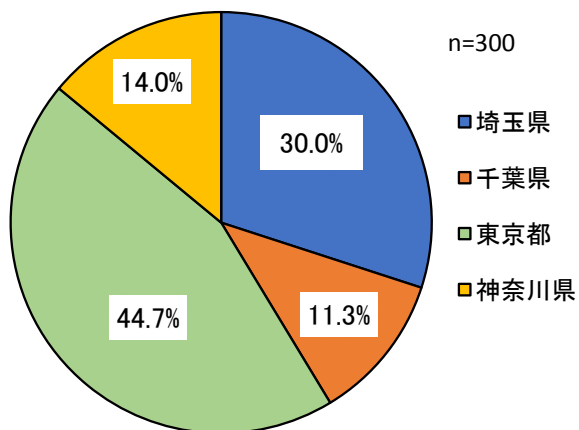


図 4-2 回答者の居住地

(3) 職業

・「会社員・公務員」が最も高く 52.7%、次いで「無職、年金受給者」が 14.3%、「専業主婦・夫、家事手伝い」が 12.3%などとなっている。

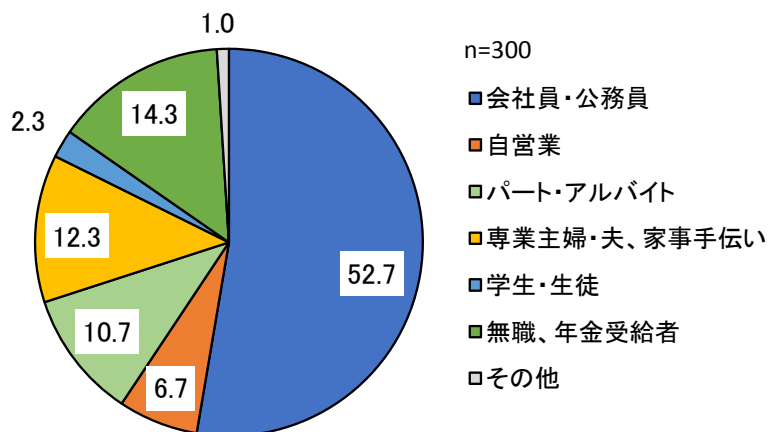


図 4-3 回答者の職業

4.2.2 新座市への来訪状況

(1) 来訪目的

・「趣味・娯楽・食事・習い事」が最も高く 34.7%、次いで「業務」が 21.7%、「通勤・通学」が 8.7%などとなっている。

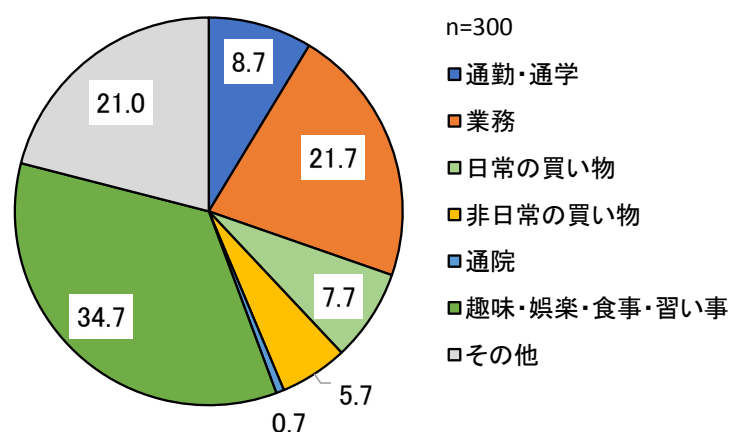


図 4-4 新座市への来訪目的

(2) 目的地（記述式回答）

・「商業・娯楽施設」が最も多く 49 人、次いで「大学・高校」が 36 件、「平林寺などのお寺」が 27 件などとなっている。

表 4-1 新座市来訪時の目的地

目的地	人
商業・娯楽施設	49
大学・高校	36
平林寺などのお寺	27
友人・親戚・知り合いなどの家	17
野火止地域	13
公園・体育館	9
仕事先・工場など	9
新座市役所	8
散歩など	6
公民館・図書館などの公共施設	5
病院	3
駅	3
老人ホーム	3
お祭り	2
地域名、住所などの回答	40
不明、無効、特になし	70

(3) 来訪頻度

・「年に数回」が最も高く 51.7%、次いで「はじめて」が 38.3%、「月に数回」が 4.7% などとなっている。

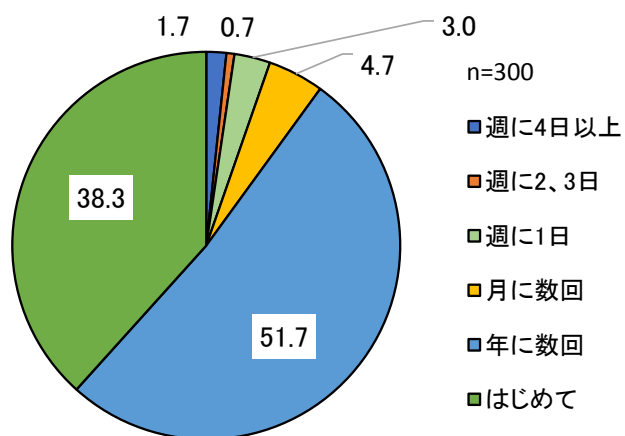


図 4-5 新座市への来訪頻度

(4) 来訪時の利用交通手段

1) 来訪時の利用交通手段

・「鉄道」が最も高く 53.3%、次いで「自動車（送迎バスを含む）」が 28.3%、「路線バス」が 14.7% などとなっている。

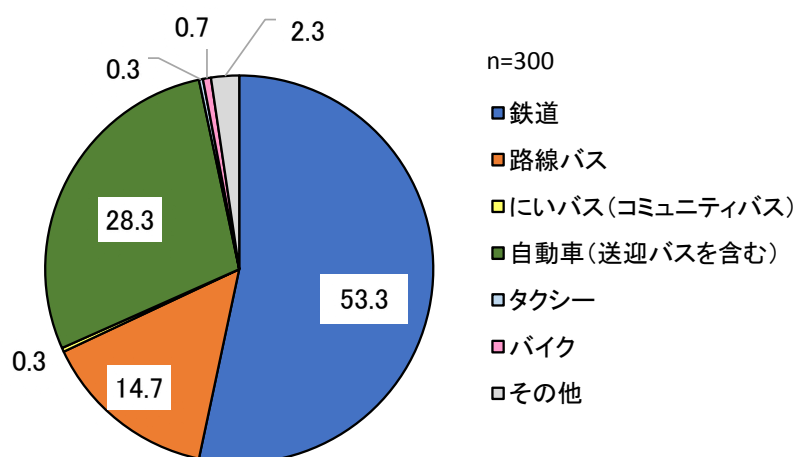


図 4-6 新座市来訪時の利用交通手段

2) 鉄道利用者の降車駅（記述式回答）

・「新座駅」が最も多く 89 人、次いで「志木駅」が 18 人、「朝霞台駅・北朝霞駅」が 7 人などとなっている。

表 4-2 鉄道利用者の降車駅

主な降車駅	人
新座駅	89
志木駅	18
朝霞台駅・北朝霞駅	7
ひばりヶ丘駅	5
大泉学園駅	3
東久留米駅	2
和光市駅	1
清瀬駅	1
保谷駅	1
不明、覚えてない	29

3) 鉄道利用者の鉄道駅から目的地までの交通手段

・「徒歩」が最も高く 41.9%、次いで「路線バス」が 37.5%、「タクシー」が 9.4%などとなっている。

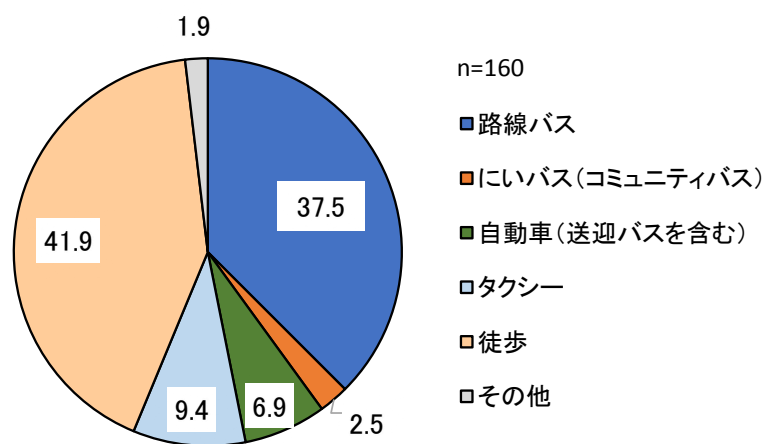


図 4-7 鉄道利用者の鉄道駅から目的地までの交通手段

4) バス利用者の乗車・降車バス停（記述式回答）

・「新座駅～立教大学前」が最も多く 9 人、次いで「新座駅～平林寺」が 6 人、「新座駅～新座市役所」、「志木駅～平林寺」が 4 人などとなっている。

表 4-3 バス利用者の乗車・降車バス停

乗車バス停	降車バス停	人
新座駅	立教大学前	9
	平林寺	6
	新座市役所	4
	中野	2
	十文字女子大前	1
	公園前	1
	新座中学校	1
	市民会館前	1
	東久留米団地	1
	団地前	1
	大和田	1
志木駅	平林寺	4
	立教大学前	3
	新座市役所	1
	新座志木中央総合病院	1
	福祉センター入り口	1
	新座団地	1
ひばりヶ丘駅	新座市役所	1
	平林寺	1
	道場	1
	新座警察署前	1
清瀬駅	立教大学前	1
	旭が丘	1
	栗原ふれあいの家	1
東久留米駅	平林寺	1
中里	立教大学前	1
栗原	新座市役所	1

5) バス利用者の満足度

- ・バスの満足度が最も高いのが「時刻表通りの運行（定時性）」で「満足」、「やや満足」を合わせた割合が 49.5% となっている。
- ・一方で、バスの満足度が低いのが「運行本数（運行間隔）、運行ダイヤ」で「不満」、「やや不満」を合わせた割合が 22.0% となっている。

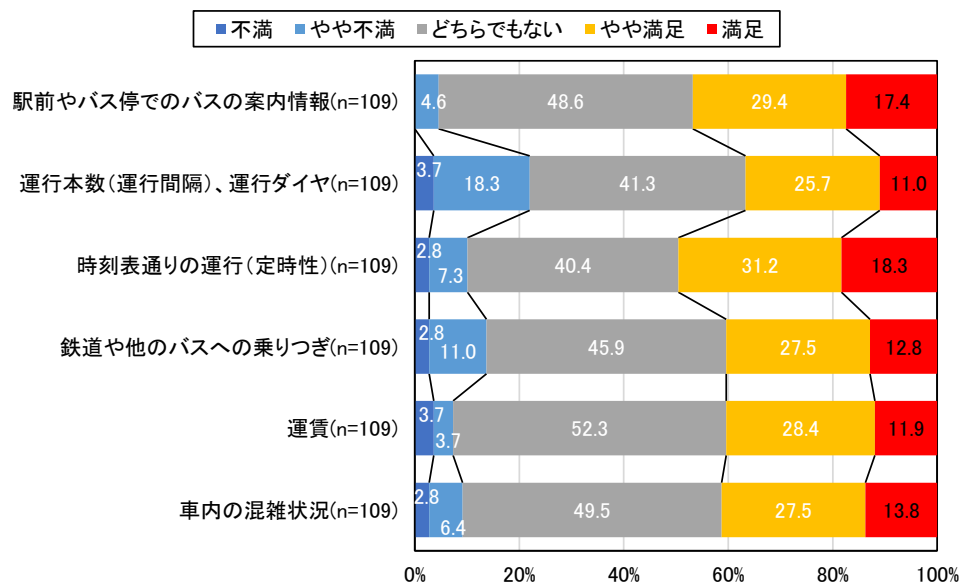


図 4-8 バスの満足度

6) バスを利用しなかった理由（複数回答）

- ・「他の交通手段が利用できバスを利用する必要がなかった」が最も高く 46.6%、次いで「バスでの目的地への行き方がわからない」が 12.0%、「所要時間がかかる」が 7.9% などとなっている。

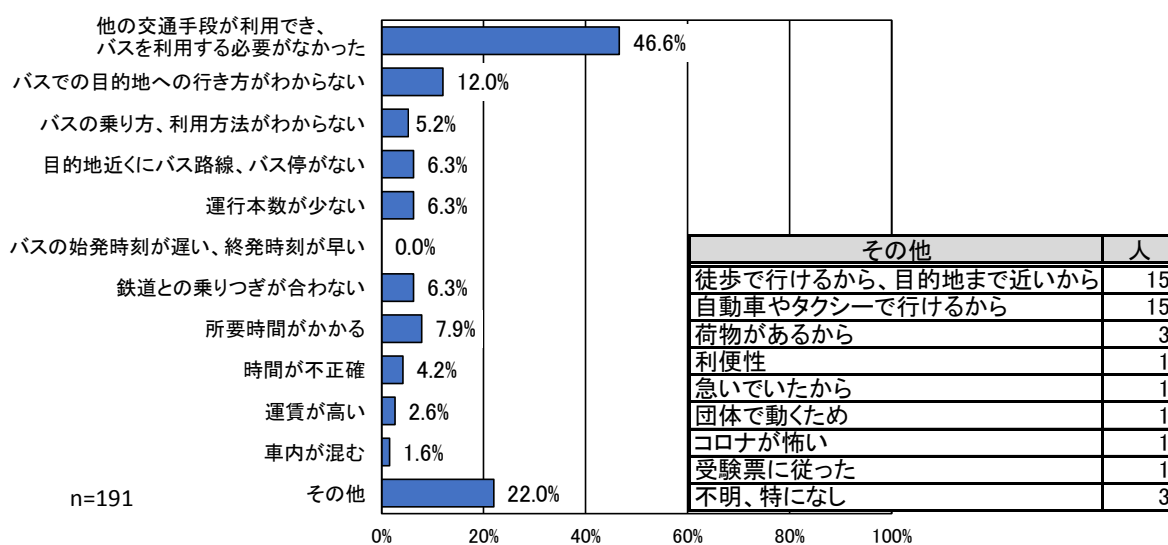


図 4-9 バスを利用しなかった理由